

「第3次与謝野町総合計画」策定に関する  
住民アンケート調査  
結果報告書

令和7年11月  
与謝野町

## 目 次

I	アンケート調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	報告書の見方.....	1
II	アンケート調査結果.....	2
1	あなたのことについて.....	2
2	与謝野町のまちづくりへの参加について.....	5
3	行動・意識について.....	12
4	与謝野町の住み心地について.....	22
5	与謝野町のまちづくりについて.....	36
6	若者世代に見る与謝野町のまちづくりについて.....	45
7	与謝野町のデジタル化等の取り組みについて.....	68
8	与謝野町の災害対策の取り組みについて.....	71
9	自由記述.....	72

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、令和9年度から8年間の町政運営の羅針盤となり、10年後のまちの将来像を描く計画づくり「第3次与謝野町総合計画」の策定にあたって、住民のみなさんからの多様なご意見を募集し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

## 2 調査概要

項目	住民調査
調査対象者	町内在住の15歳以上の方（無作為抽出）
調査期間	令和7年8月25日（月）～9月5日（金）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式及びWEB回答
配布数	2,000件
有効回収数	645件
有効回収率	32.3%

## 3 報告書の見方

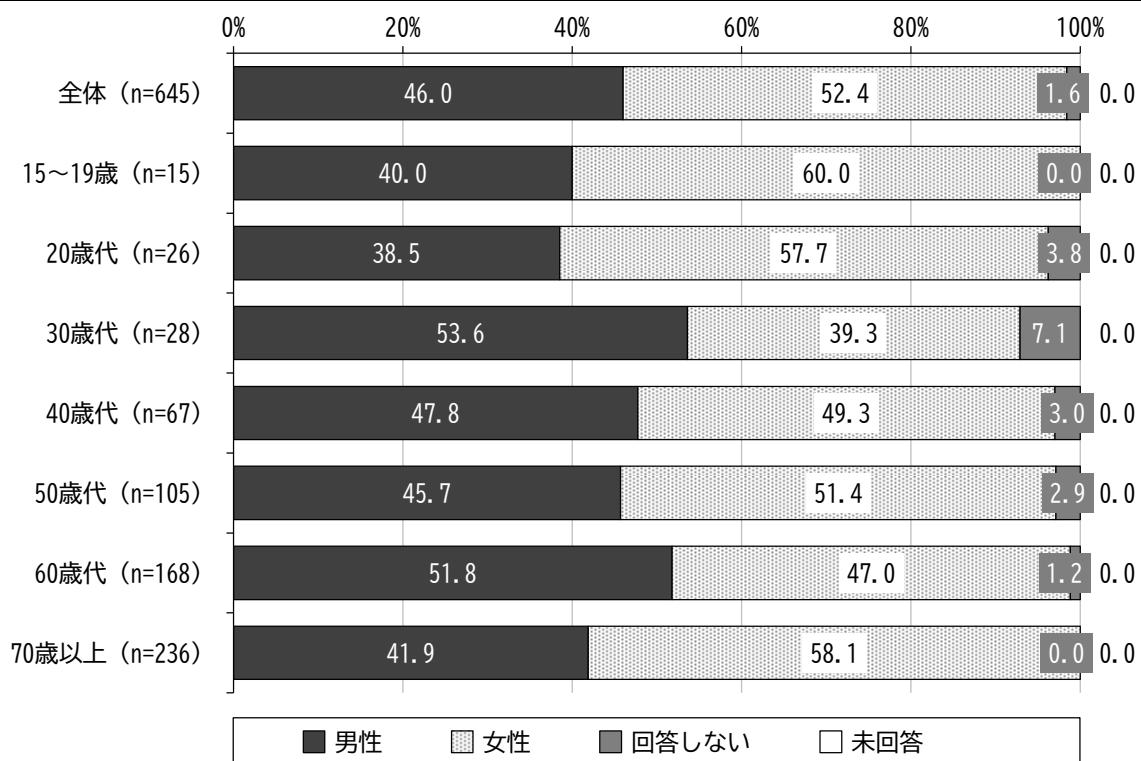
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## II アンケート調査結果

### 1 あなたのことについて

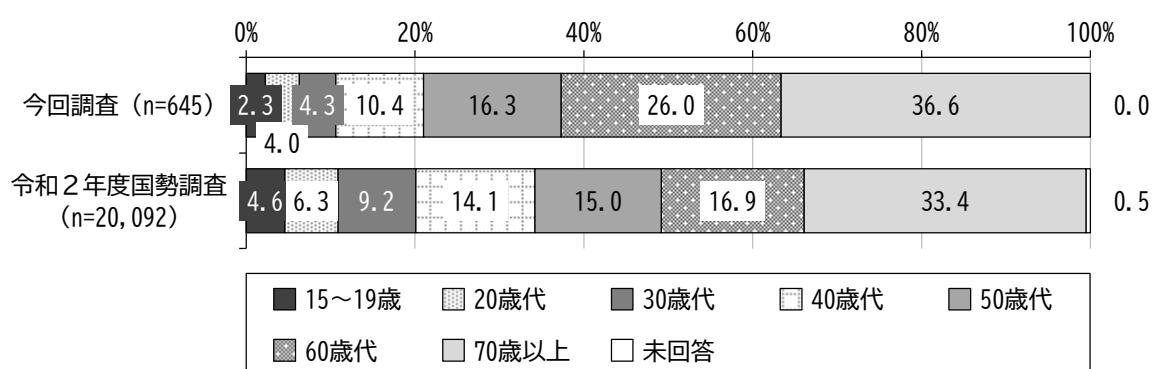
#### 問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

「女性」が 52.4%、「男性」が 46.0%、「回答しない」が 1.6%となっています。



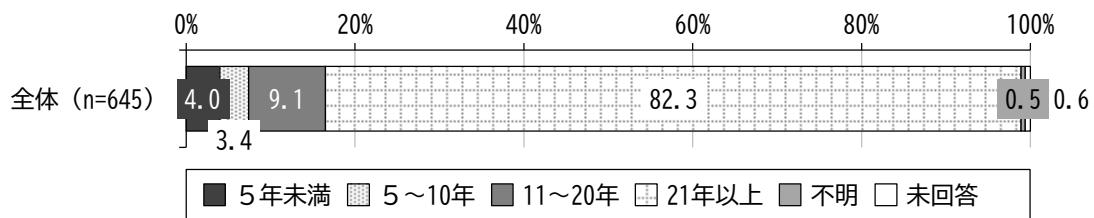
#### 問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。(○は1つ)

「15~19歳」が 2.3%、「20歳代」が 4.0%、「30歳代」が 4.3%、「40歳代」が 10.4%、「50歳代」が 16.3%、「60歳代」が 26.0%、「70歳以上」が 36.6%となっています。



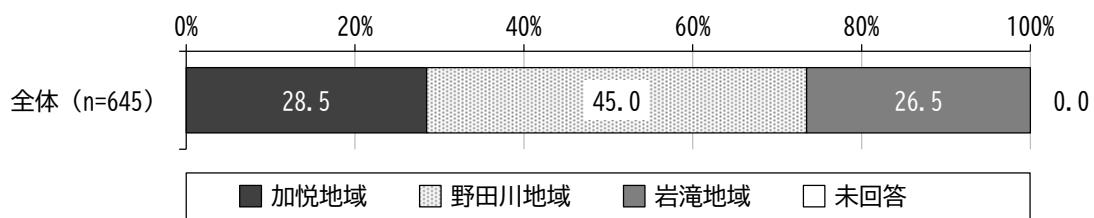
### 問3 与謝野町でのこれまでの居住年数の合計を教えてください。(○は1つ)

「21年以上」が82.3%と最も多く、次いで「11～20年」が9.1%、「5年未満」が4.0%となっています。



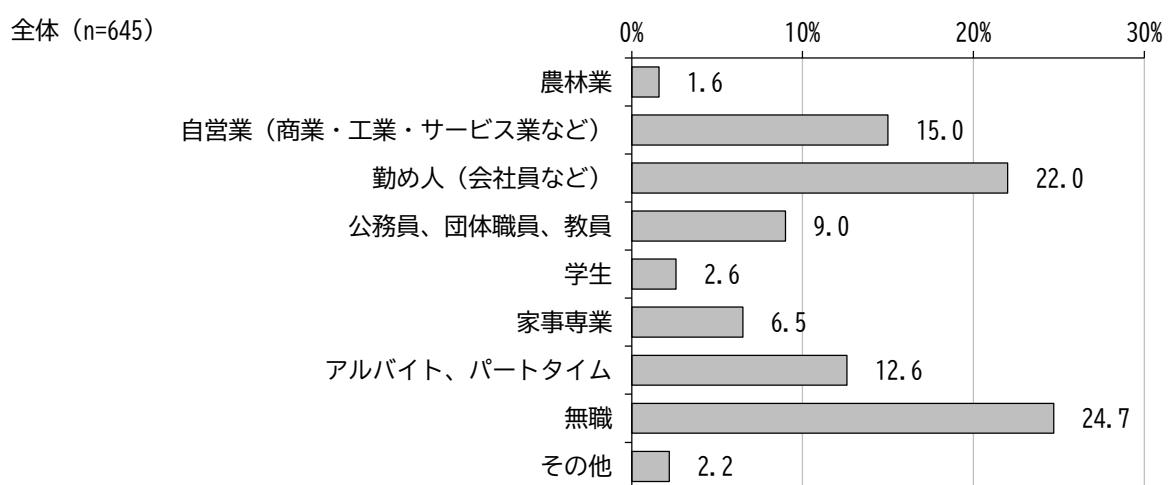
### 問4 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

「野田川地域」が45.0%と最も多く、次いで「加悦地域」が28.5%、「岩滝地域」が26.5%となっています。



### 問5 あなたの職業はどれにあたりますか。(○は1つ)

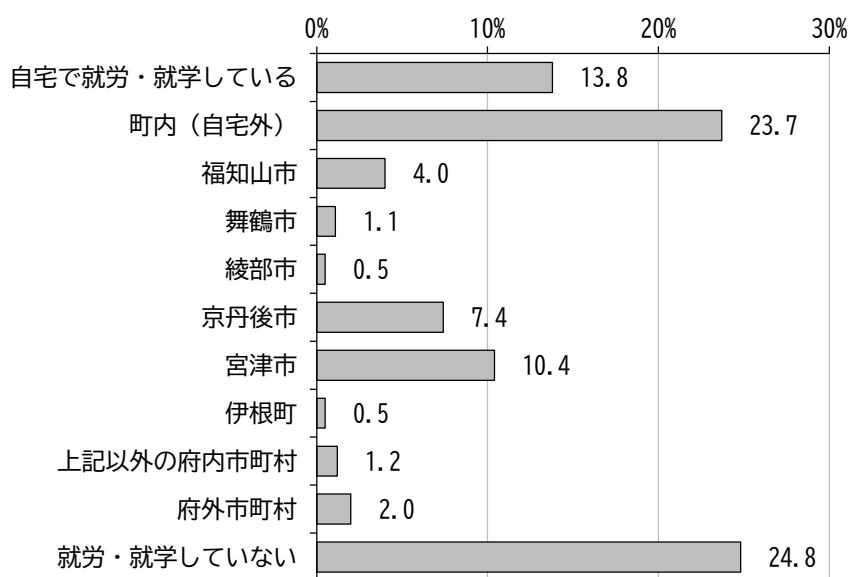
「無職」が24.7%と最も多く、次いで「勤め人（会社員など）」が22.0%、「自営業（商業・工業・サービス業など）」が15.0%となっています。



## 問6 あなたの通勤・通学先を教えてください。(○は1つ)

「就労・就学していない」が24.8%と最も多く、次いで「町内（自宅外）」が23.7%、「自宅で就労・就学している」が13.8%となっています。

全体 (n=645)

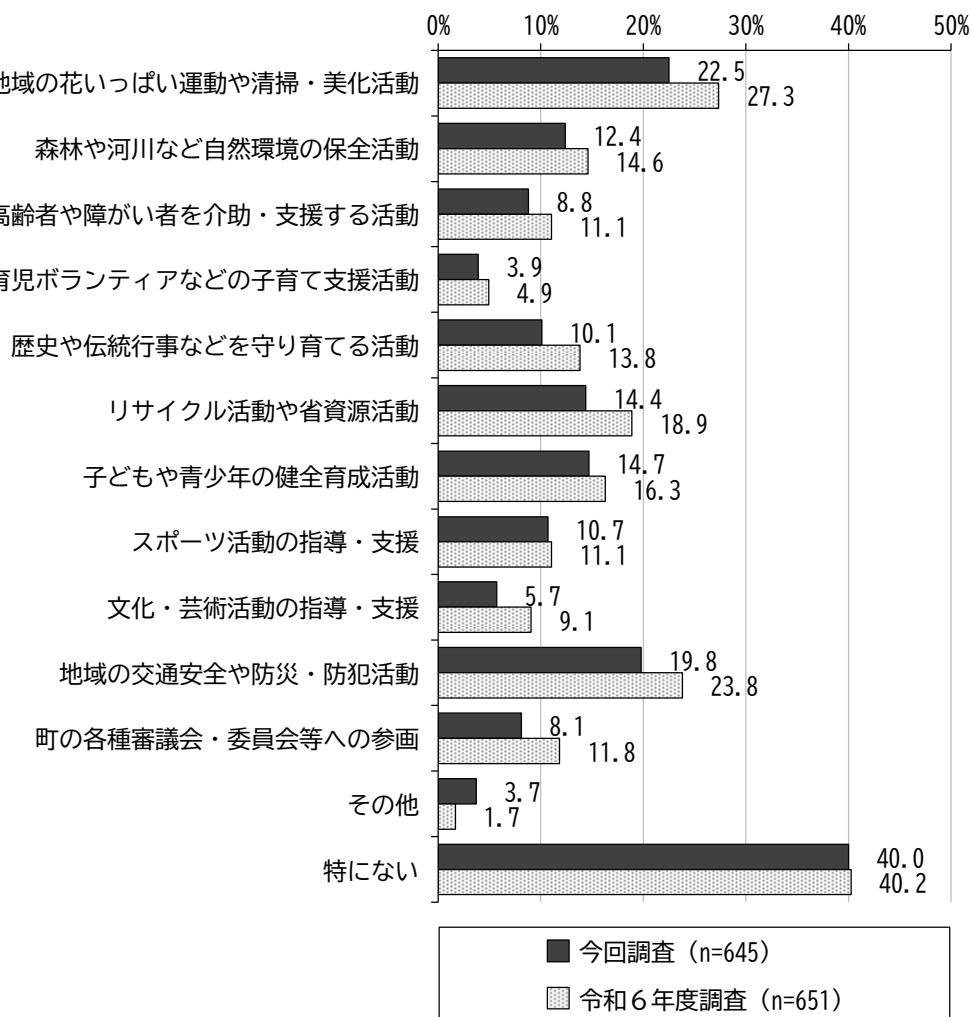


## 2 与謝野町のまちづくりへの参加について

問7 「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。  
(参加したことがあるものすべてに○)

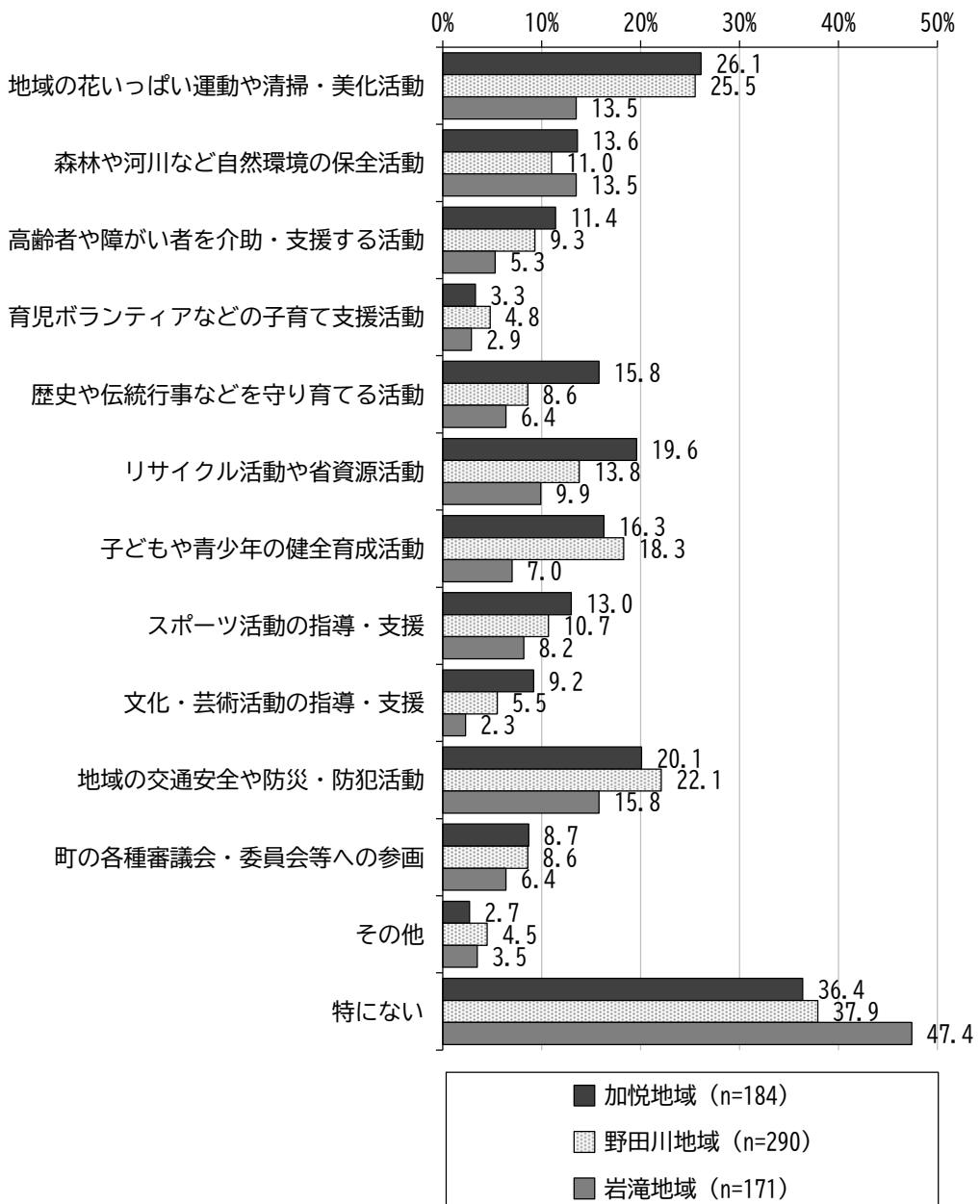
「特ない」が40.0%と最も多く、次いで「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が22.5%、「地域の交通安全や防災・防犯活動」が19.8%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



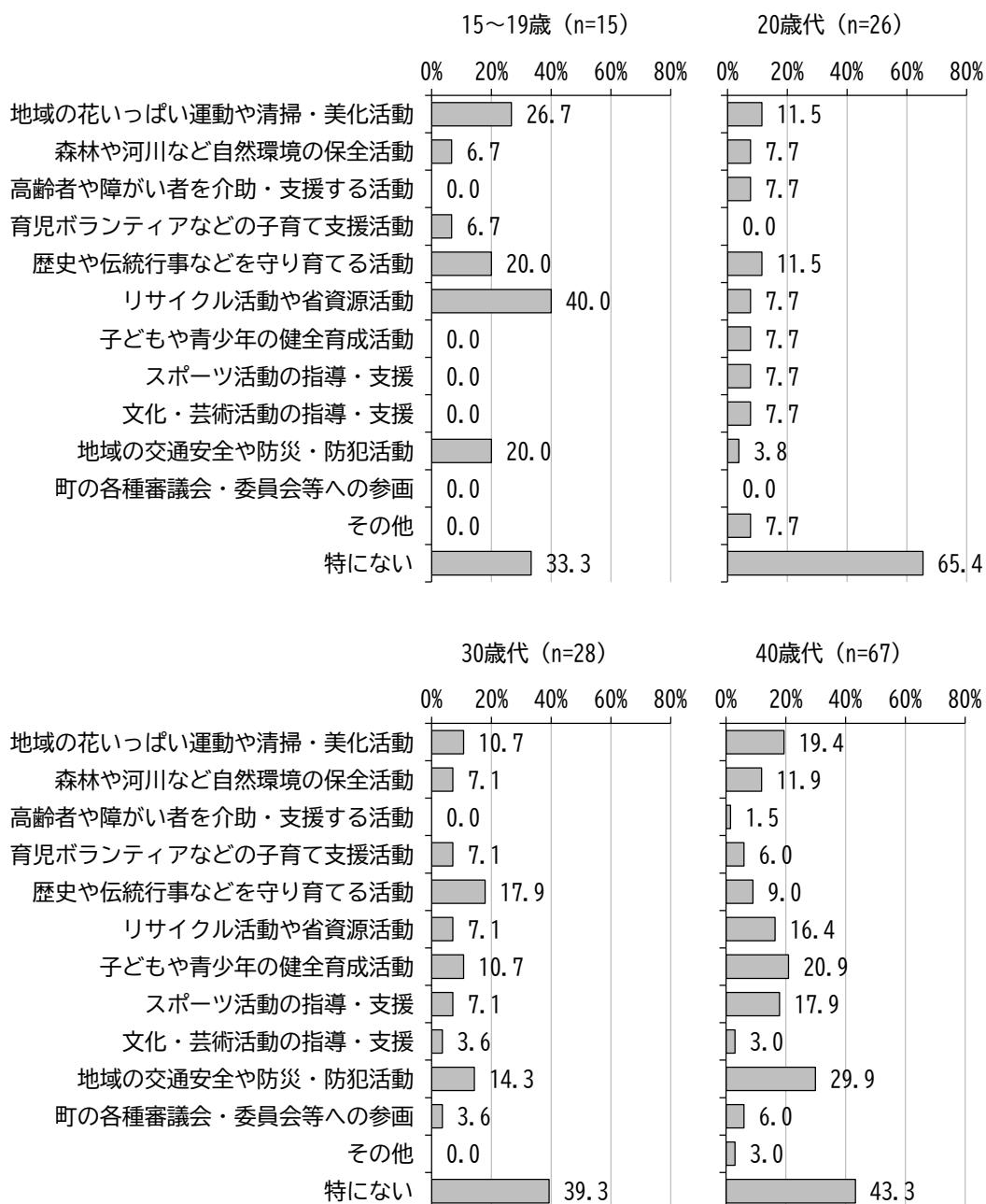
## ◆地域別

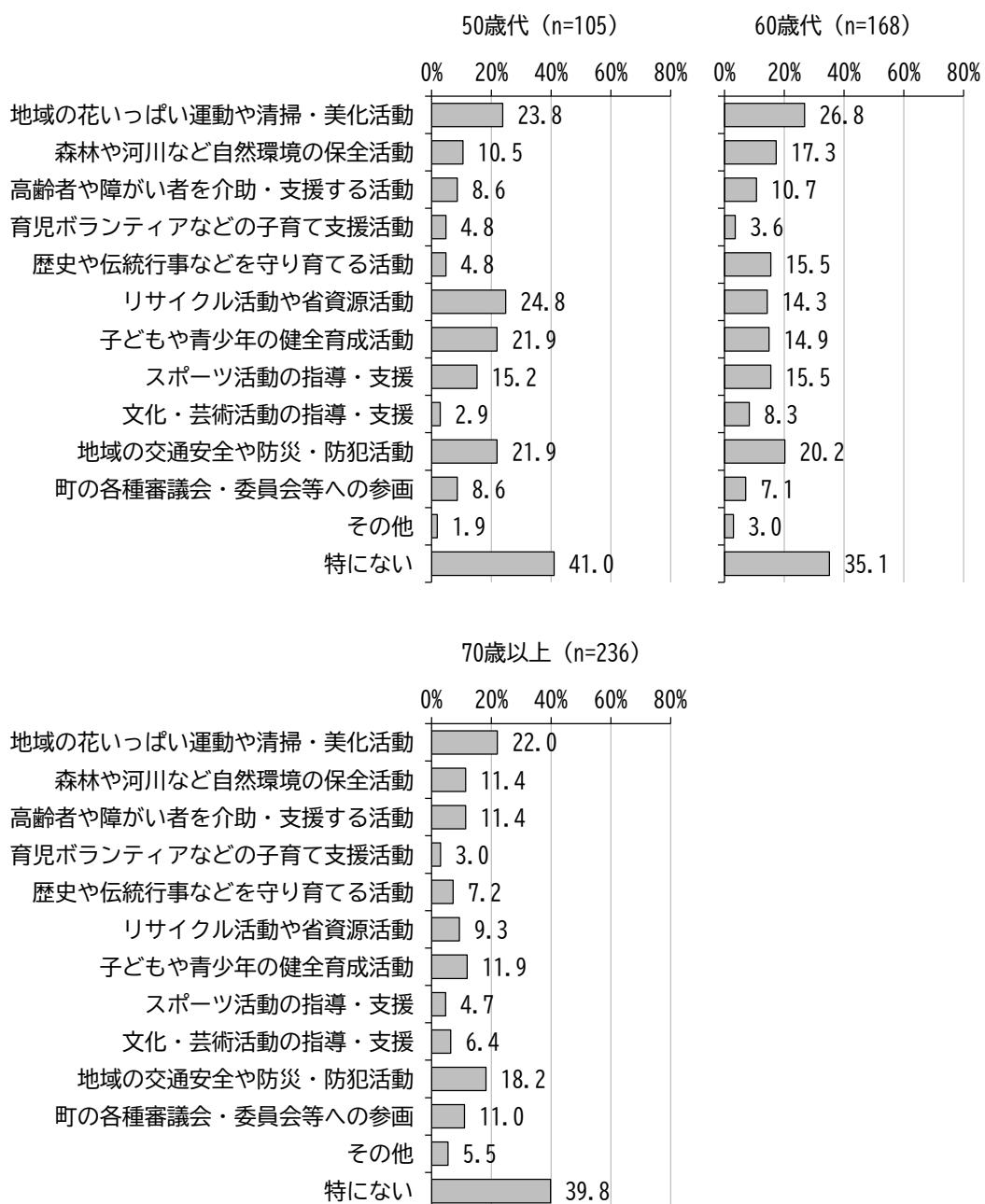
地域別にみると、[岩滝地域] では「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」「子どもや青少年の健全育成活動」がその他の地域と比べて低くなっています。



## ◆年齢別

年齢別にみると、[15～19歳]では「リサイクル活動や省資源活動」、その他の年齢では「特にない」が最も多くなっています。

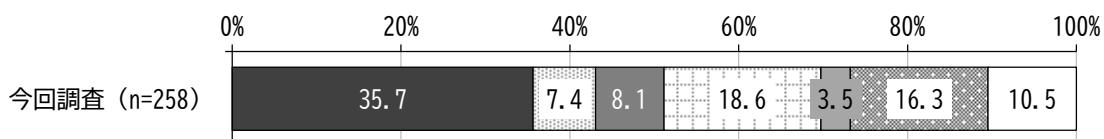




### 問7で「特にない」と回答された方

### 問8 あなたが参加しなかった（できなかった）理由は何ですか。（○は1つ）

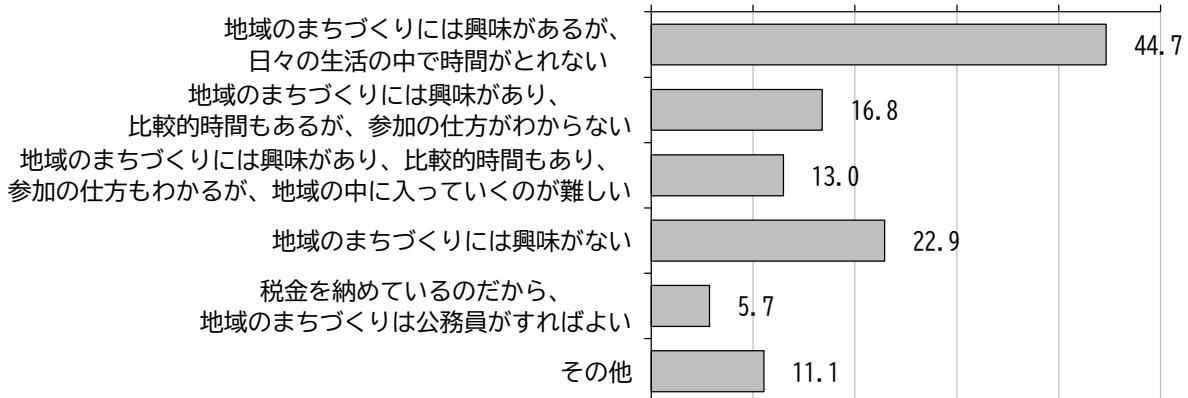
「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が35.7%と最も多く、次いで「まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が18.6%、「まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入していくのが難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）」が8.1%となっています。



- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない  
(時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない  
(参加の仕方がわかられば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入していくのが  
難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、  
自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- その他
- 未回答

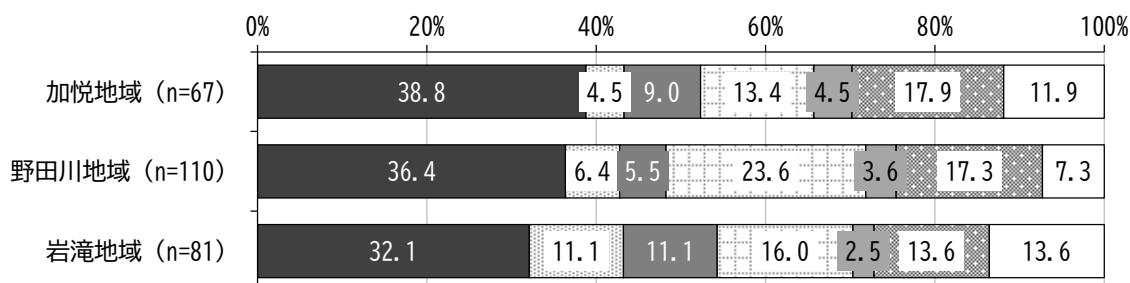
### ※参考 『地域のまちづくりに参加』しなかった（できなかった）理由（3つまで）

#### 令和6年度調査 (n=262)



## ◆地域別

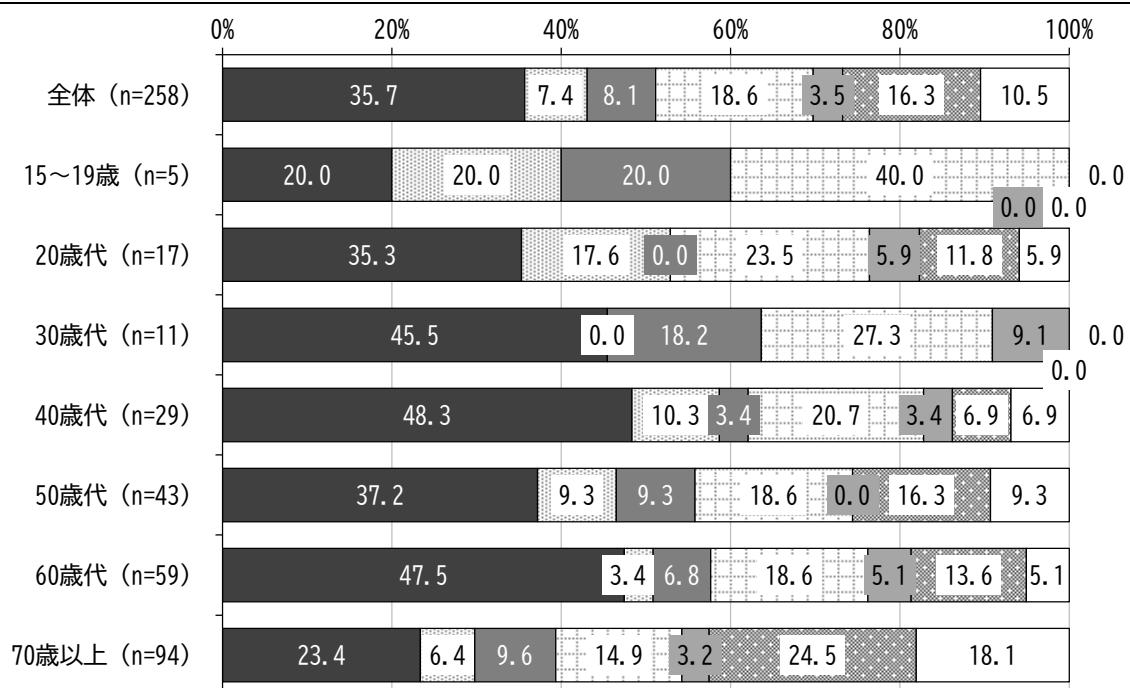
地域別にみると、いずれの地域も「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が最も多くなっています。



- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない（参加の仕方がわかられば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入していくのが難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、自分以外のだれかが参加し進めなければ良いことである）
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- その他
- 未回答

## ◆年齢別

年齢別にみると、20歳以上では「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が最も多くなっています。

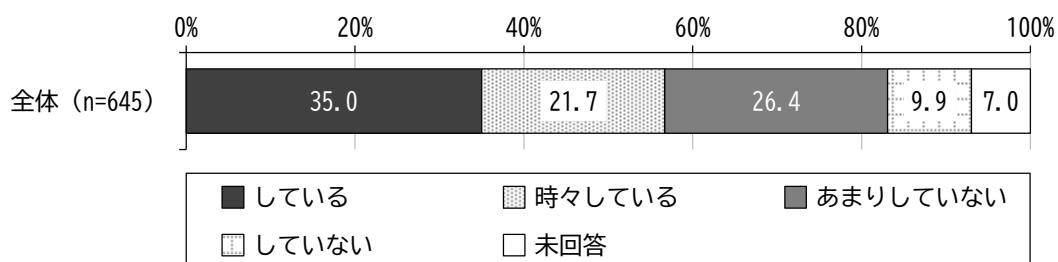


- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない  
(時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない  
(参加の仕方がわかれれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入っていくのが  
難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、  
自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- その他
- 未回答

### 3 行動・意識について

問9 町内での消費行動を意識していますか。(○は1つ)

「している」が35.0%と最も多く、次いで「あまりしていない」が26.4%、「時々している」が21.7%となっています。



各回答の理由（自由記述）

#### 1. している

理由	件数
地元店舗の存続・応援（閉店しないでほしい）	24
利便性・距離の近さ（ガソリン代節約含む）	18
地元経済・活性化への貢献（税収・循環含む）	17
地産地消・食の安全	13
地元への愛着・義務感（抽象的）	12
仕事上の関係・通勤	4
安心感/車運転	3
プレミアム商品券/SDGs の観点	3
人間関係・交流	2
行政/業者への批判（公共事業の優先度など）	2
生活上の必要性/品揃えに関する言及	2
活力/商店街への期待	2
物価高騰・不景気への懸念	2
家族関係（家族の勤務先）	1
その他（特になし、特に理由はない、不明確な回答）	10
総件数（自由記述件数）	104

## 2. 時々している

理由	件数
地元経済・活性化への貢献	18
地産地消・食の購入	14
品揃え・選択肢の不足（町外消費の理由）	9
利便性・近隣店舗の利用	4
店舗・施設不足に関する意見	1
価格・都合による選択	1
プレミアム商品券の利用	1
その他（特になし、なんとなく、不明確な回答）	6
総件数（自由記述件数）	54

## 3. あまりしていない

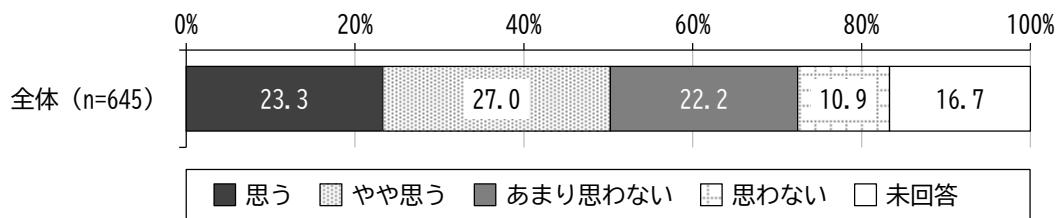
理由	件数
品揃え・選択肢の不足/欲しいものがない	13
価格・安さ重視（町外消費の理由）	8
店舗・施設数の不足/大型店がない	7
不便性・町外での用事/勤務	5
地理的制約/移動手段	3
ネット利用・通信販売	2
個店/価格への不満	2
個人的な事情/習慣	2
田舎商売/利権への不満	1
物価高・経済的懸念	1
品質への不満	1
特定の食品への言及	1
地元への依存・制約	1
曖昧な意見・意識（意識はしていないがそうなる、など）	1
その他（特になし、必要性を感じない、考えたことがないなど）	9
総件数（自由記述件数）	56

4. していない

理由	件数
品揃え・選択肢の不足/欲しいものがない	7
経済合理性重視/価格重視	3
店舗・施設数の不足/場所がない	3
消費行動の概念の理解不足	3
町外での消費/必要な場所での消費	2
店舗の減少/加悦のにしがきへの言及	2
個人的な事情（広いので町内で済ませがち）	1
意識しなくても消費している	1
その他（特に理由はない、不明確な回答、消滅への言及など）	2
総件数（自由記述件数）	24

## 問10 この地域で子育てをしたいと思いますか。(○は1つ)

「やや思う」が27.0%と最も多く、次いで「思う」が23.3%、「あまり思わない」が22.2%となってています。



### 各回答の理由（自由記述）

#### 1. 思う

理由	件数
自然環境の豊かさ・良さ	27
地元愛・故郷だから/生まれ育った町	14
地域社会の温かさ・人間関係・見守り・安全	13
個人的理由/家族の存在（自宅、親がいる、家族が育った）	10
子育て支援制度/保育・教育の充実	8
学校/施設/生活の利便性	5
災害の少なさ	2
人口増加への貢献意欲	2
総件数（自由記述件数）	81

#### 2. やや思う

理由	件数
自然環境の豊かさ・良さ	34
懸念・不満点（仕事場、施設不足、交通、賑やかさ不足）	11
地域社会の温かさ・人間関係・見守り	9
子育て支援制度/教育政策への言及（評価/不満）	9
地元愛/住み慣れた地域だから	9
経済的・社会的な過ごしやすさ/福祉の充実	4
個人的な理由/家族の存在（家族のサポート）	3
経験上/暮らしていく不満を感じない	2
その他（特になし、不明確な回答）	1
総件数（自由記述件数）	82

### 3. あまり思わない

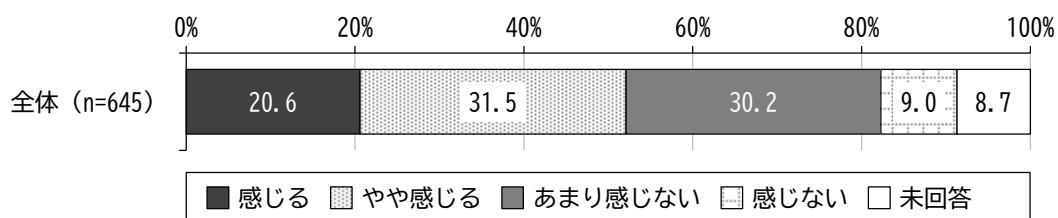
理由	件数
施設の不足/遊び場・体験の不足（公園、遊具、室内施設など）	15
教育環境/政策/将来性への不安（統合、選択肢不足、質）	15
不便性・交通手段の不便	10
人口減少・子どもの少なさ（少子化、過疎化含む）	7
子育て支援制度/行政への不満/財政問題	6
個人的な理由/年齢（子育て終了、高齢者）	5
地域性/人間関係（閉鎖性、古い習慣、年配の発言力）	4
環境（犯罪対策なし、街灯不足、治安）	1
住民税が高い	1
ちりめん重視への不満	1
町の借金が多すぎ！	1
環境が貧相	1
本当に困った時に頼るところがなかったから	1
その他（なんとなく、特になし、将来性が不明、意識がないなど）	7
総件数（自由記述件数）	70

### 4. 思わない

理由	件数
個人的な事情/子育て終了/年齢的な理由/結婚の有無	14
不便性・施設/活動場所の不足（田舎すぎる、屋内施設不足、近くにお店がない）	8
働く場所/仕事の不足	5
人口減少・高齢化社会への懸念（高齢者の町、過疎化、少子高齢化）	4
地域性/制度/雰囲気（噂話、息苦しさ、旧3町の温度差、制度の問題）	3
時代に合った環境での子育てを推奨（都会志向、子どもが多い場所を希望）	3
総件数（自由記述件数）	37

## 問11 生きがいを持って暮らせると感じますか。(○は1つ)

「やや感じる」が31.5%と最も多く、次いで「あまり感じない」が30.2%、「感じる」が20.6%となっています。



### 各回答の理由（自由記述）

#### 1. 感じる

理由	件数
仕事・趣味・活動の充実	37
家族・個人的な成長・幸福感	24
地域とのつながり・地元への愛着/貢献	15
健康/体調/自然環境	5
積極的な姿勢/意志次第/個人的哲学	4
総件数（自由記述件数）	85

#### 2. やや感じる

理由	件数
仕事・趣味・活動の充実	38
地域とのつながり・家族・コミュニティ	21
積極的な姿勢/平凡さ/自由	8
懸念・不満点（将来不安、不便、税金、スーパー不足）	7
自然環境/健康/年齢への言及	7
その他（特になし、不明確な回答）	1
総件数（自由記述件数）	82

### 3. あまり感じない

理由	件数
地域の活力・環境への不満	9
仕事・収入・物価	8
高齢のため	7
生きがい・将来への不安	7
忙しさ・時間の余裕のなさ	6
人間関係・孤立感	5
交通・生活の不便さ	5
情報不足・活動の見えづらさ	3
若者・次世代の不安	3
人口・少子化	3
子育て・家庭の負担	2
娯楽・楽しみの不足	2
その他（単独記載のもの）	10
総件数（自由記述件数）	70

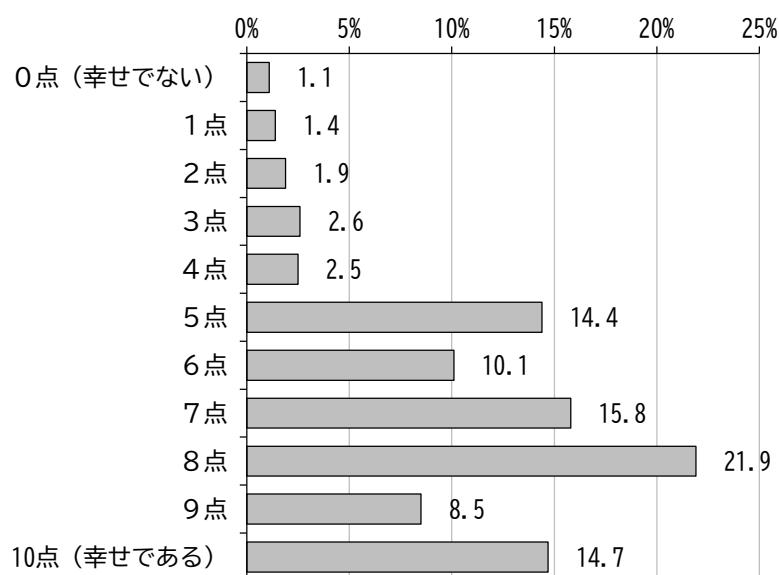
### 4. 感じない

理由	件数
生きがい・楽しみの欠如	6
老後・将来への不安	4
人間関係・孤立感	3
地域の環境・魅力の欠如	3
情報不足・わからない	3
収入・税負担・経済的困難	2
働き方・仕事の選択肢	2
障がい・健康・生活制約	2
地域の価値観・制度への不満	2
総件数（自由記述件数）	27

## 問12 現在、幸せだと思いますか。(点数に○は1つ)

「8点」が21.9%と最も多く、次いで「7点」が15.8%、「10点(幸せである)」が14.7%となっています。平均点は、7.01点となっています。

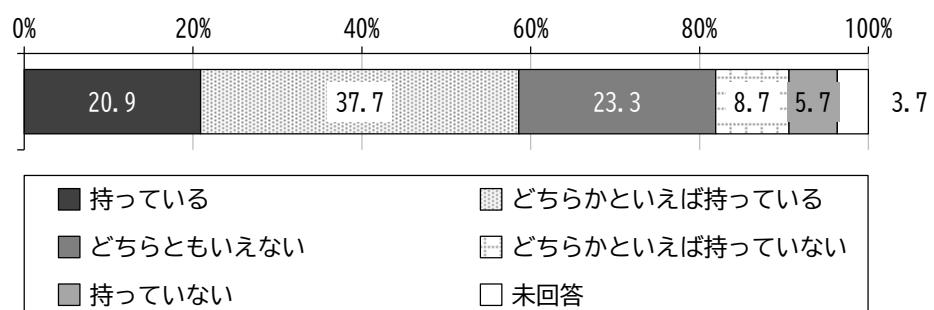
全体 (n=645)



## 問13 与謝野町に誇りや愛着を持っていますか。(○は1つ)

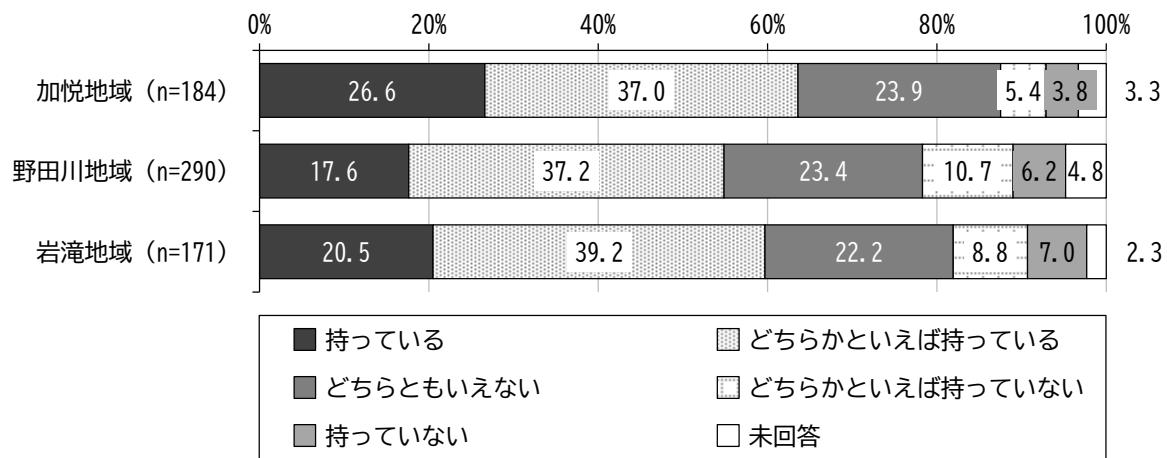
「どちらかといえば持っている」が37.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.3%、「持っている」が20.9%となっています。『持っている計(「持っている」と「どちらかといえば持っている」の合計)』は58.6%、『持っていない計(「持っていない」と「どちらかといえば持っていない」の合計)』は14.4%となっています。

全体 (n=645)



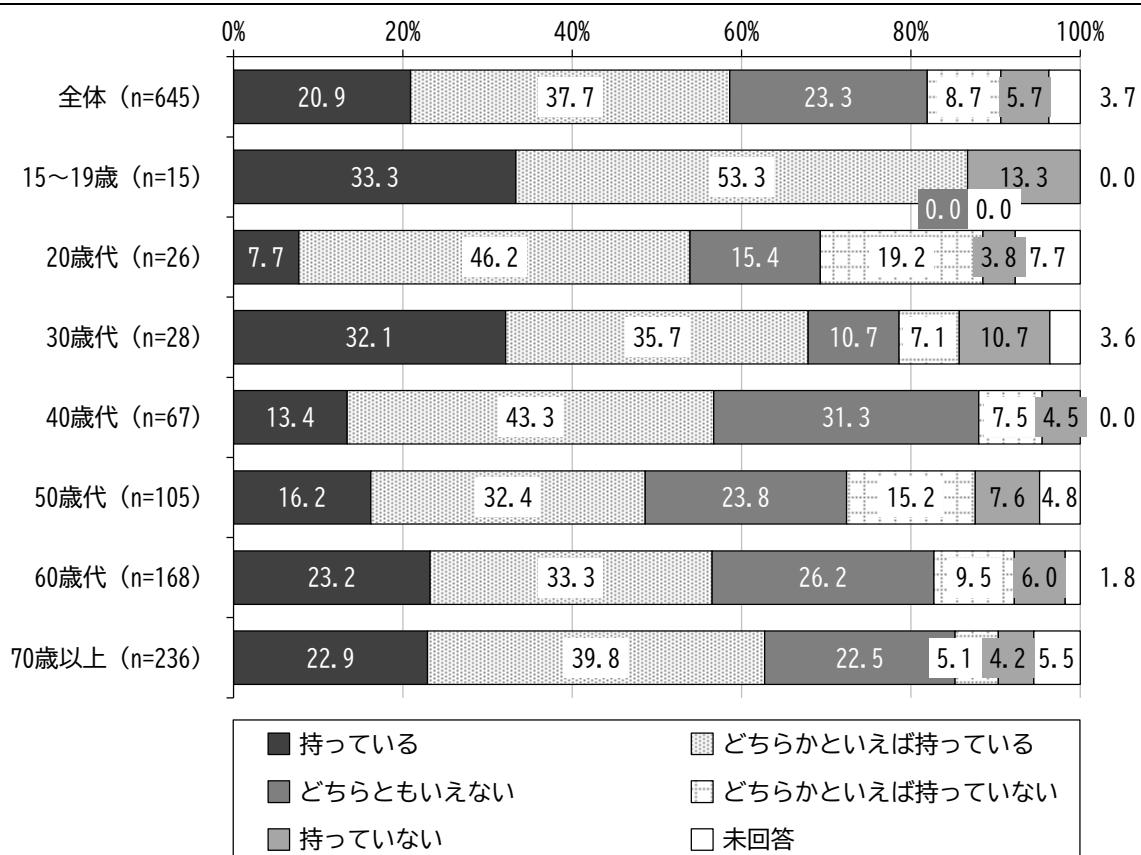
## ◆地域別

地域別にみると、『持っている計』は【加悦地域】で63.6%、【野田川地域】で54.8%、【岩滝地域】で59.7%となっています。



## ◆年齢別

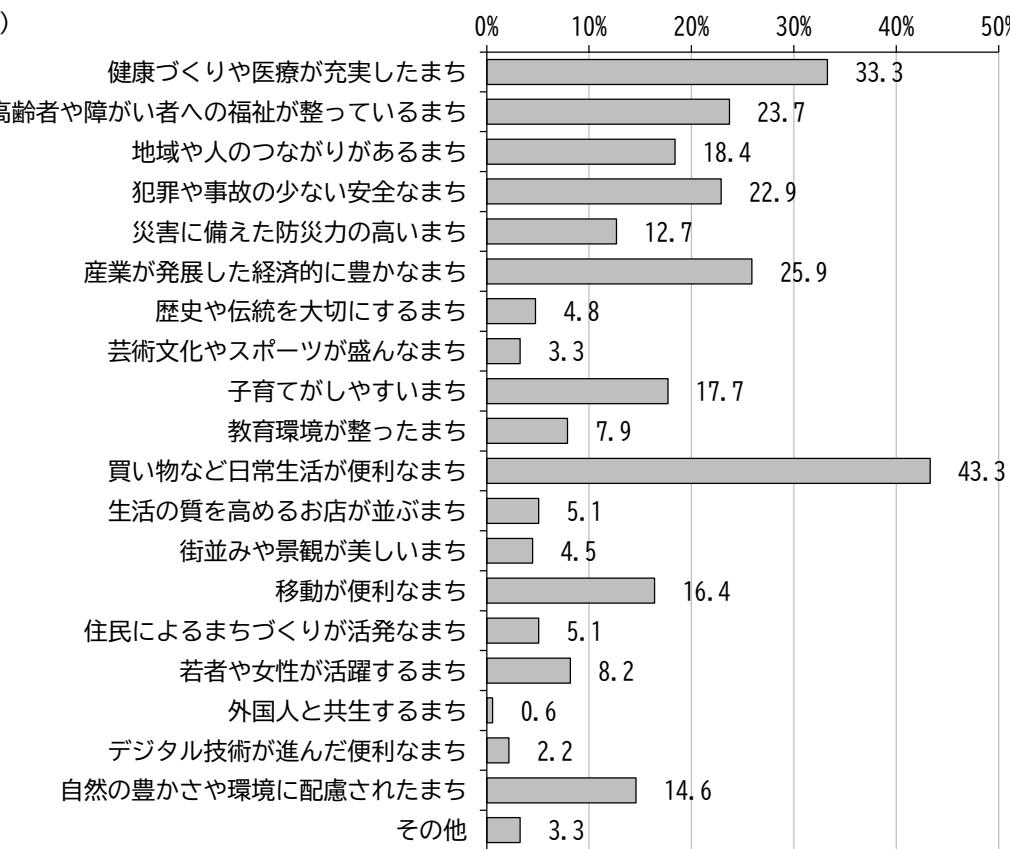
年齢別にみると、『持っている計』は【15～19歳】では86.6%とその他の年齢と比べ高くなっています。



#### 問14 これからの与謝野町がどのような「まち」であってほしいと思いますか。(○は3つまで)

「買い物など日常生活が便利なまち」が43.3%と最も多く、次いで「健康づくりや医療が充実したまち」が33.3%、「産業が発展した経済的に豊かなまち」が25.9%となっています。

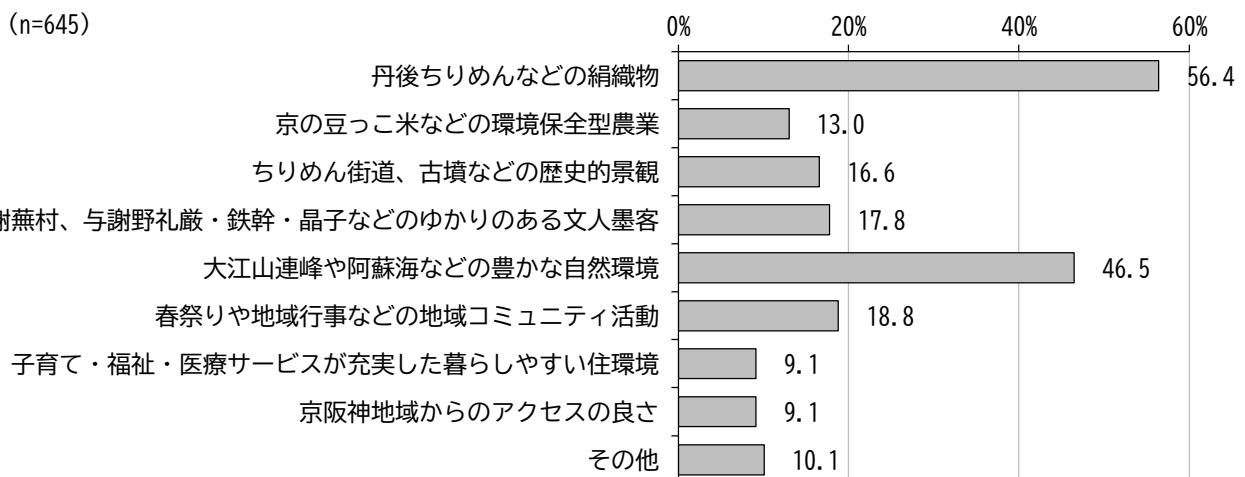
全体 (n=645)



#### 問15 与謝野町のことを紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、与謝野町を象徴するものは何だと思いますか。(○は3つまで)

「丹後ちりめんなどの絹織物」が56.4%と最も多く、次いで「大江山連峰や阿蘇海などの豊かな自然環境」が46.5%、「春祭りや地域行事などの地域コミュニティ活動」が18.8%となっています。

全体 (n=645)

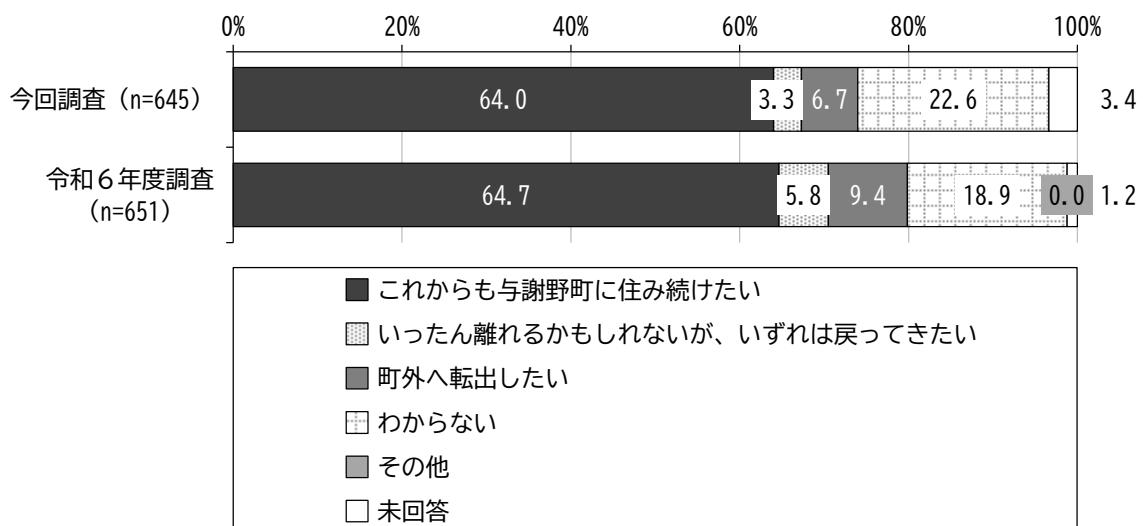


## 4 与謝野町の住み心地について

問16 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。また、その理由は何ですか。(○は1つ)

「これからも与謝野町に住み続けたい」が 64.0%と最も多く、次いで「わからない」が 22.6%、「町外へ転出したい」が 6.7%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



※「その他」は令和6年度調査のみの選択肢

各回答の理由（自由記述）

### 1. 住み続けたい

理由	件数
地元への愛着・慣れ・人間関係	33
自宅/土地/家業/親がいるなど物理的理由	30
年齢・老後の事情（今更引っ越せない、終の棲家など）	18
自然環境の良さ・安全・災害の少なさ	16
住みやすさ/便利さ/福祉・医療	7
地域貢献の意欲/町への期待	5
経済的な理由	2
その他（特に理由はない、不明確な回答、懸念を含む回答など）	4
総件数（自由記述件数）	115

## 2. やや住み続けたい

理由	件数
進学・仕事など生活上の都合による離脱/復帰予定	3
町外での経験を求める意向	2
故郷への愛着/心の拠り所	1
家庭の事情	1
総件数（自由記述件数）	7

## 3. あまり住み続けたいと思わない

理由	件数
教育環境・公共交通の不備/老後の不安	4
不便さ・交通・都市部へのアクセス	3
政策/経済/財政問題への不満	3
地域性/人間関係（閉鎖的、息苦しさ）	3
個人的な理由/飽きた/出身地域ではない	3
住み続ける必然性の欠如/メリットがない	2
仕事/人口/都会との比較	2
行政批判（何が叶えられない）	1
その他（元の居住地へ、不明確な回答）	3
総件数（自由記述件数）	7

## 4. 思わない

理由	件数
老後の生活不安・交通/買い物難民への懸念	17
教育環境/町の衰退/将来への懸念	12
個人的な事情・未定・町外出身/現状転出できない理由	11
行政/政策/財政問題への不満	9
仕事/働く場所の不足	5
年齢・免許返納に関する懸念	4
自然環境/災害（雪、高潮対策）	3
医療や福祉サービスの不安	2
その他（なし、どこも変わらない、どこに住んでも住めば都など）	4
総件数（自由記述件数）	67

## ◆地域別

地域別にみると、[加悦地域]では「これからも与謝野町に住み続けたい」がその他の地域と比べて高くなっています。また、令和5年度以降、[野田川地域] [岩滝地域]では「これからも与謝野町に住み続けたい」が減少傾向にあります。

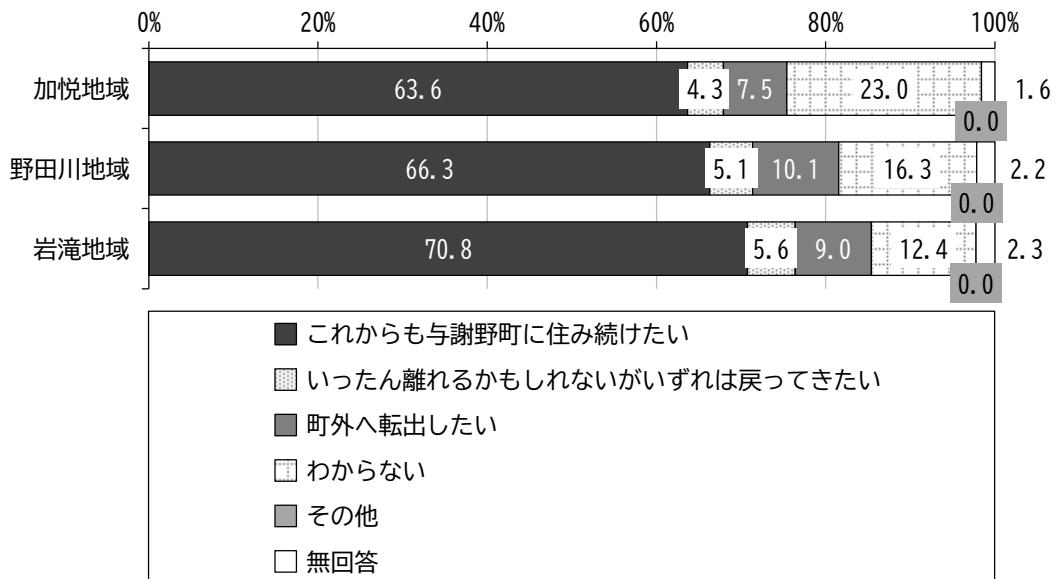
### 【今回調査】



### 【令和6年度調査】



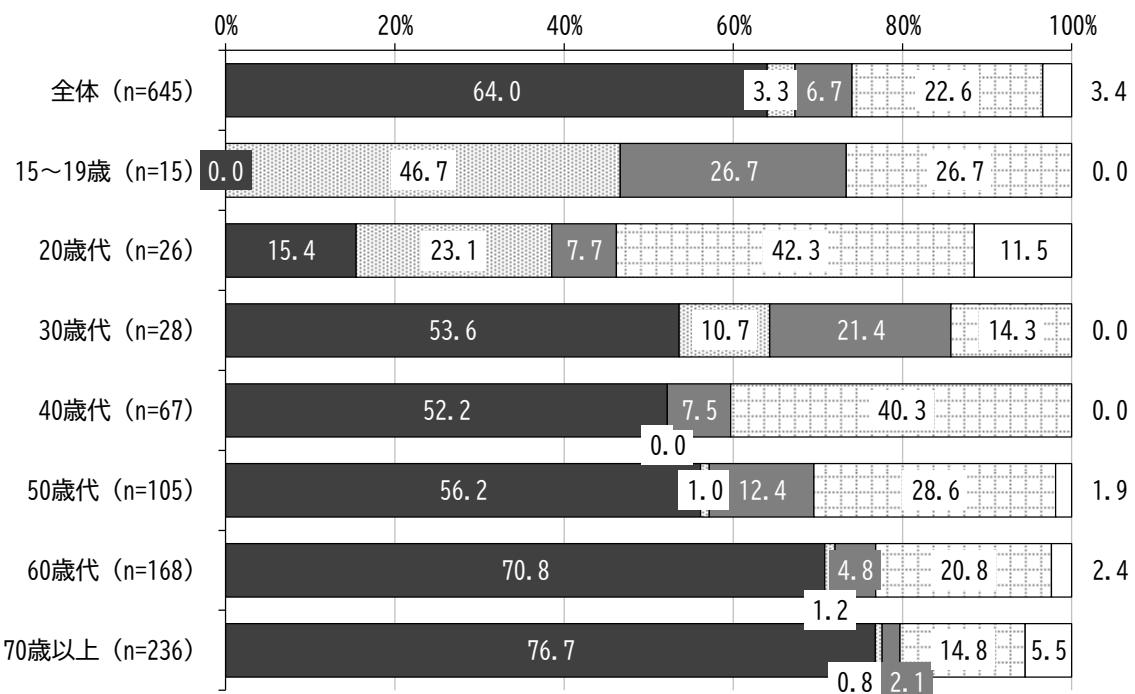
### 【令和5年度調査】



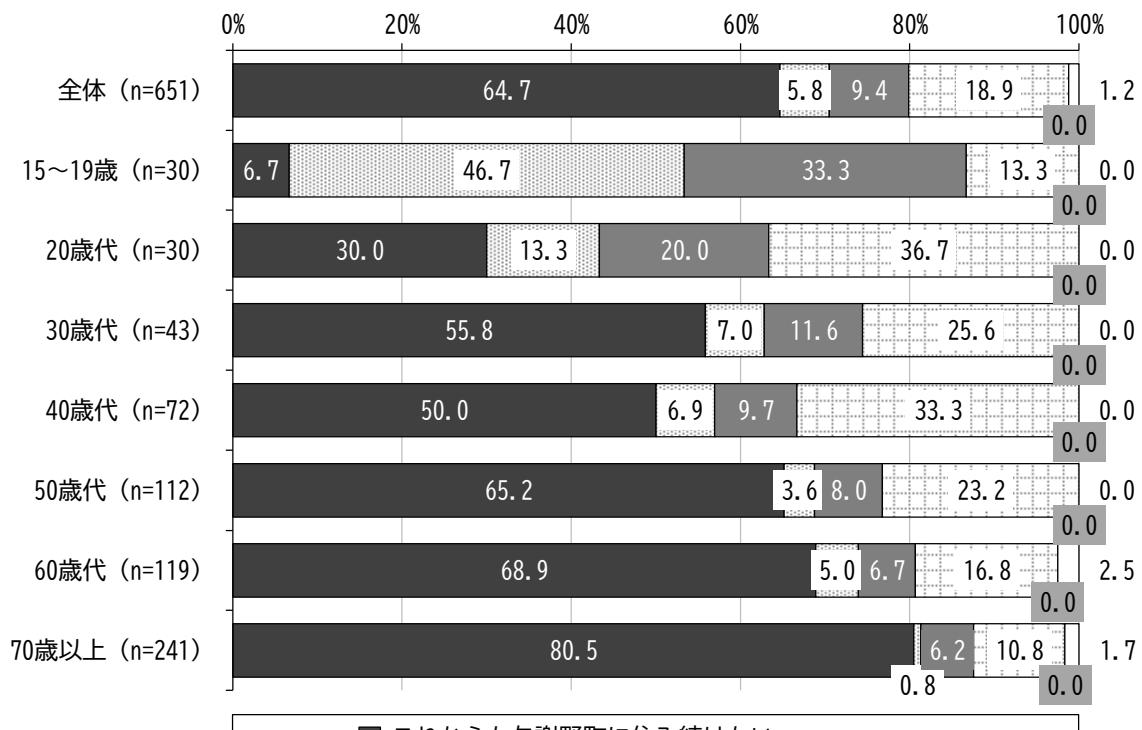
## ◆年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「これからも与謝野町に住み続けたい」が多くなっています。

### 【今回調査】

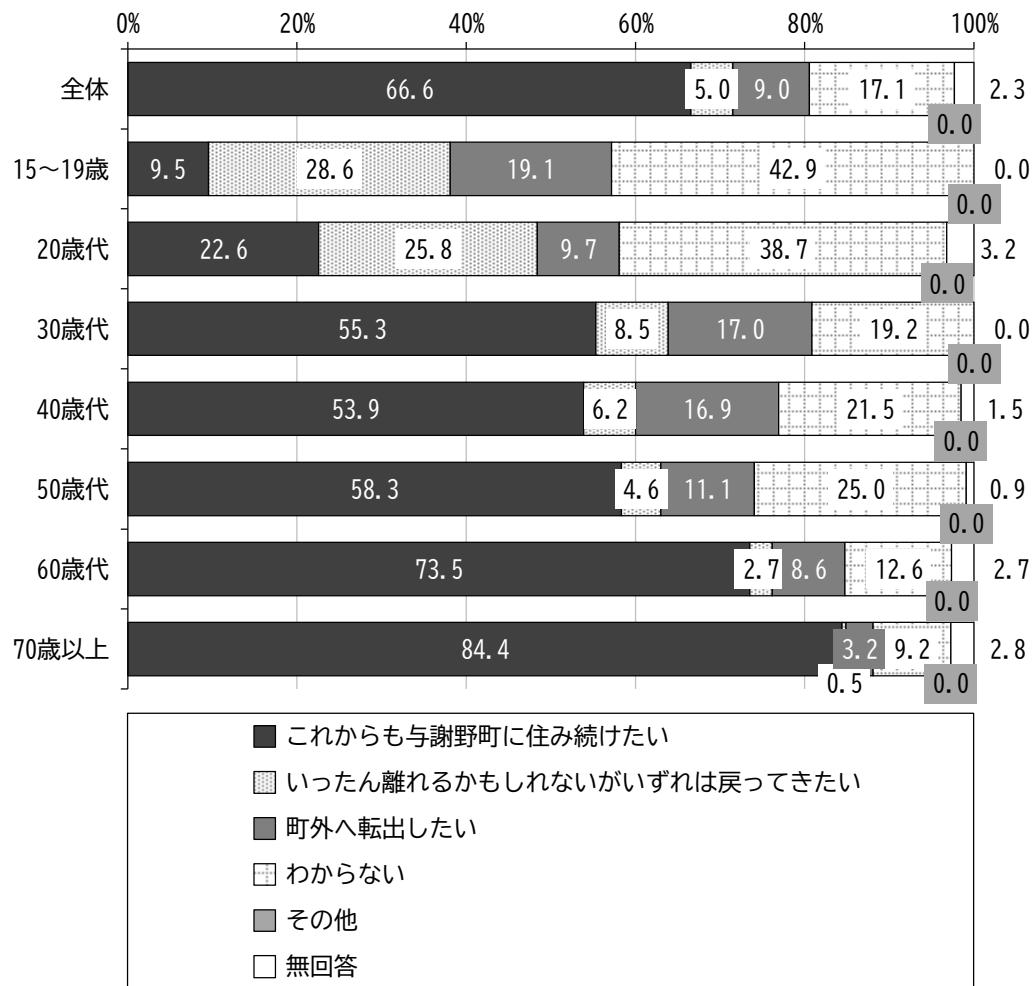


### 【令和6年度調査】



- これからも与謝野町に住み続けたい
- いたん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい
- 町外へ転出したい
- わからない
- その他
- 無回答

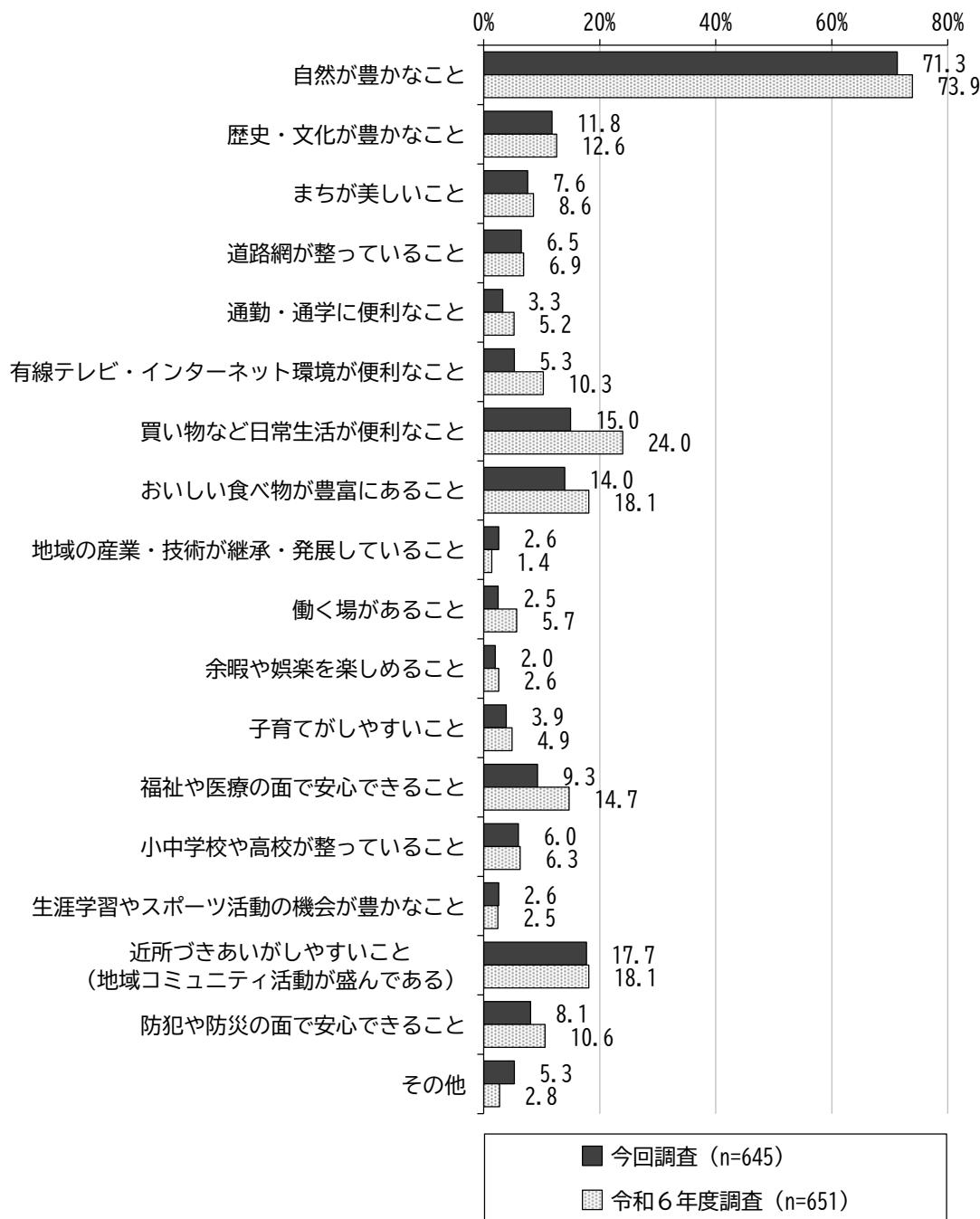
【令和5年度調査】



## 問17 与謝野町の良いところは何ですか。(○は3つまで)

「自然が豊かなこと」が71.3%と最も多く、次いで「近所づきあいがしやすいこと（地域コミュニティ活動が盛んである）」が17.7%、「買い物など日常生活が便利なこと」が15.0%となっています。

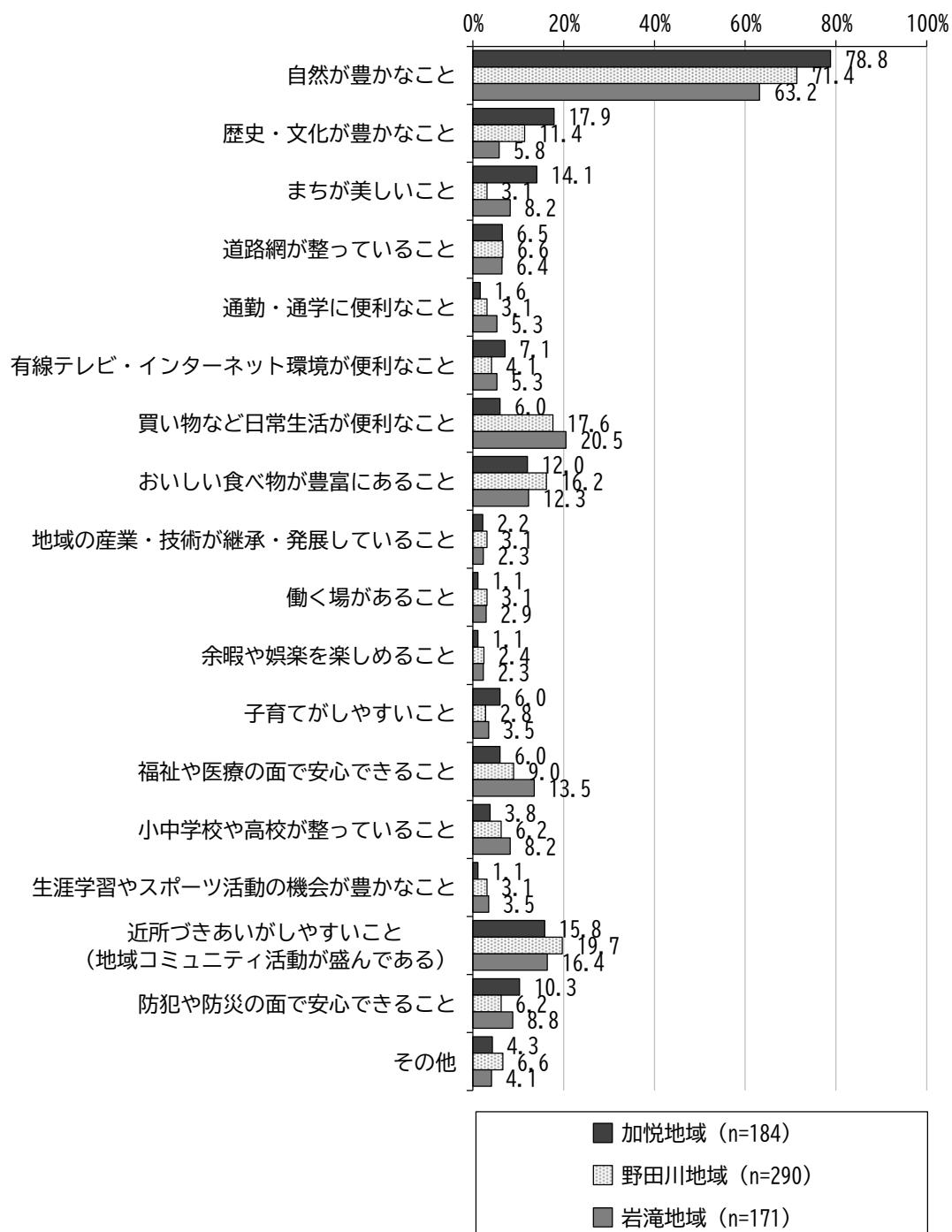
令和6年度調査と比較すると、「買い物など日常生活が便利なこと」が9.0ポイント、「福祉や医療の面で安心できること」が5.4ポイント減少しています。



※今回調査の「近所づきあいがしやすいこと（地域コミュニティ活動が盛んである）」は令和6年度調査では「近所づきあいがしやすいこと」

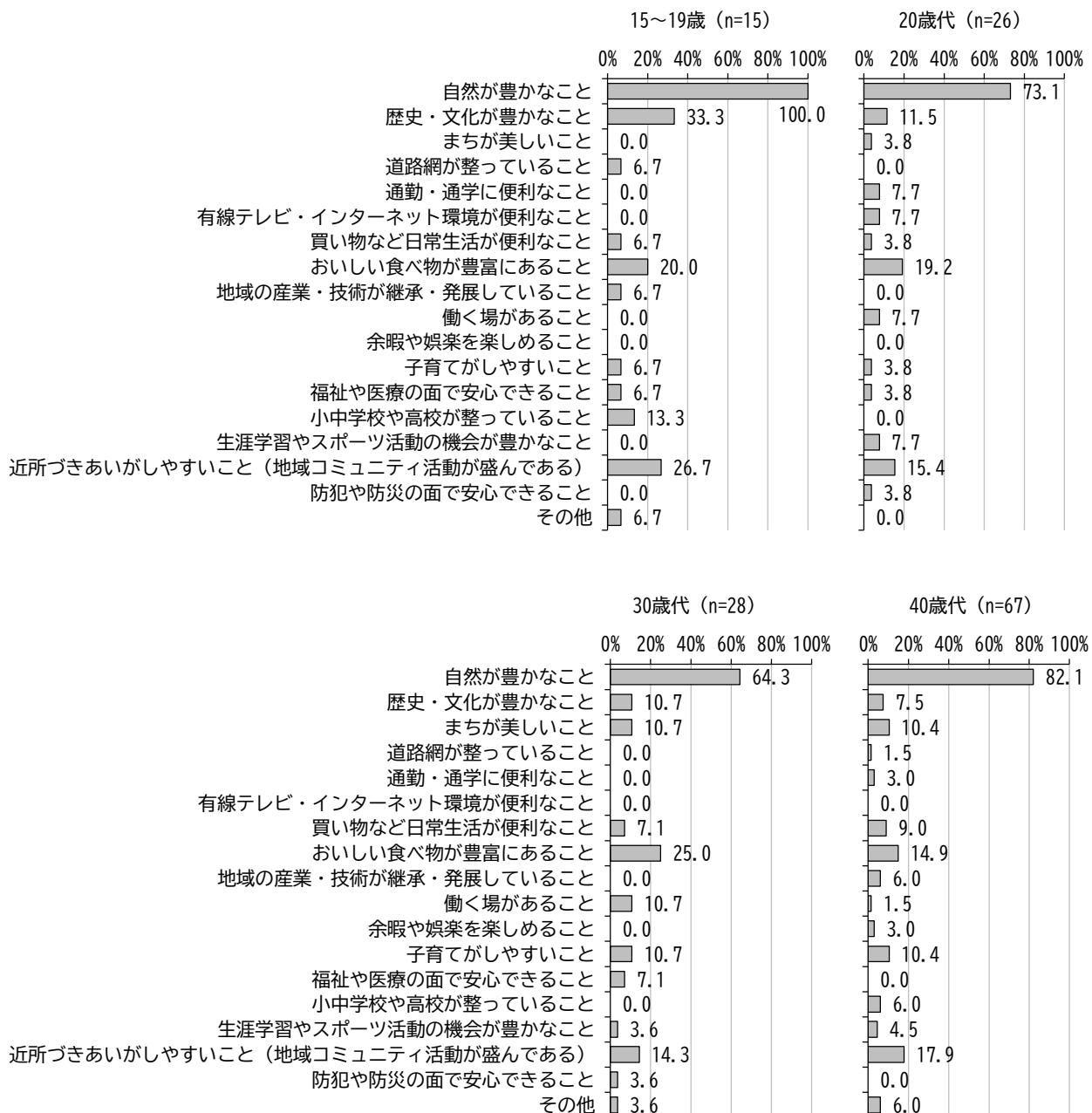
## ◆地域別

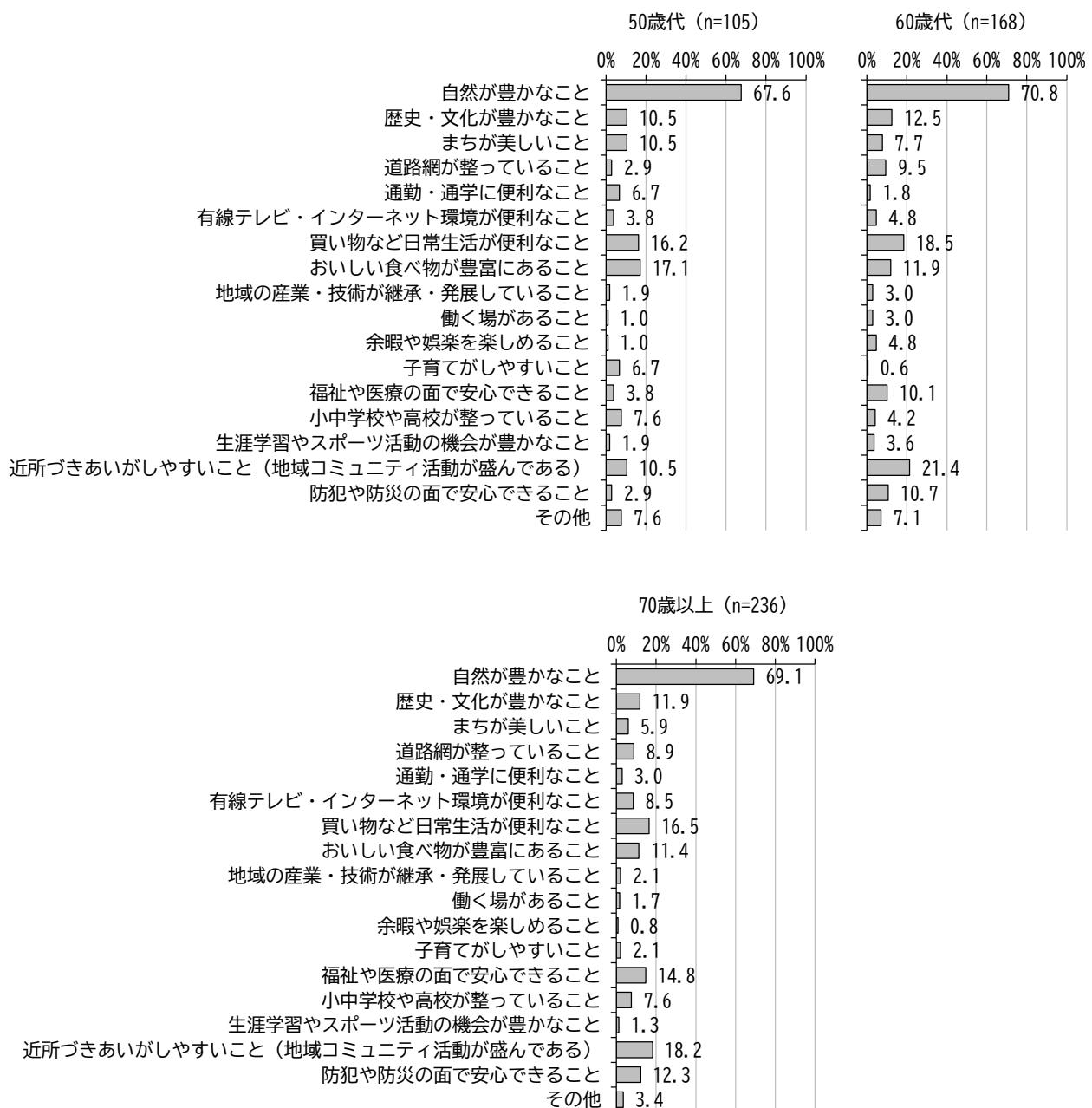
地域別にみると、いずれの地域も「自然が豊かなこと」が最も多くなっています。また、〔加悦地域〕では「買い物など日常生活が便利なこと」がその他の地域と比べて低くなっています。



## ◆年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢も「自然が豊かなこと」が最も多くなっています。また、[15~19歳]では「歴史・文化が豊かなこと」がその他の年齢と比べて高くなっています。

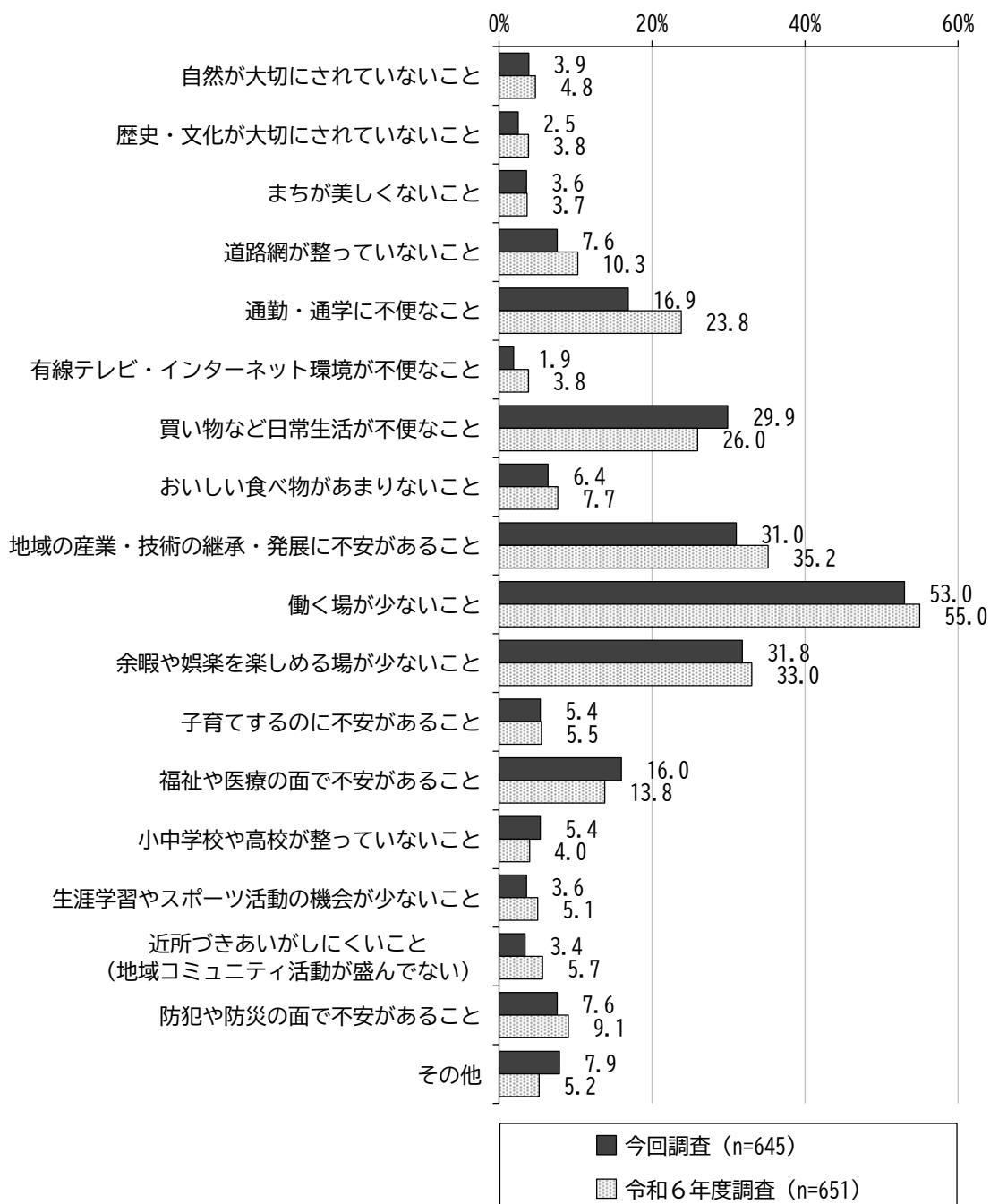




## 問18 与謝野町の気になるところは何ですか。(○は3つまで)

「働く場が少ないとこと」が53.0%と最も多く、次いで「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないとこと」が31.8%、「地域の産業・技術の継承・発展に不安があること」が31.0%となっています。

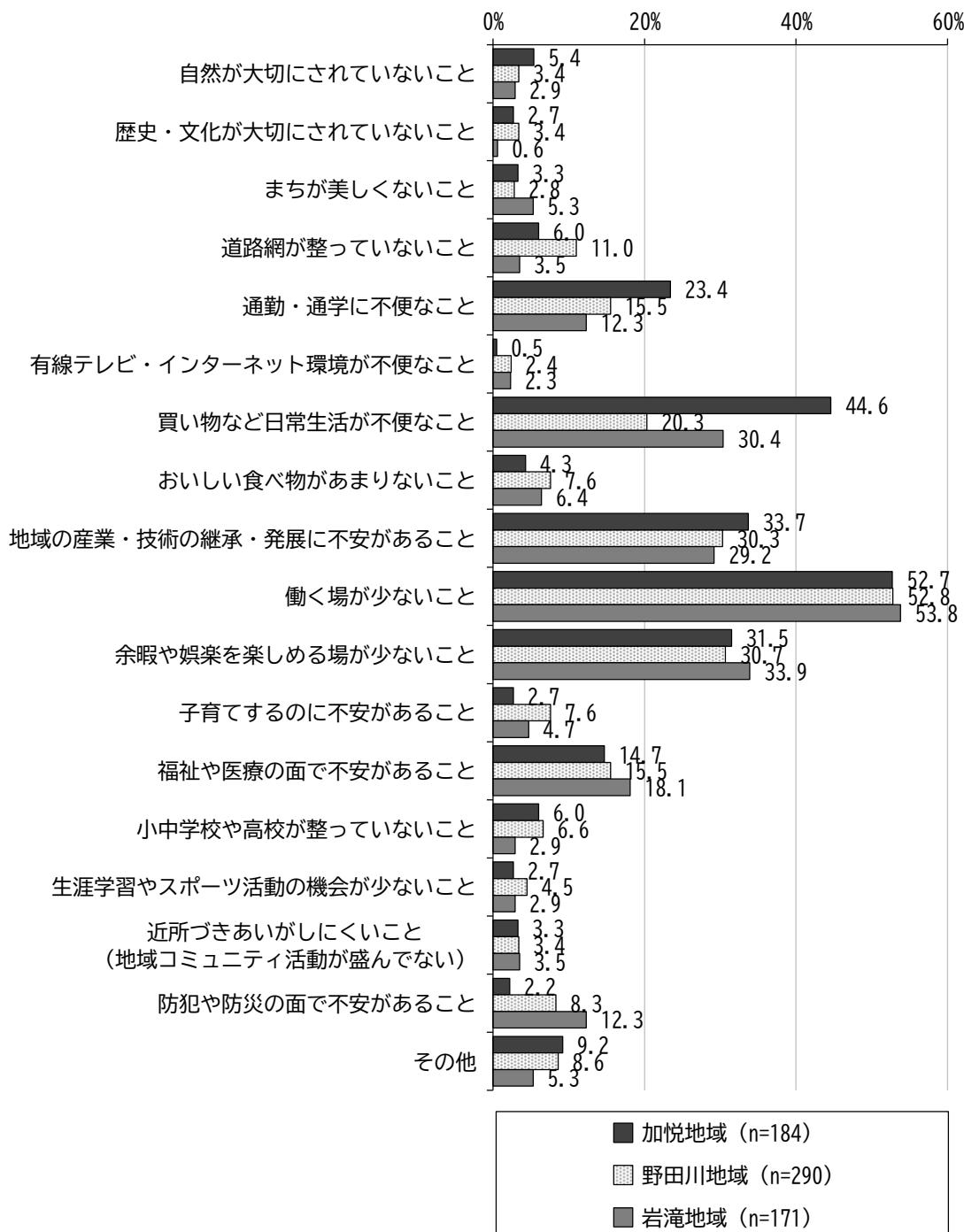
令和6年度調査と比較すると、「通勤・通学に不便なこと」が6.9ポイント減少しています。



※今回調査の「近所づきあいがしにくいこと（地域コミュニティ活動が盛んでない）」は令和6年度調査では「近所づきあいがしにくいこと」

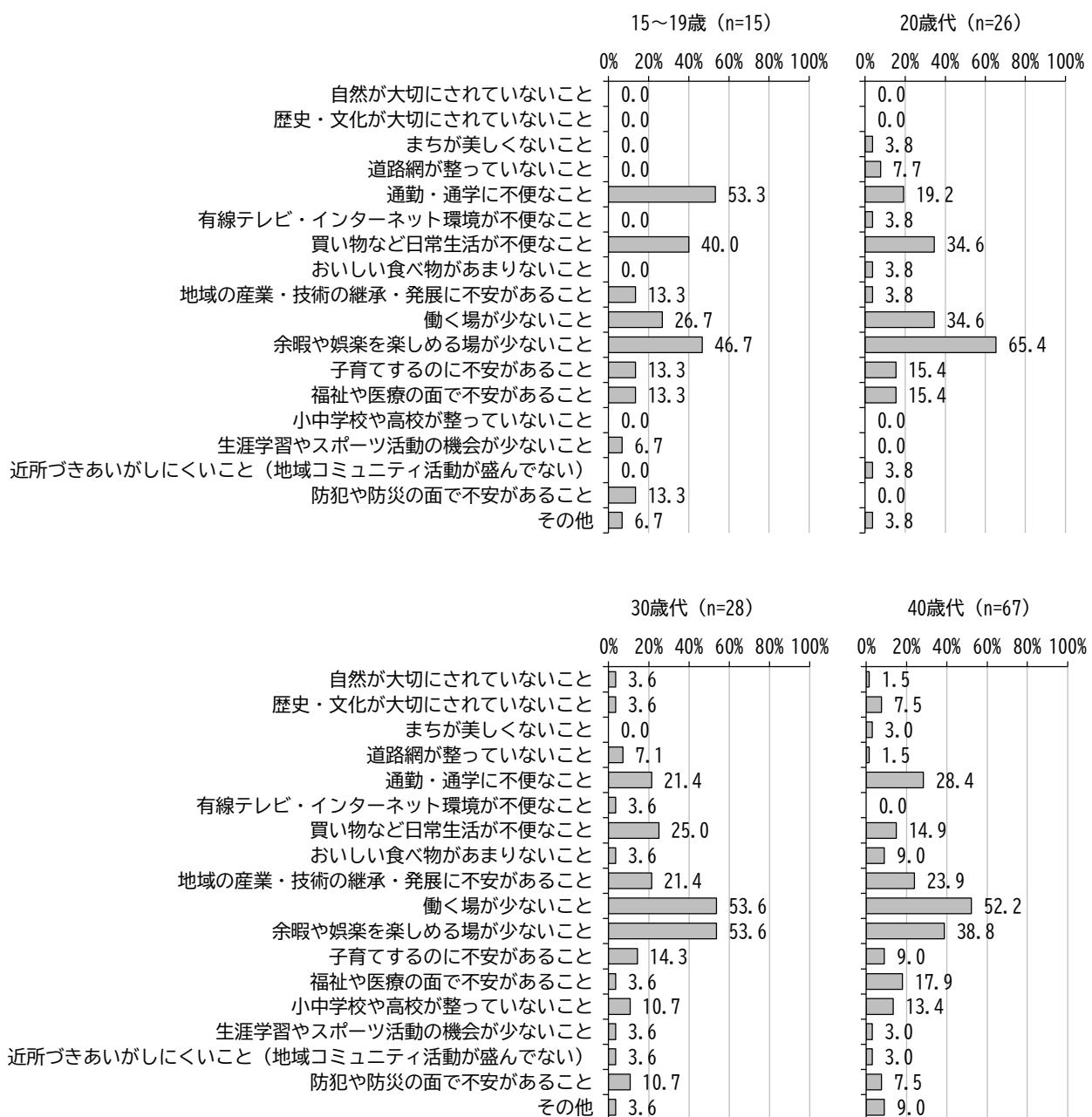
## ◆地域別

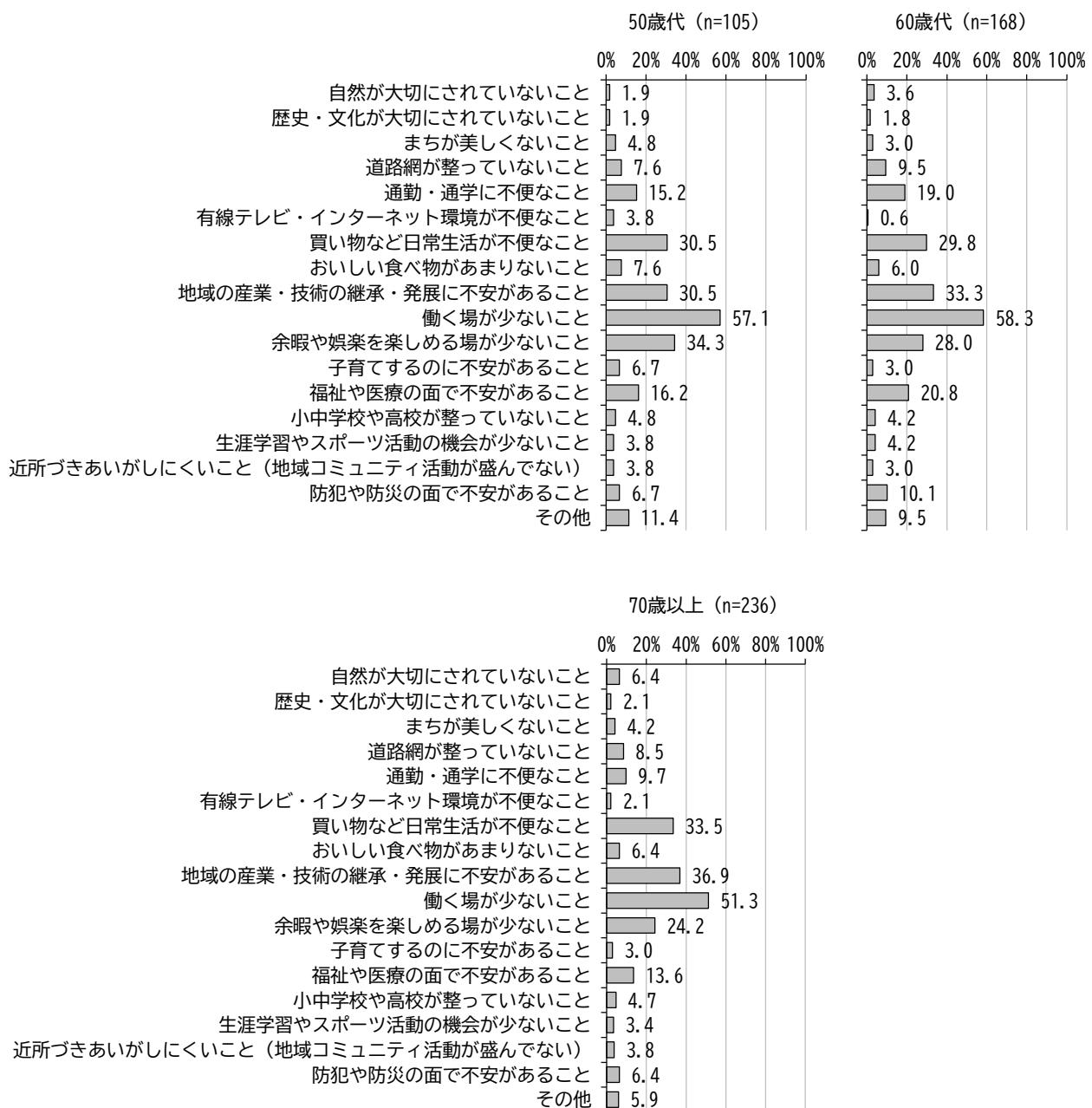
地域別にみると、いずれの地域も「働く場が少ないとこと」が最も多くなっています。また、[加悦地域]では「買い物など日常生活が不便なこと」がその他の地域と比べて高くなっています。



## ◆年齢別

年齢別にみると、[15～19歳]では「通勤・通学に不便なこと」、[20歳代]では「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないとこと」、[30歳代]では「働く場が少ないとこと」「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないとこと」、40歳以上では「働く場が少ないとこと」が最も多くなっています。

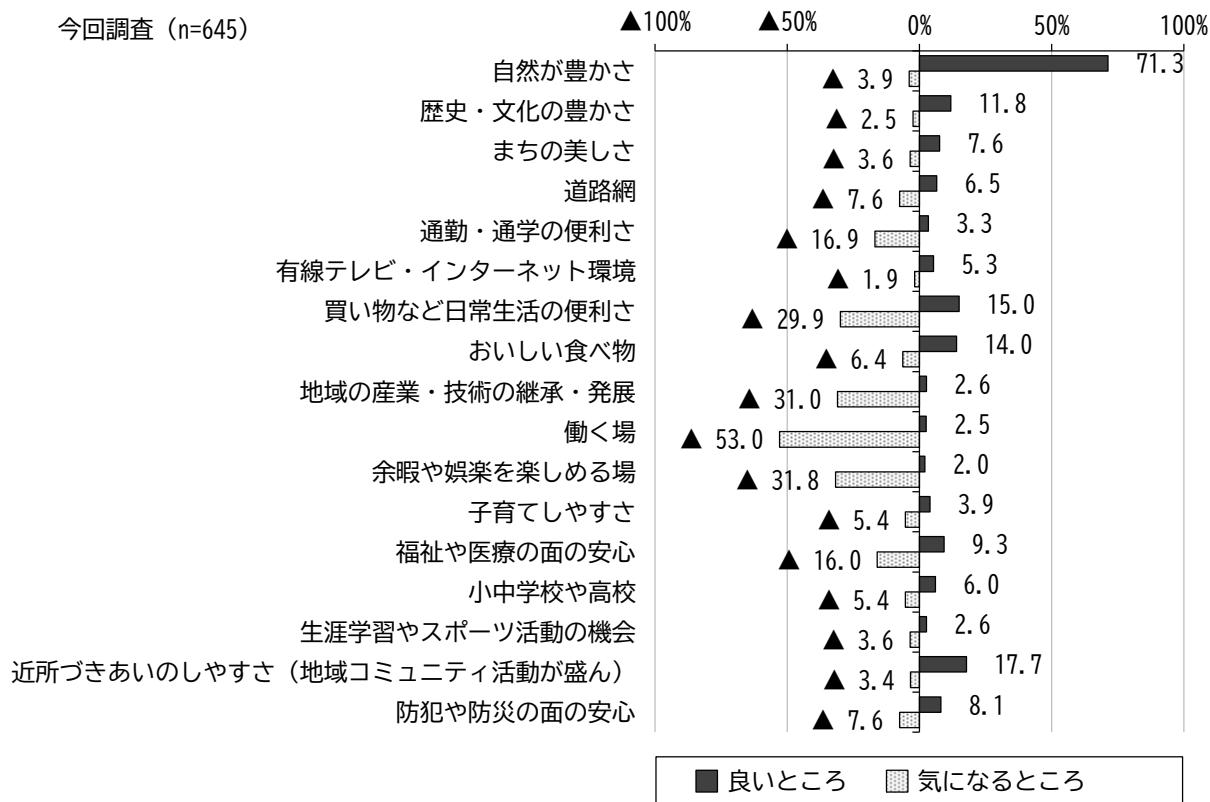




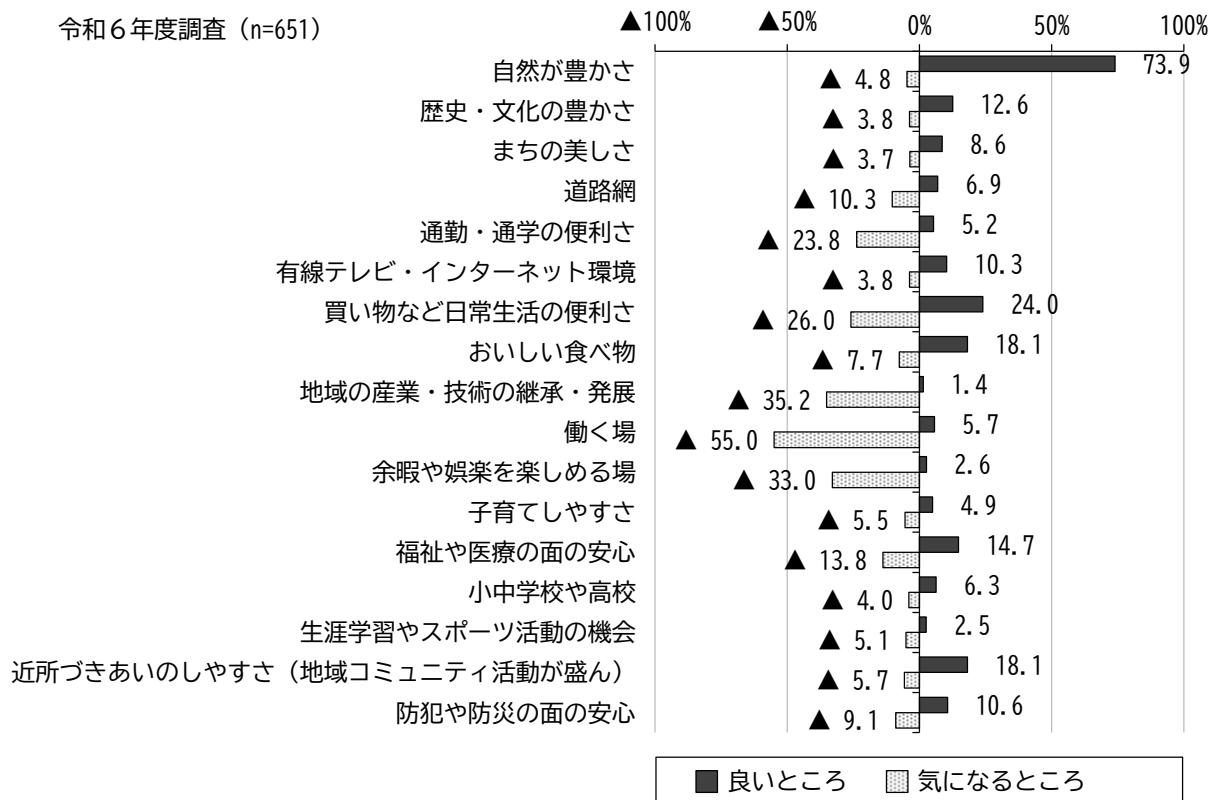
## ◆与謝野町の良いところと気になるところ

与謝野町の良いところと気になるところを1つのグラフにすると、次のとおりです。

### 【今回調査】



### 【令和6年度調査】



## 5 与謝野町のまちづくりについて

問19 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どのくらい満足していますか。また、今後どのようなまちづくりが重要だと思いますか。(①～⑥すべての項目について、満足度、重要度それぞれ1つずつ選んで○)

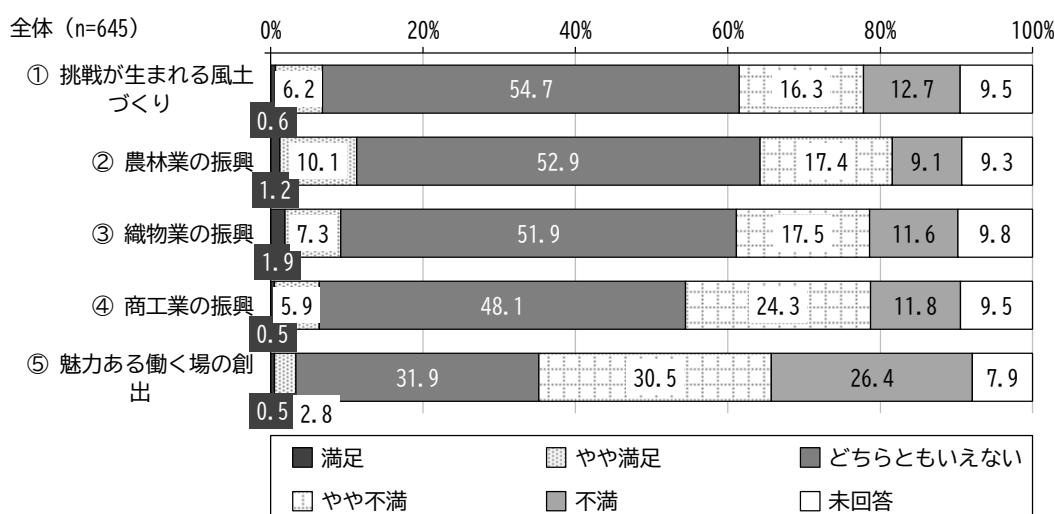
### ■産業・仕事

(一人ひとりが個性を活かして安心して働くまち)

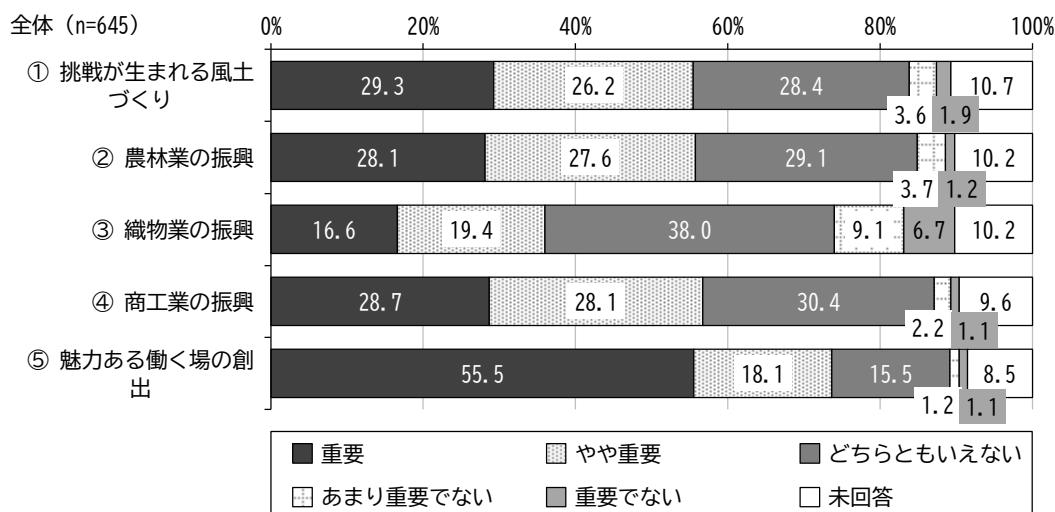
『満足計（「満足」と「やや満足」の合計）』は〔② 農林業の振興〕で11.3%、その他の項目で1割未満となっています。『不満計（「不満」と「やや不満」の合計）』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で56.9%、〔④ 商工業の振興〕で36.1%、〔③ 織物業の振興〕で29.1%となっています。

『重要計（「重要」と「やや重要」の合計）』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で73.6%、〔④ 商工業の振興〕で56.8%、〔② 農林業の振興〕で55.7%となっています。『重要でない計（「重要でない」と「あまり重要でない」の合計）』は〔③ 織物業の振興〕で15.8%、その他の項目で1割未満となっています。

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度



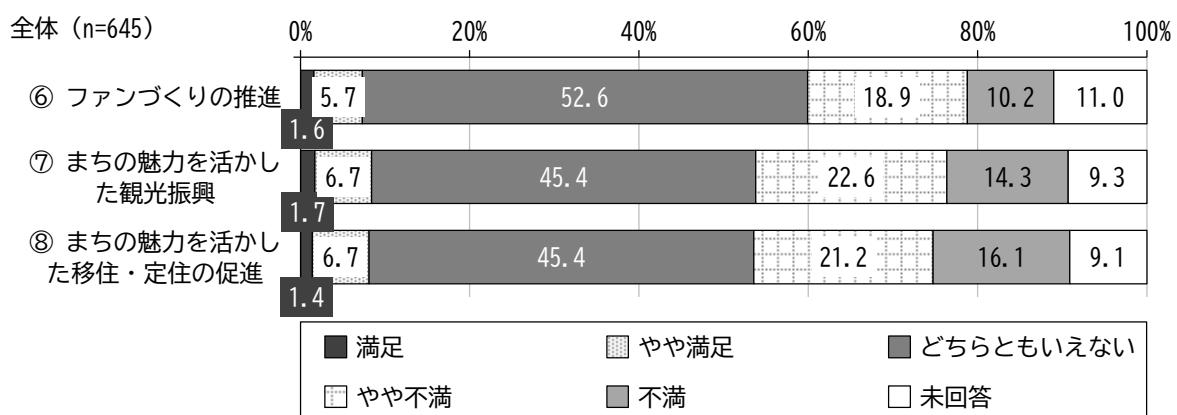
## ■観光・交流・移住定住

(地元を誇りに想い人の流れを生むまち)

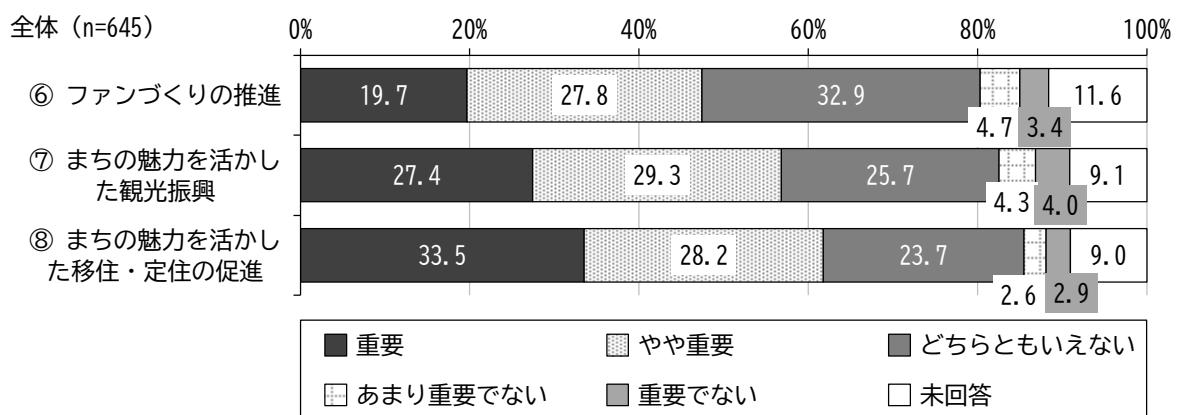
『満足計』はいずれの項目も1割未満となっています。『不満計』は【⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進】で37.3%、【⑦ まちの魅力を活かした観光振興】で36.9%、【⑥ ファンづくりの推進】で29.1%となっています。

『重要計』は【⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進】で61.7%、【⑦ まちの魅力を活かした観光振興】で56.7%、【⑥ ファンづくりの推進】で47.5%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

### (1) 満足度



### (2) 重要度



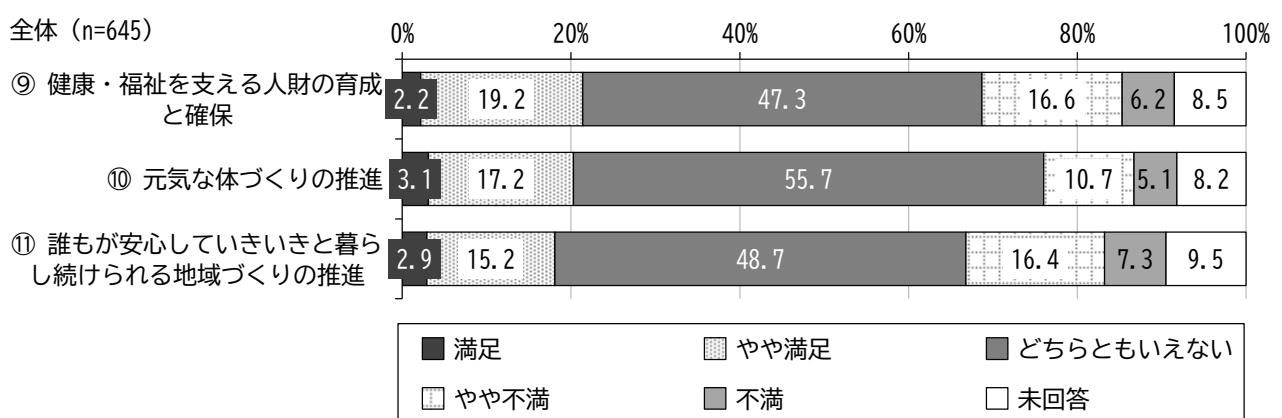
## ■健康・福祉

### (みんなが自分らしく幸せに生きるまち)

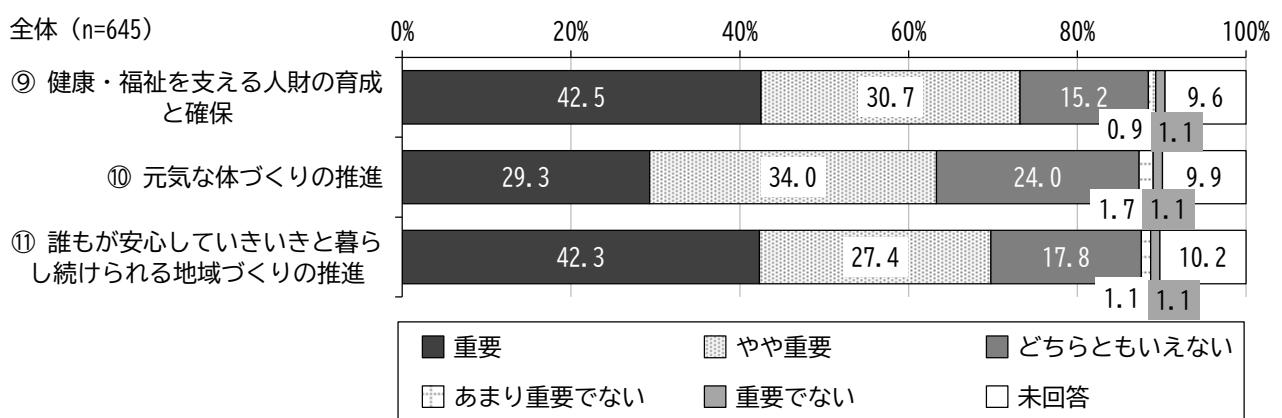
『満足計』は〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で21.4%、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で20.3%、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で18.1%となっています。『不満計』は〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で23.7%、〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で22.8%、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で15.8%となっています。

『重要計』は〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で73.2%、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で69.7%、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で63.3%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度



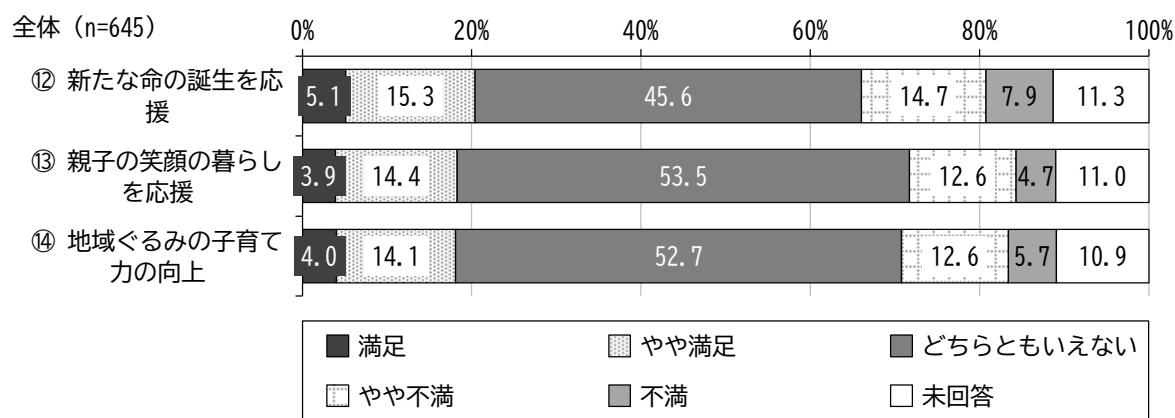
## ■子ども・子育て

(つながりで笑顔を未来につむぐまち)

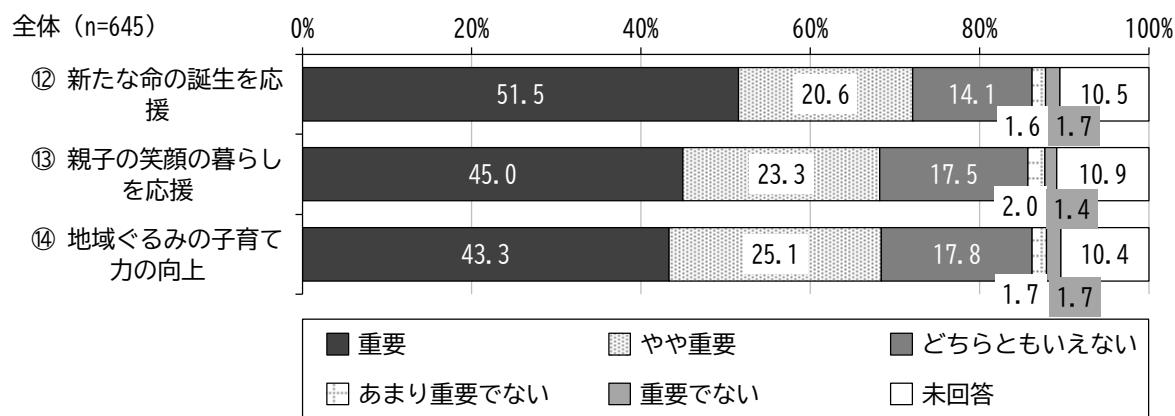
『満足計』は〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で20.4%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で18.3%、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で18.1%となっています。『不満計』は〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で22.6%、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で18.3%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で17.3%となっています。

『重要計』は〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で72.1%、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で68.4%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で68.3%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

### (1) 満足度



### (2) 重要度



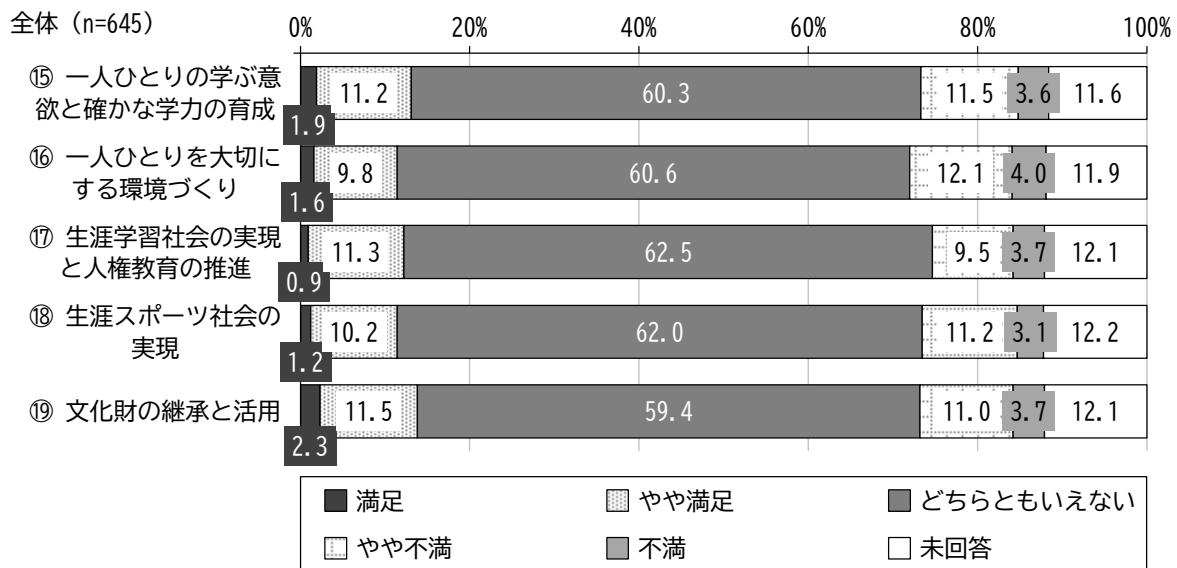
## ■教育・スポーツ・文化

(魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち)

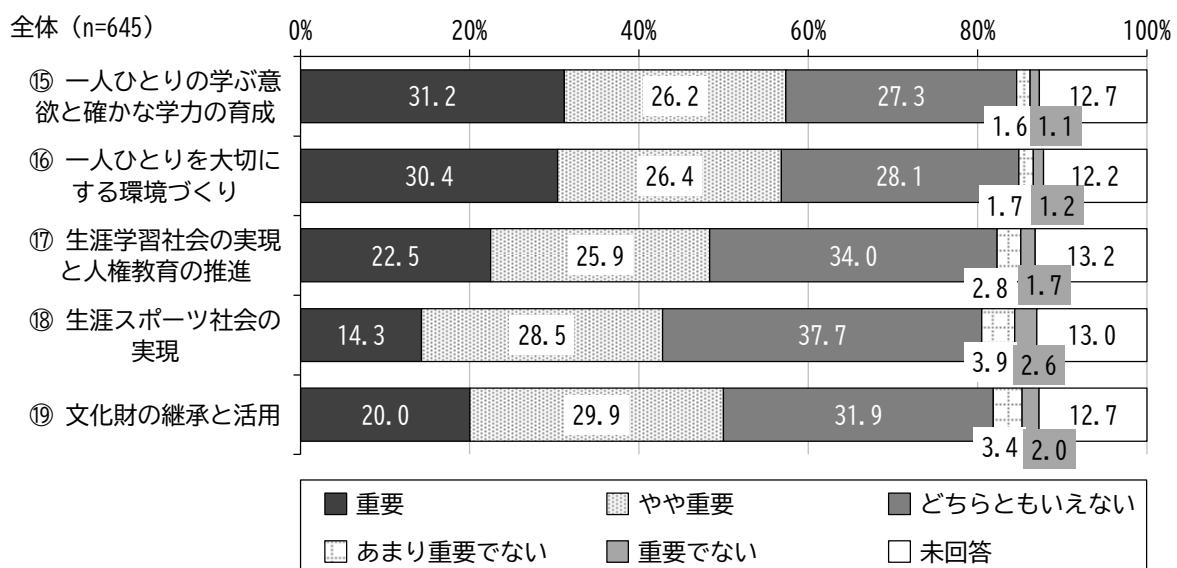
『満足計』は【⑯ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成】で13.1%、【⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり】で16.1%、【⑯ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進】で12.2%となっています。『不満計』は【⑯ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成】で15.1%、【⑯ 文化財の継承と活用】で14.7%となっています。

『重要計』は【⑯ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成】で57.4%、【⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり】で56.8%、【⑯ 文化財の継承と活用】で49.9%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

### (1) 満足度



### (2) 重要度



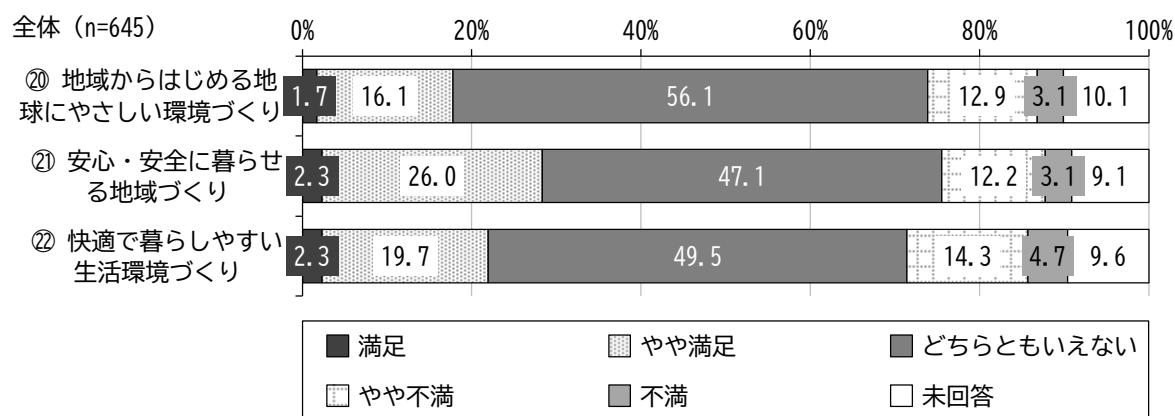
## ■環境・暮らし

### (美しくて住みやすい安心安全なまち)

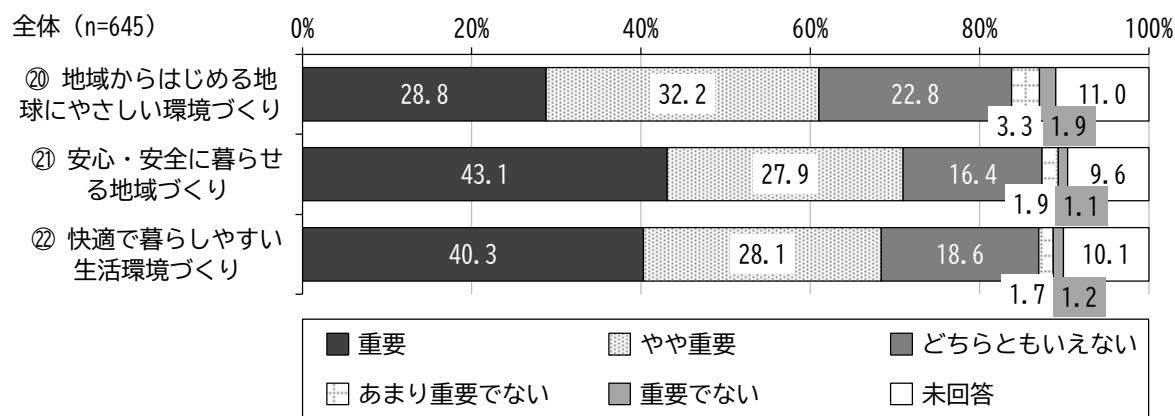
『満足計』は〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で28.3%、〔② 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で22.0%、〔② 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕で17.8%となっています。『不満計』は〔② 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で19.0%、〔② 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕で16.0%、〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で15.3%となっています。

『重要計』は〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で71.0%、〔② 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で68.4%、〔② 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕で61.0%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度



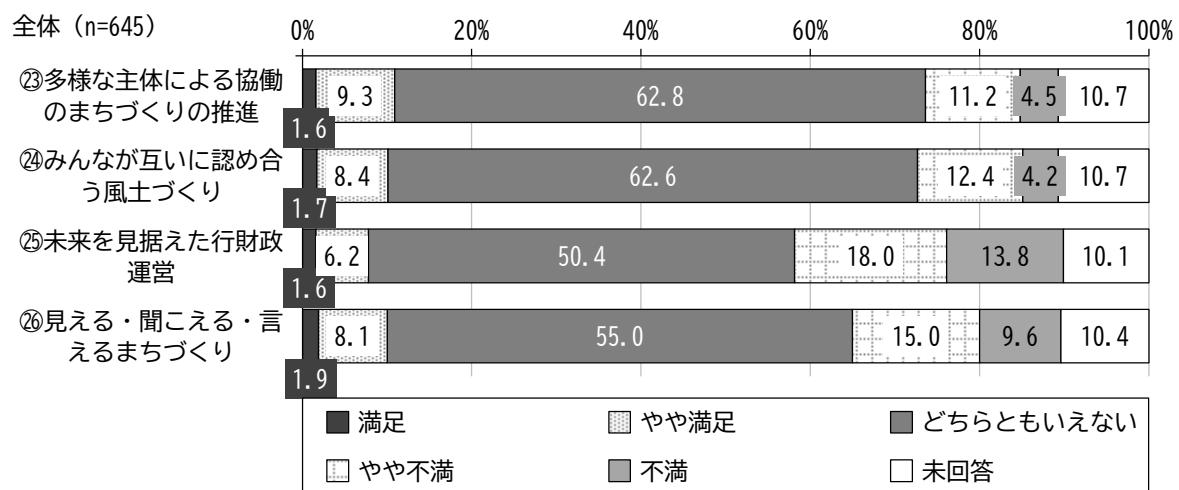
## ■地域協働・行財政運営

### (住民が主人公となるまち)

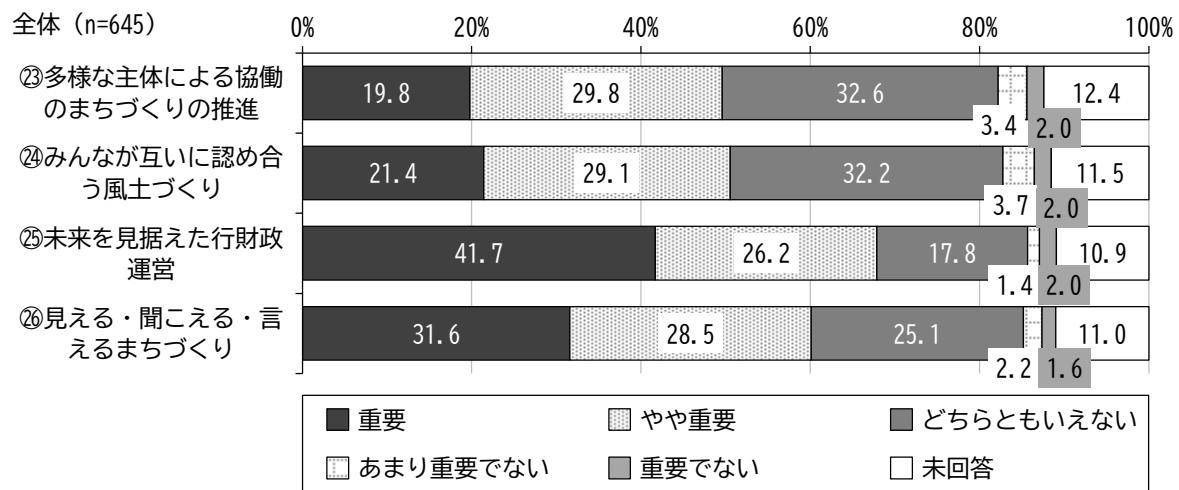
『満足計』は〔㉓多様な主体による協働のまちづくりの推進〕で10.9%、〔㉔みんなが互いに認め合う風土づくり〕で10.1%、〔㉖見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で10.0%となっています。『不満計』は〔㉕未来を見据えた行財政運営〕で31.8%、〔㉖見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で24.6%、〔㉔みんなが互いに認め合う風土づくり〕で16.6%となっています。

『重要計』は〔㉕未来を見据えた行財政運営〕で67.9%、〔㉖見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で60.1%、〔㉔みんなが互いに認め合う風土づくり〕で50.5%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度



## ■各施策の加重平均

※施策の満足度、重要度の選択肢については5点満点で点数化した値を用いて分析。

◎満足度＝（「満足」の回答者数×5点+「やや満足」の回答者数×4点+「どちらともいえない」の回答者数×3点+「やや不満」の回答者数×2点+「不満」の回答者数×1点）  
 ÷（「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の各回答者数の合計）

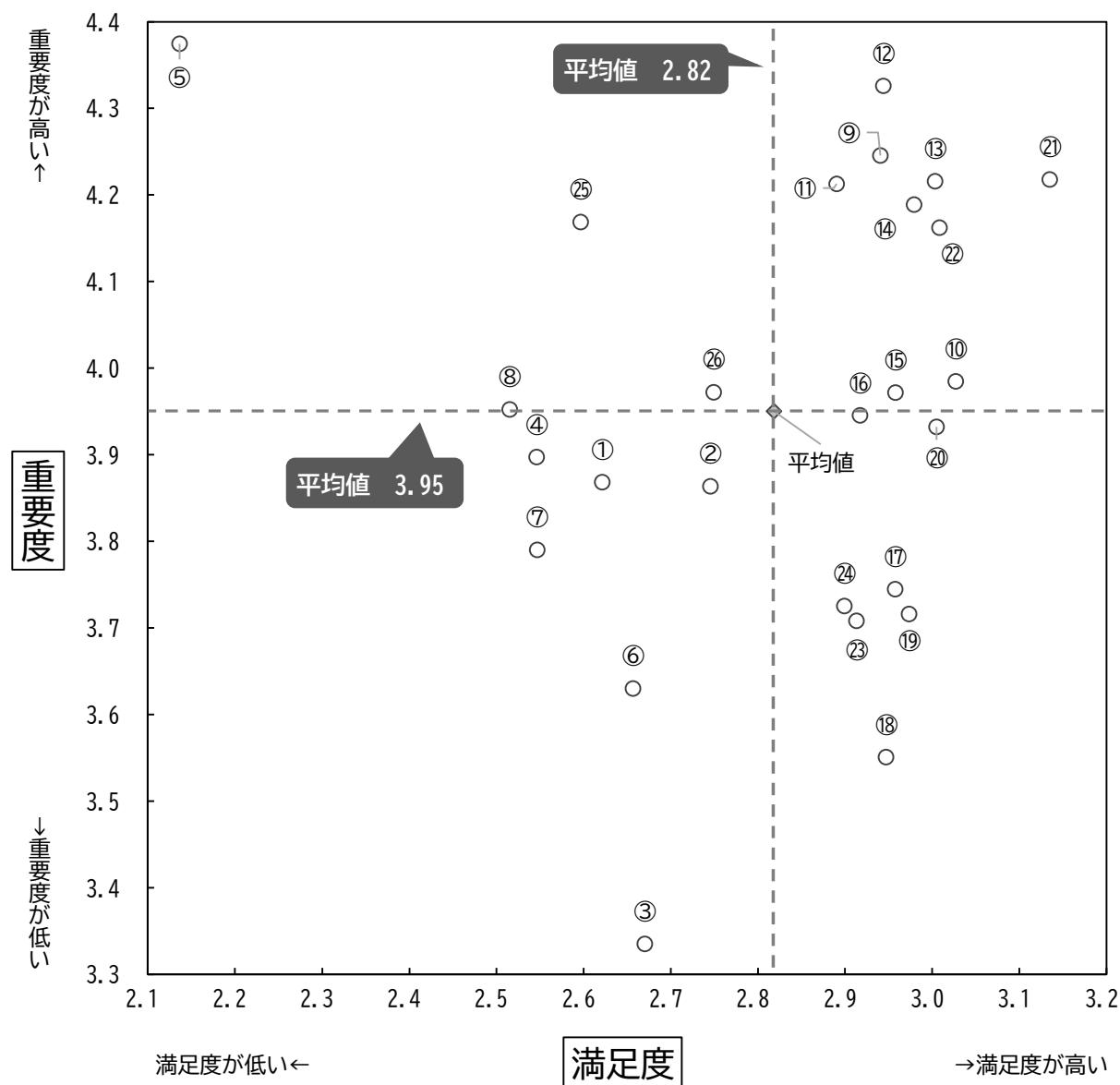
◎重要度＝（「重要」の回答者数×5点+「やや重要」の回答者数×4点+「どちらともいえない」の回答者数×3点+「あまり重要でない」の回答者数×2点+「重要でない」の回答者数×1点）  
 ÷（「重要」「やや重要」「どちらともいえない」「あまり重要でない」「重要でない」の各回答者数の合計）

分野	基本施策	満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
産業・仕事	① 挑戦が生まれる風土づくり	2.62	21	3.87	17
	② 農林業の振興	2.75	17	3.86	18
	③ 織物業の振興	2.67	19	3.34	26
	④ 商工業の振興	2.55	23	3.90	16
	⑤ 魅力ある働く場の創出	2.14	26	4.37	1
観光・ 交流・ 移住定住	⑥ ファンづくりの推進	2.66	20	3.63	24
	⑦ まちの魅力を活かした観光振興	2.55	23	3.79	19
	⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進	2.52	25	3.95	13
健康・福祉	⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保	2.94	11	4.25	3
	⑩ 元気な体づくりの推進	3.03	2	3.98	10
	⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進	2.89	16	4.21	6
子ども・ 子育て	⑫ 新たな命の誕生を応援	2.94	11	4.33	2
	⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援	3.00	5	4.22	4
	⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上	2.98	6	4.19	7
教育・ スポーツ・ 文化	⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	2.96	8	3.97	11
	⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり	2.92	13	3.95	13
	⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進	2.96	8	3.74	20
	⑱ 生涯スポーツ社会の実現	2.95	10	3.55	25
	⑲ 文化財の継承と活用	2.97	7	3.72	22
環境・ 暮らし	⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	3.01	3	3.93	15
	㉑ 安心・安全に暮らせる地域づくり	3.13	1	4.22	4
	㉒ 快適で暮らしやすい生活環境づくり	3.01	3	4.16	9
地域協働・ 行財政運営	㉓ 多様な主体による協働のまちづくりの推進	2.91	14	3.71	23
	㉔ みんなが互いに認め合う風土づくり	2.90	15	3.73	21
	㉕ 未来を見据えた行財政運営	2.60	22	4.17	8
	㉖ 見える・聞こえる・言えるまちづくり	2.75	17	3.97	11

## ■満足度と重要度の関係

満足度が高く、重要度も高い施策では、〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑭ 安心・安全に暮らせる地域づくり〕などの項目が上位にあがっています。

一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕〔⑦ 未来を見据えた行財政運営〕〔⑩ 見える・聞こえる・言えるまちづくり〕があがっています。

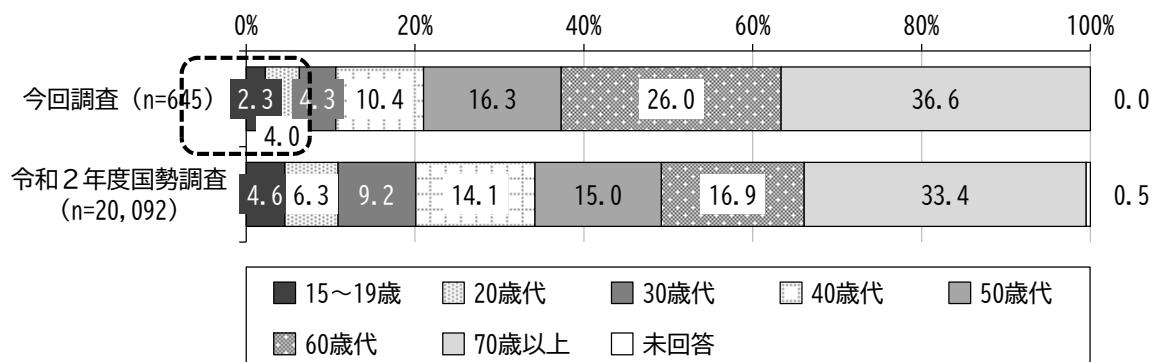


## 6 若者世代に見る与謝野町のまちづくりについて

本アンケートは、15歳以上の町民から2,000人を無作為抽出し、645件の回答を得ましたが、実際の人口の年齢構成においては40歳以上が約80%を占めており、また回答者の年齢構成においても40歳以上が約90%となっています。

そこで10年先、20年先において本町のまちづくりを担う主力と想定される15～39歳の年齢層（若者世代）69件の回答傾向を把握するため、当該世代に絞ってアンケート結果をまとめました。

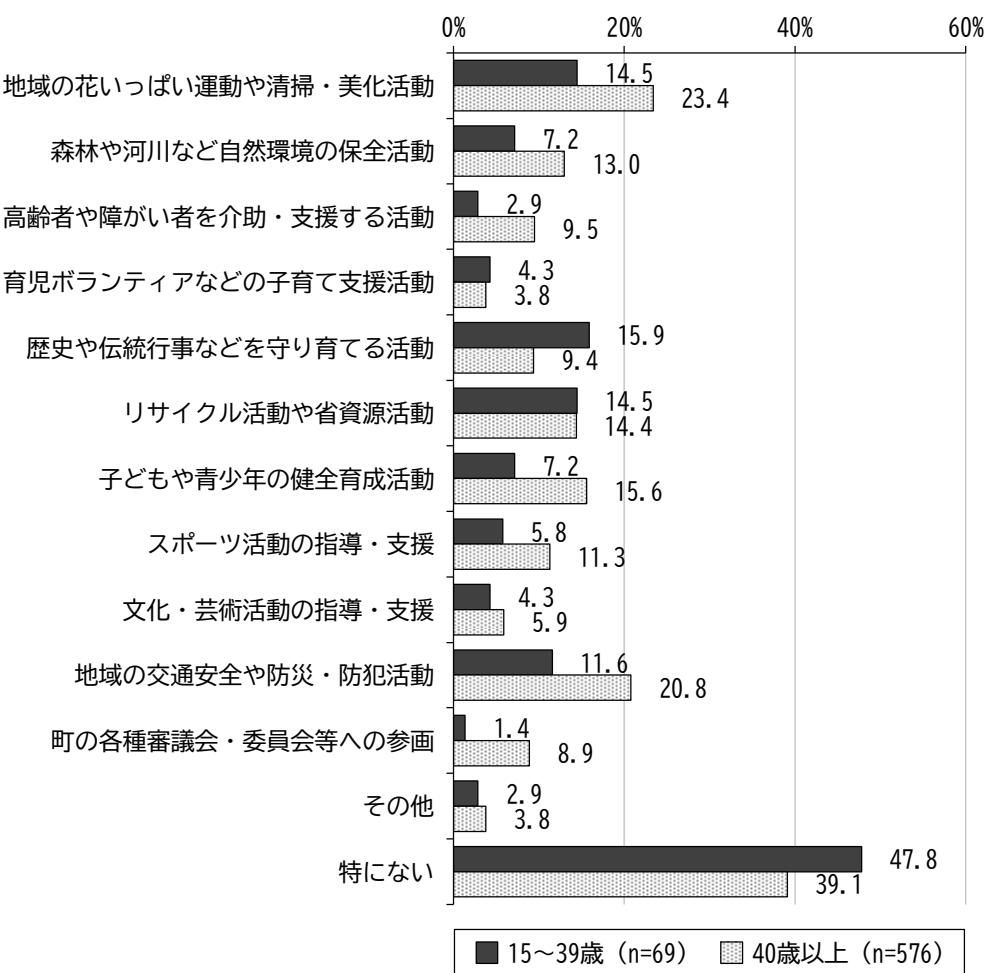
（再掲）問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。（○は1つ）



問7 「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。  
(参加したことがあるものすべてに○)

若者世代では「特ない」が47.8%と最も多く、次いで「歴史や伝統行事などを守り育てる活動」が15.9%、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」「リサイクル活動や省資源活動」が14.5%となっています。

40歳以上と比較すると、若者世代では「歴史や伝統行事などを守り育てる活動」が6.5ポイント高くなっていますが、「地域の交通安全や防災・防犯活動」が9.2ポイント、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が8.9ポイント低くなっています。

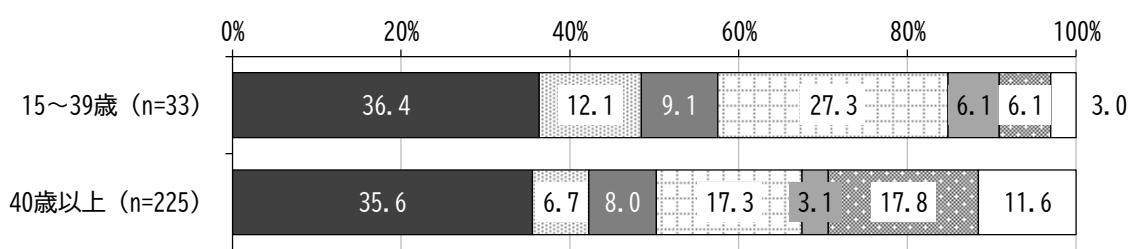


## 問7で「特にない」と回答された方

### 問8 あなたが参加しなかった（できなかった）理由は何ですか。（○は1つ）

若者世代では「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が36.4%と最も多く、次いで「まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が27.3%、「まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない（参加の仕方がわかれれば参加したいし、出来ると思う）」が12.1%となっています。

40歳以上と比較すると、若者世代では「まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が10.0ポイント高くなっています。

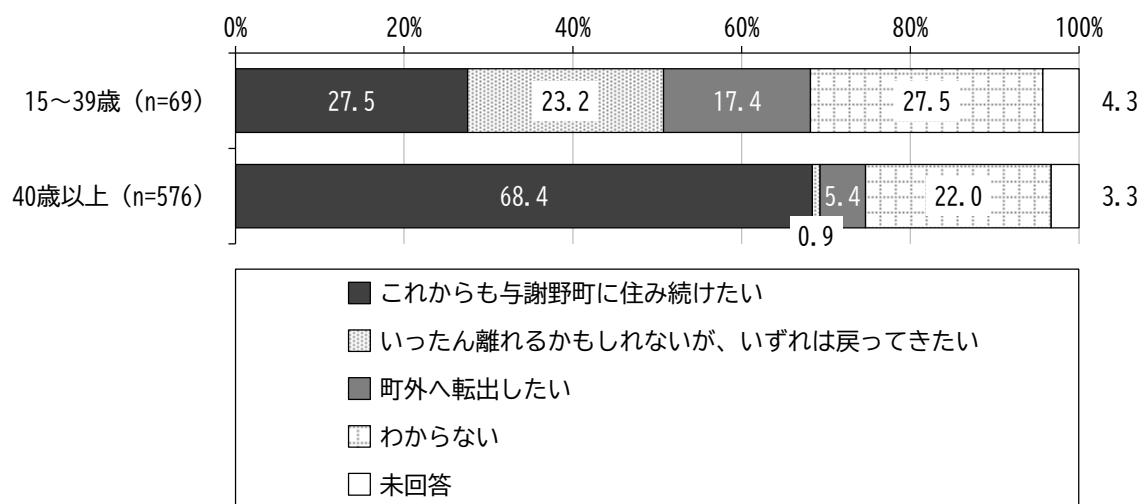


- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない  
(時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない  
(参加の仕方がわかれれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入していくのが  
難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思うが、  
自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- その他
- 未回答

## 問16 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。また、その理由は何ですか。(○は1つ)

若者世代では「これからも与謝野町に住み続けたい」「わからない」が27.5%と最も多く、次いで「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が23.2%となっています。

40歳以上と比較すると、若者世代では「これからも与謝野町に住み続けたい」が40.9ポイント低く、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が22.3ポイント、「町外へ転出したい」が12.0ポイント高くなっています。



問19 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どのくらい満足していますか。また、今後どのようなまちづくりが重要だと思いますか。(①～⑯すべての項目について、満足度、重要度それぞれ1つずつ選んで○)

若者世代では『満足計』は〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で43.5%、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で39.1%、〔⑯ 文化財の継承と活用〕で37.7%、〔② 農林業の振興〕で36.2%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑩ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕〔⑫ 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で31.9%となっています。『不満計』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で37.7%、〔⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進〕で31.8%、〔⑯ 未来を見据えた行財政運営〕で27.5%、〔⑦ まちの魅力を活かした観光振興〕〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕〔⑯ 見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で23.1%となっています。

『重要計』は〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で86.9%、〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で85.5%、〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で84.0%、〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で82.6%となっています。『重要でない計』は〔③ 織物業の振興〕〔⑥ ファンづくりの推進〕で13.0%、〔⑯ 生涯スポーツ社会の実現〕で10.1%、その他の項目で1割未満となっています。

『満足計』について40歳以上と比較すると、若者世代では〔② 農林業の振興〕で27.9ポイント、〔⑯ 文化財の継承と活用〕で26.7ポイント、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で23.5ポイント、〔⑯ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で19.5ポイント、〔⑯ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進〕で18.7ポイント高くなっています。『不満計』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で21.5ポイント、〔④ 商工業の振興〕で17.7ポイント、〔② 農林業の振興〕で16.7ポイント、〔⑦ まちの魅力を活かした観光振興〕で15.5ポイント、〔① 挑戦が生まれる風土づくり〕で14.6ポイント低くなっています。

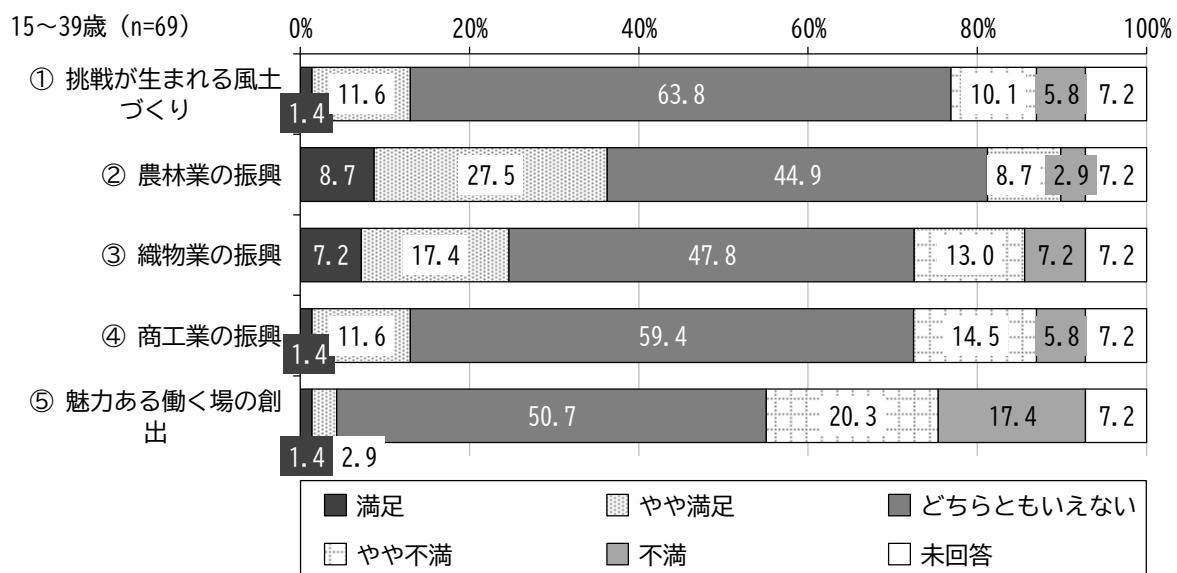
『重要計』について40歳以上と比較すると、若者世代では〔⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり〕で22.5ポイント、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で21.0ポイント、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で20.8ポイント、〔⑯ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で18.5ポイント、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で16.9ポイント高くなっています。『重要でない計』はいずれの項目も差は1割未満となっています。

【15～39歳】

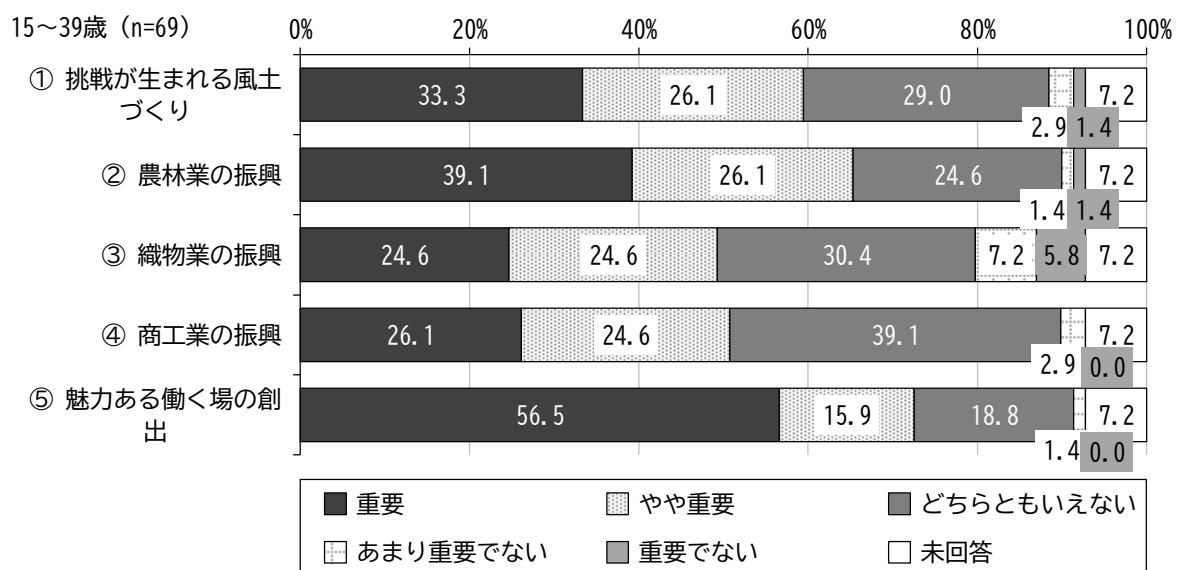
■産業・仕事

(一人ひとりが個性を活かして安心して働くまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

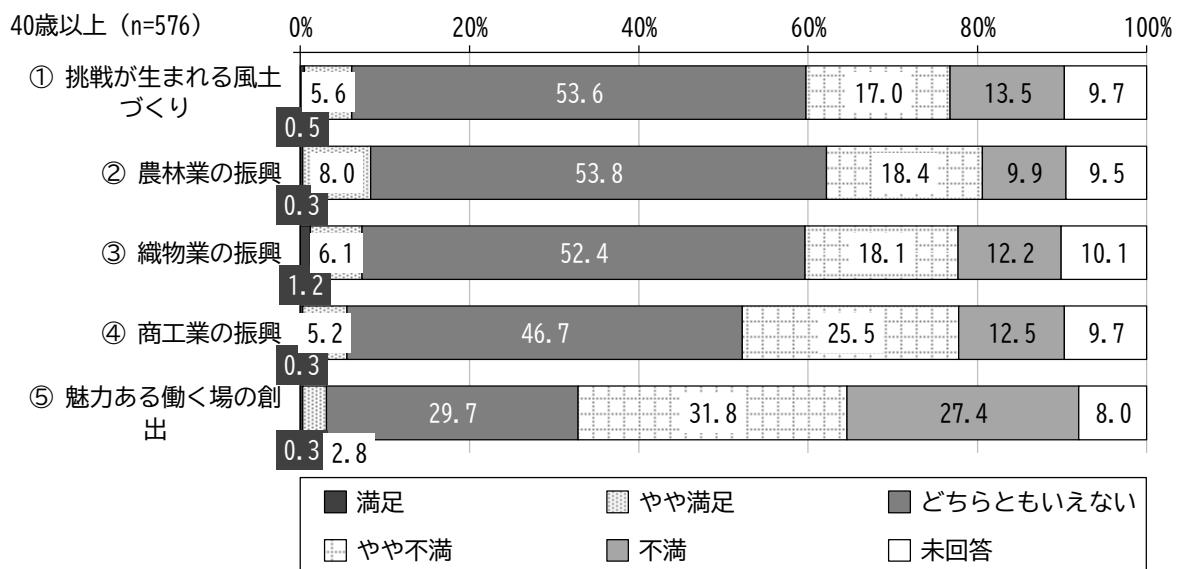


## 【40歳以上】

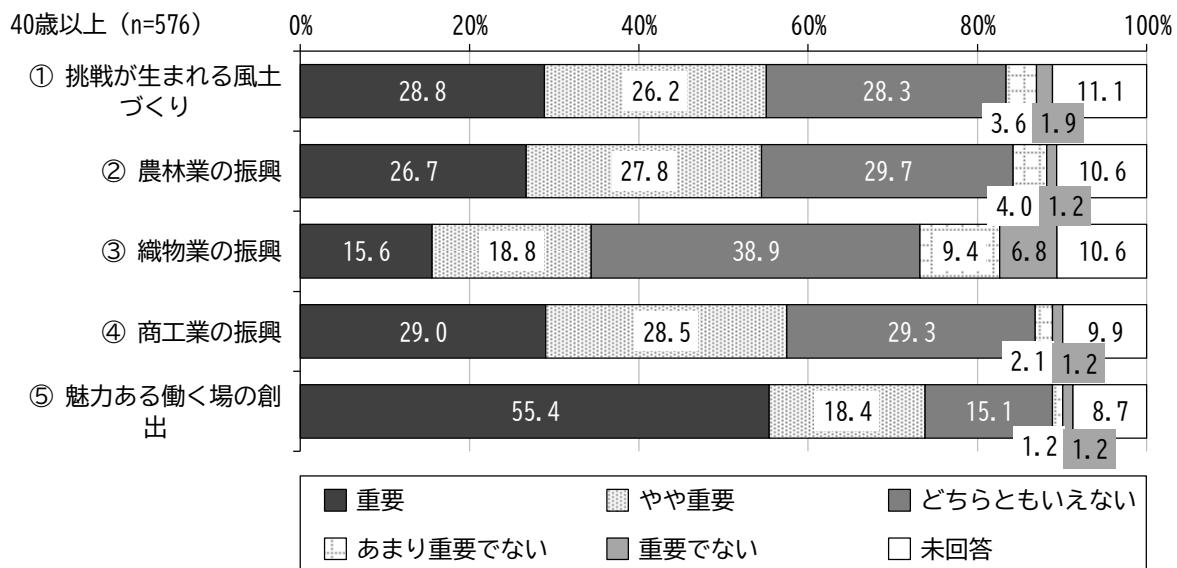
### ■産業・仕事

(一人ひとりが個性を活かして安心して働くまち)

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度

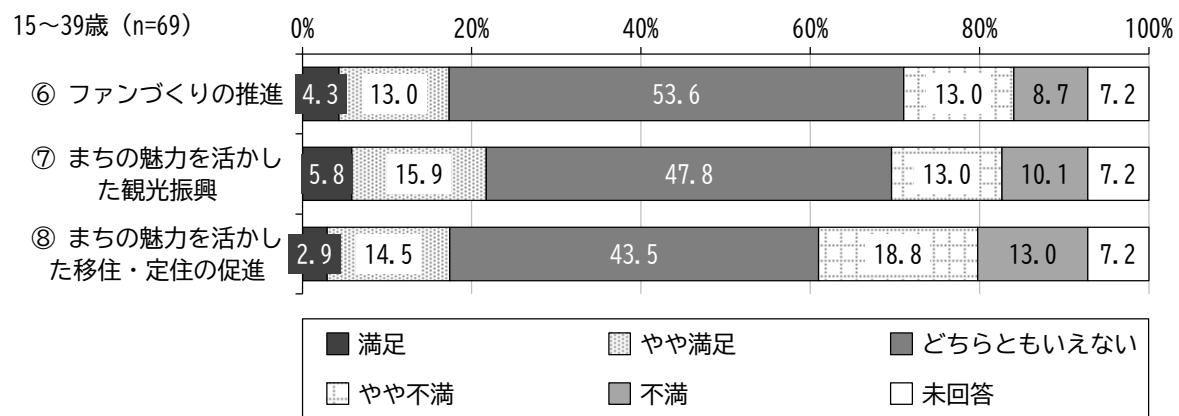


【15～39歳】

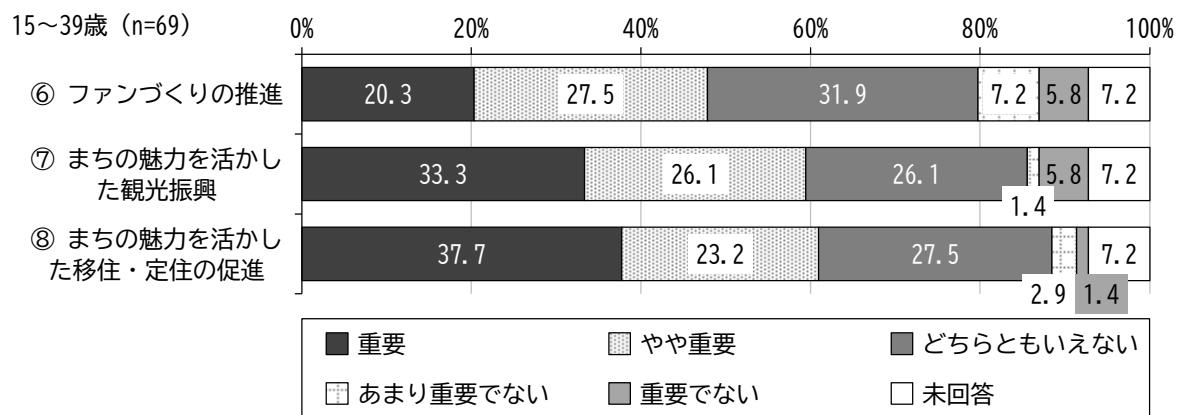
■観光・交流・移住定住

(地元を誇りに想い人の流れを生むまち)

(1) 満足度



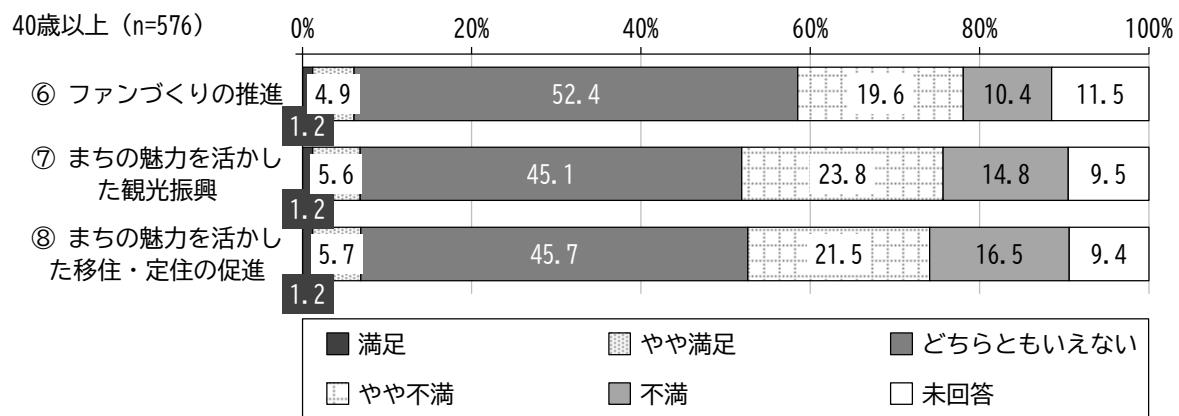
(2) 重要度



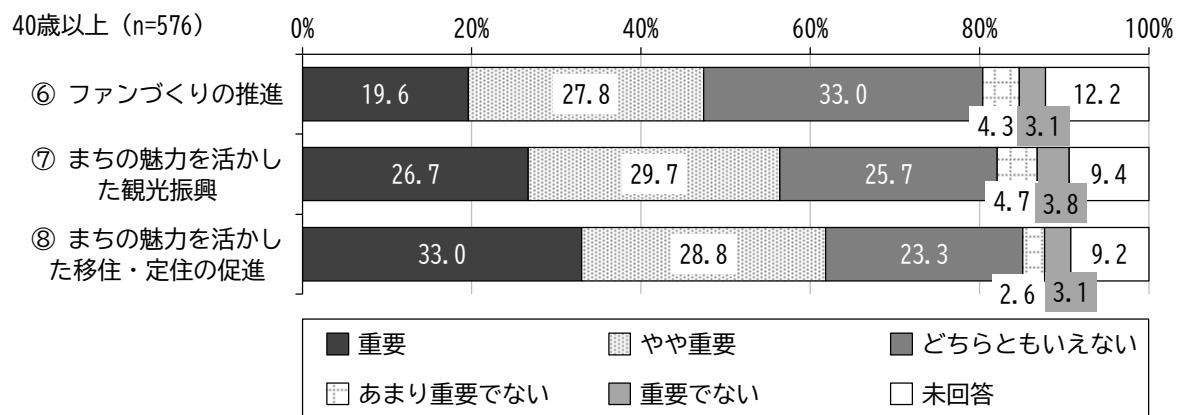
## 【40歳以上】

### ■観光・交流・移住定住 (地元を誇りに想い人の流れを生むまち)

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度

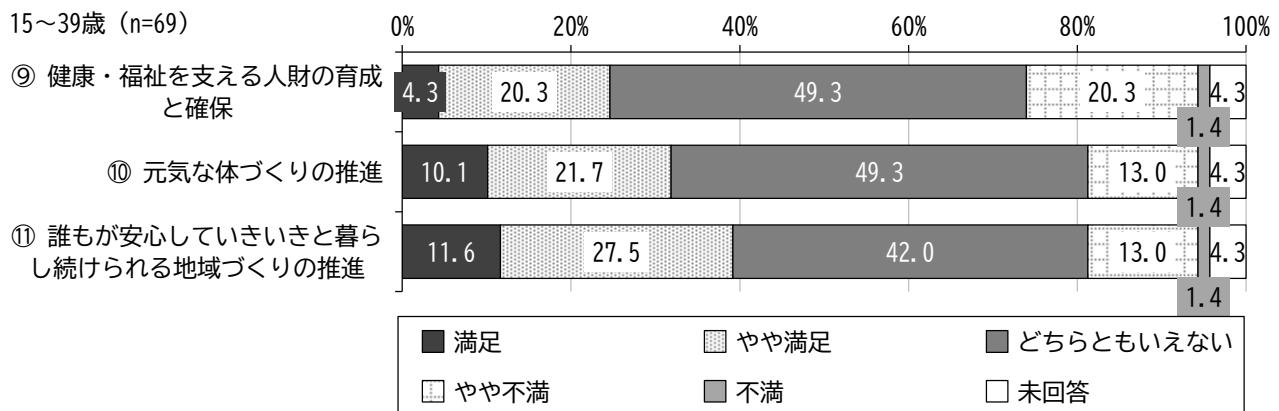


【15～39歳】

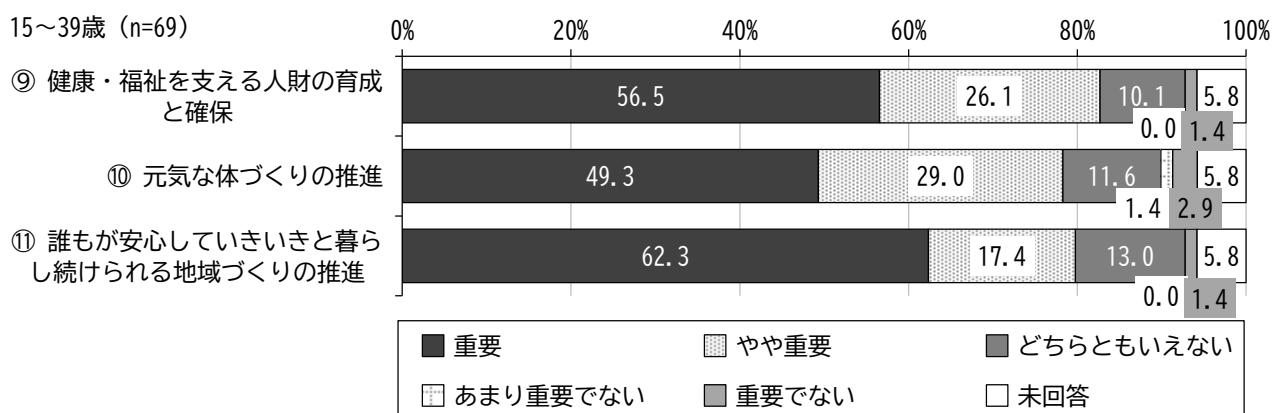
■健康・福祉

(みんなが自分らしく幸せに生きるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

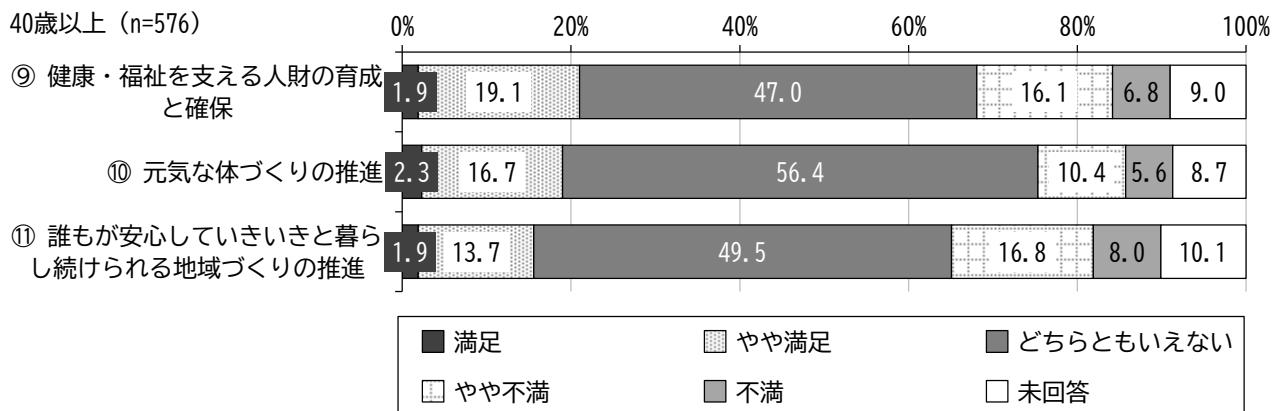


【40歳以上】

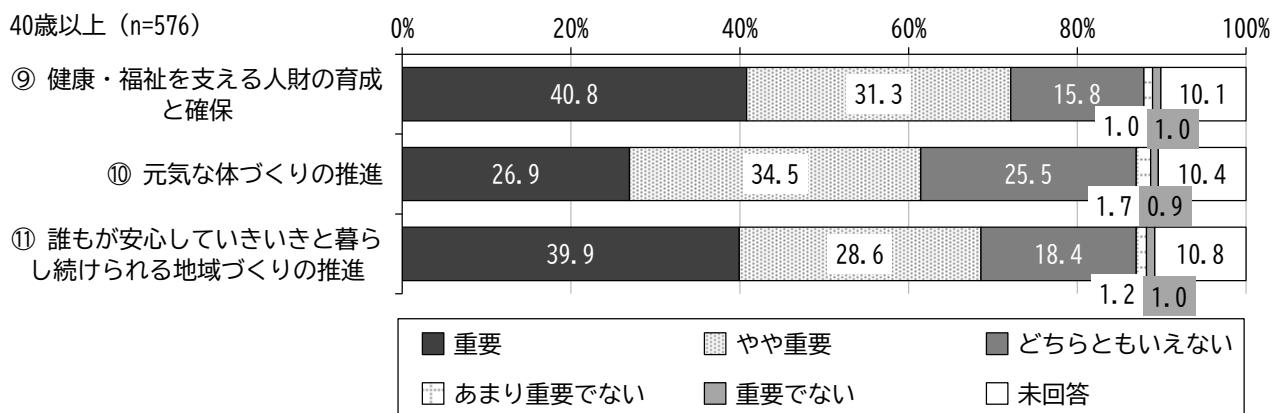
■健康・福祉

(みんなが自分らしく幸せに生きるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

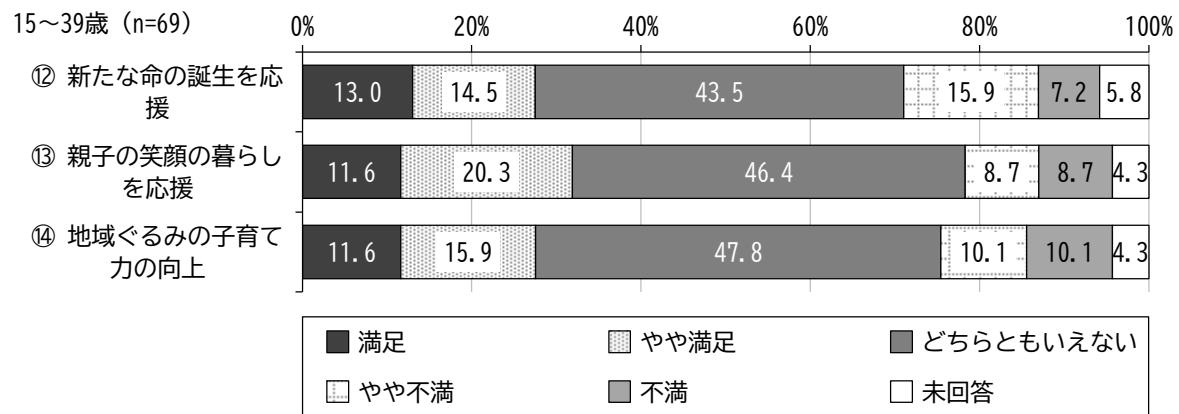


【15～39歳】

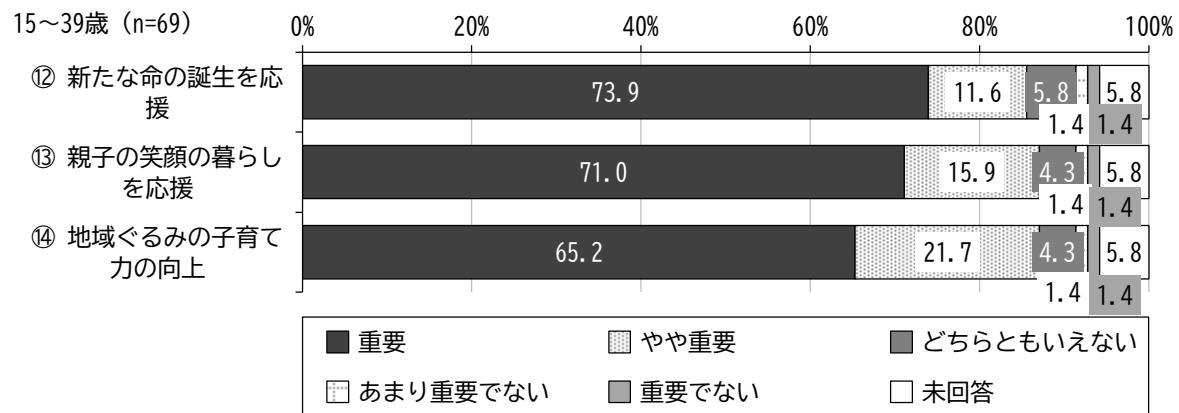
■子ども・子育て

(つながりで笑顔を未来につむぐまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

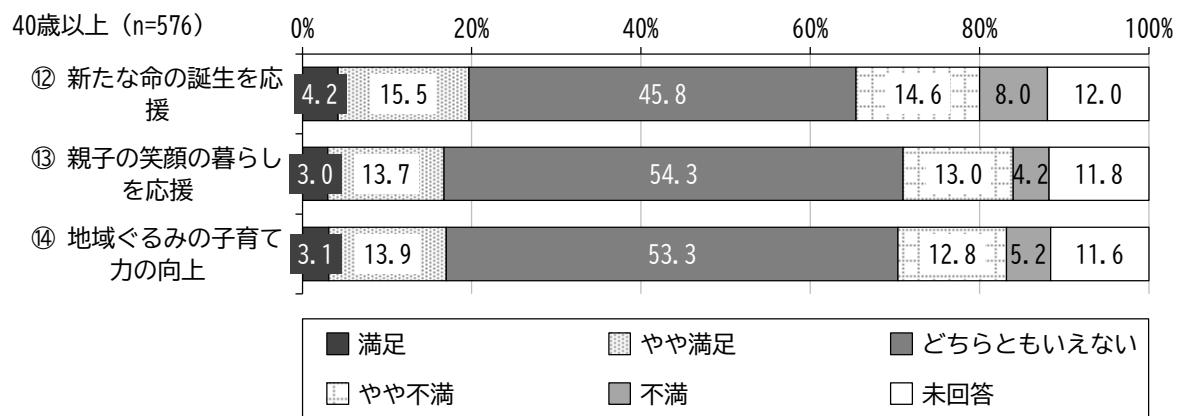


【40歳以上】

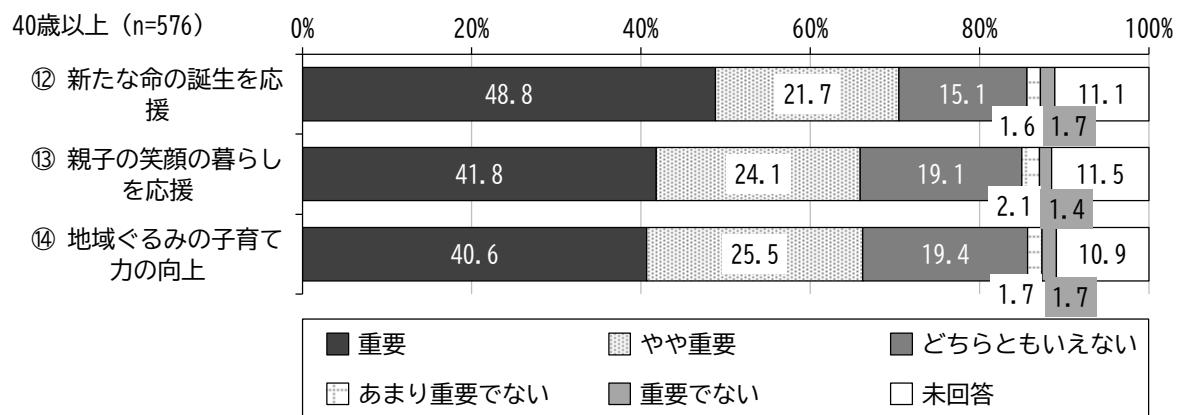
■子ども・子育て

(つながりで笑顔を未来につむぐまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

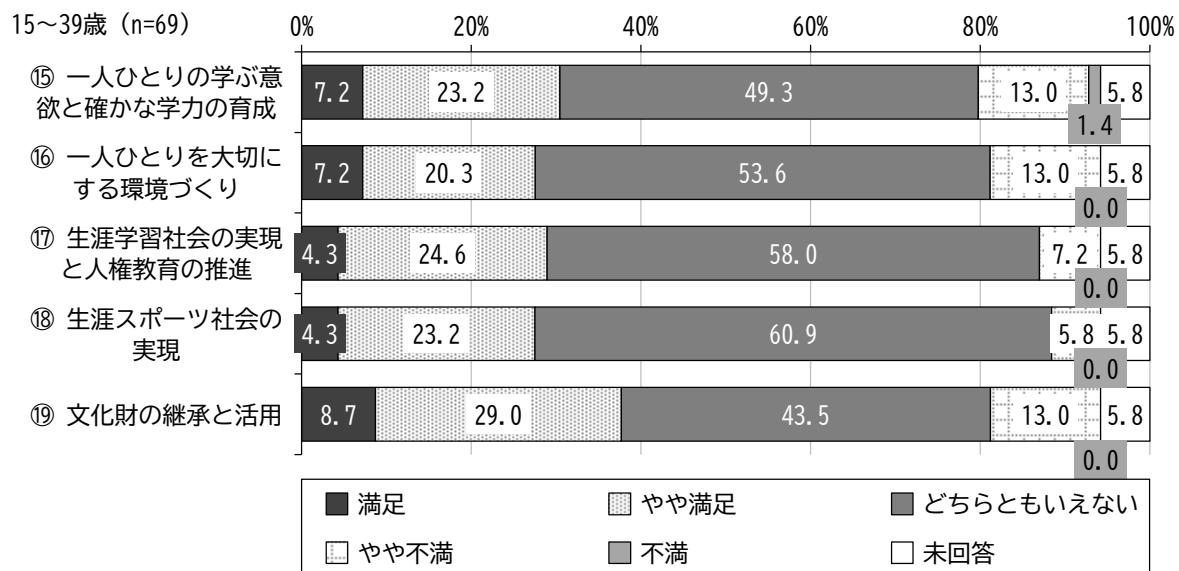


【15～39歳】

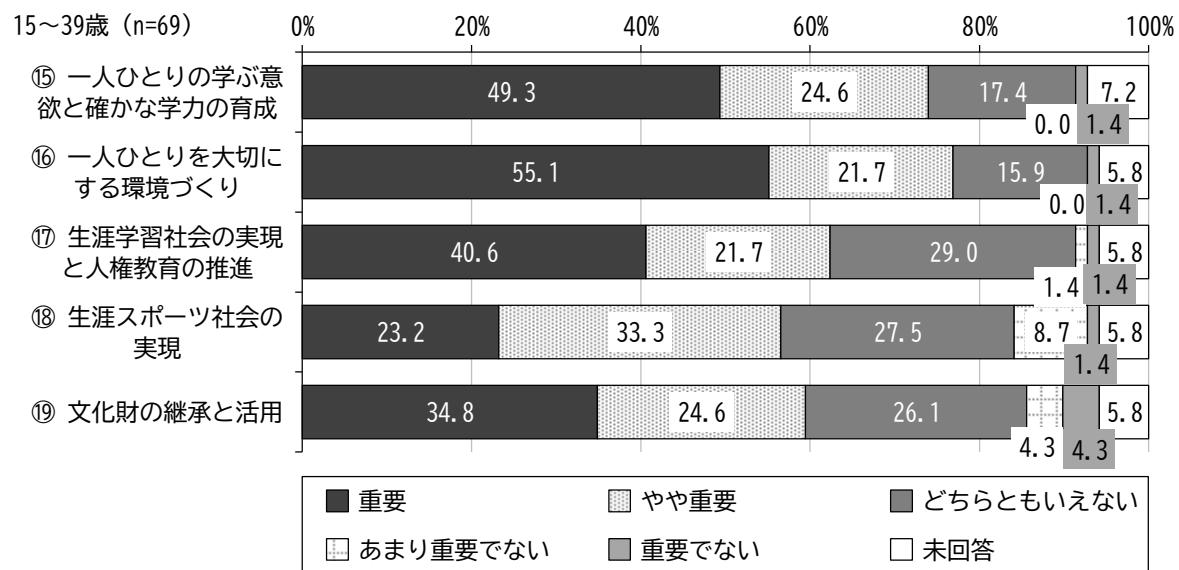
■教育・スポーツ・文化

(魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

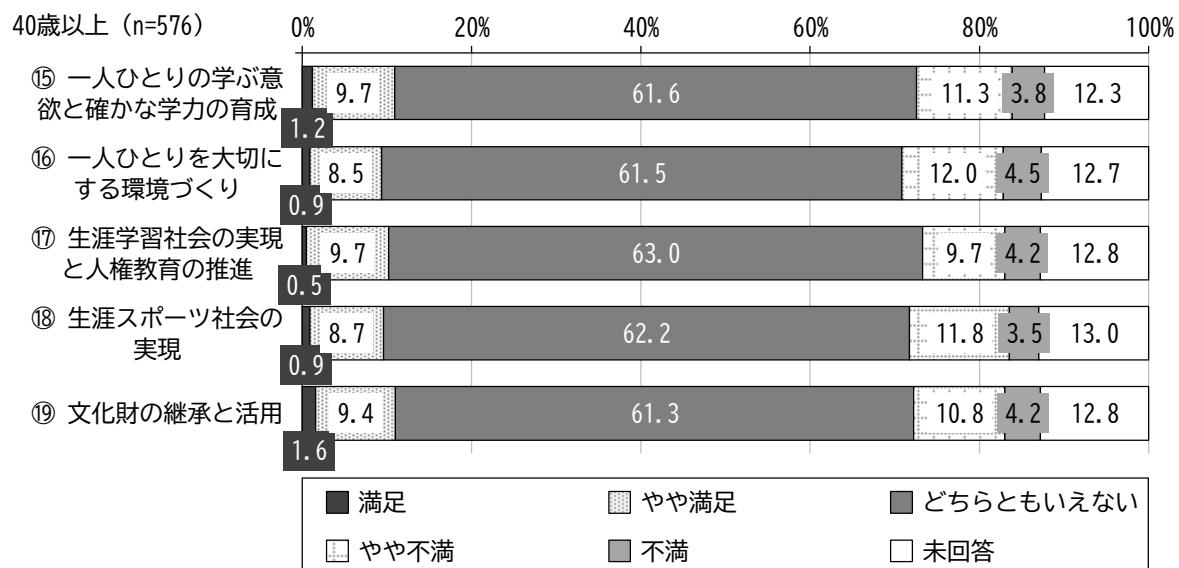


## 【40歳以上】

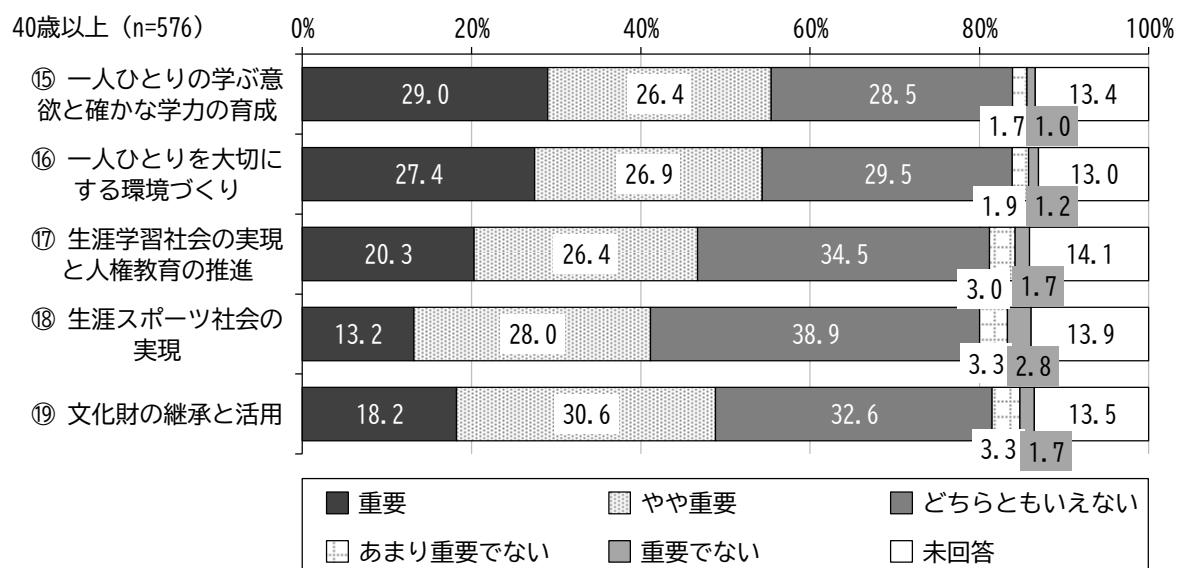
### ■教育・スポーツ・文化

(魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち)

#### (1) 満足度



#### (2) 重要度

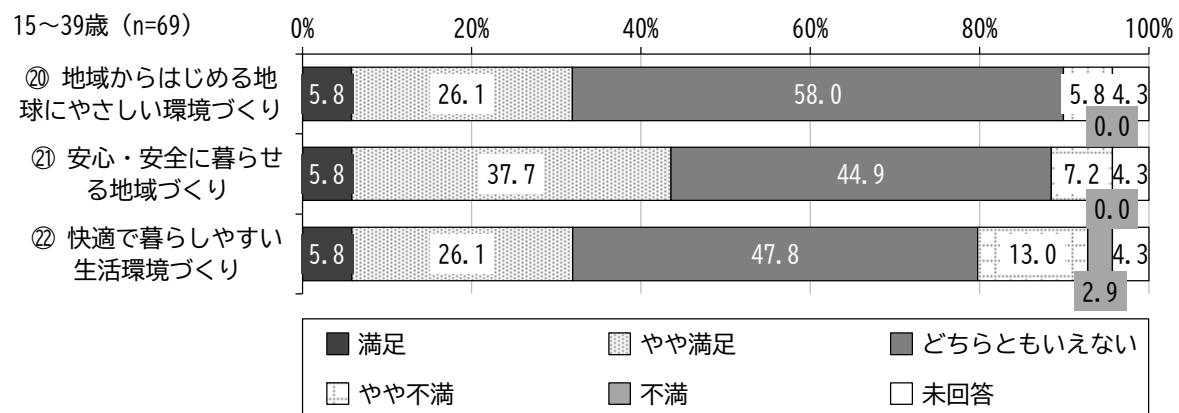


【15～39歳】

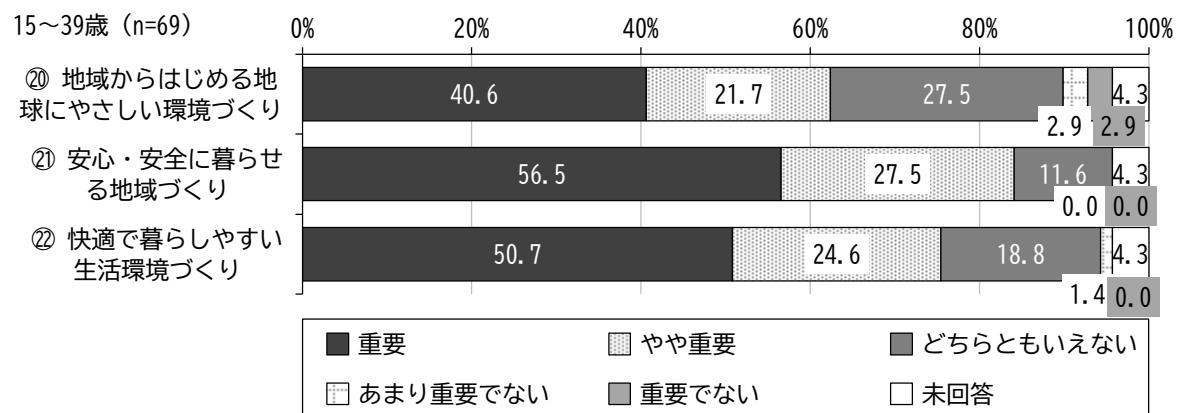
■環境・暮らし

(美しくて住みやすい安心安全なまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

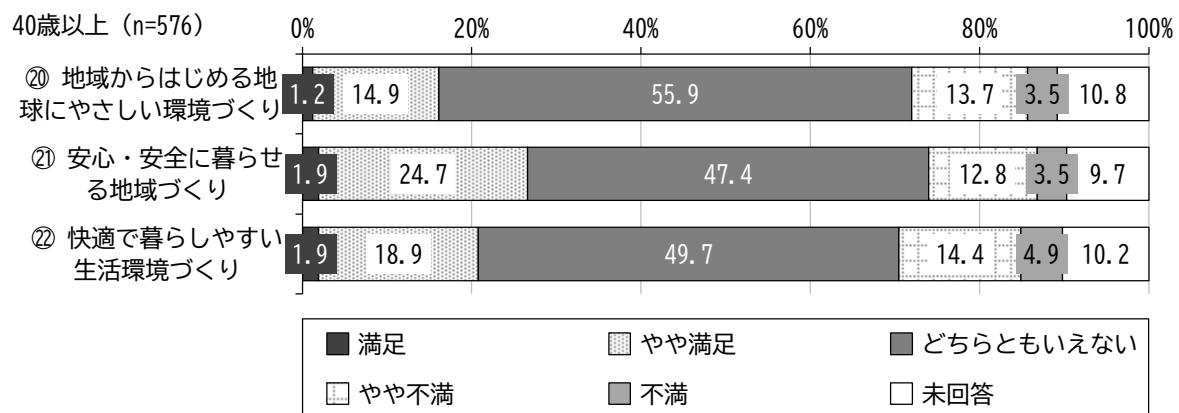


【40歳以上】

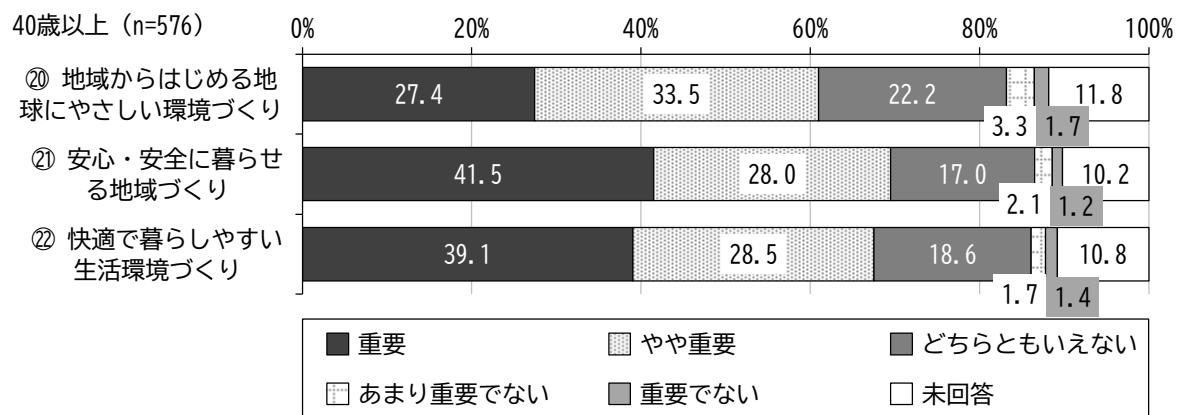
■環境・暮らし

(美しくて住みやすい安心安全なまち)

(1) 満足度



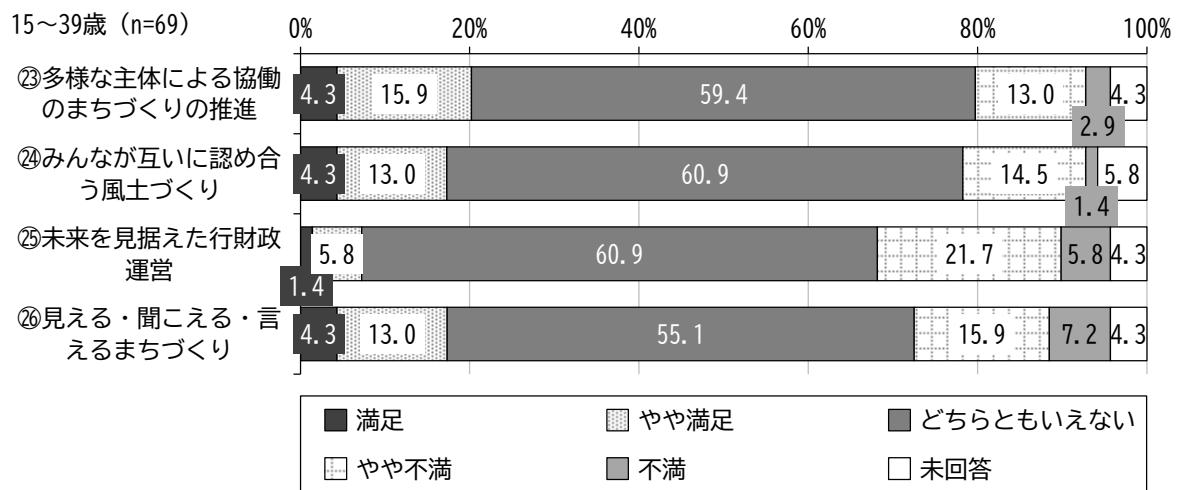
(2) 重要度



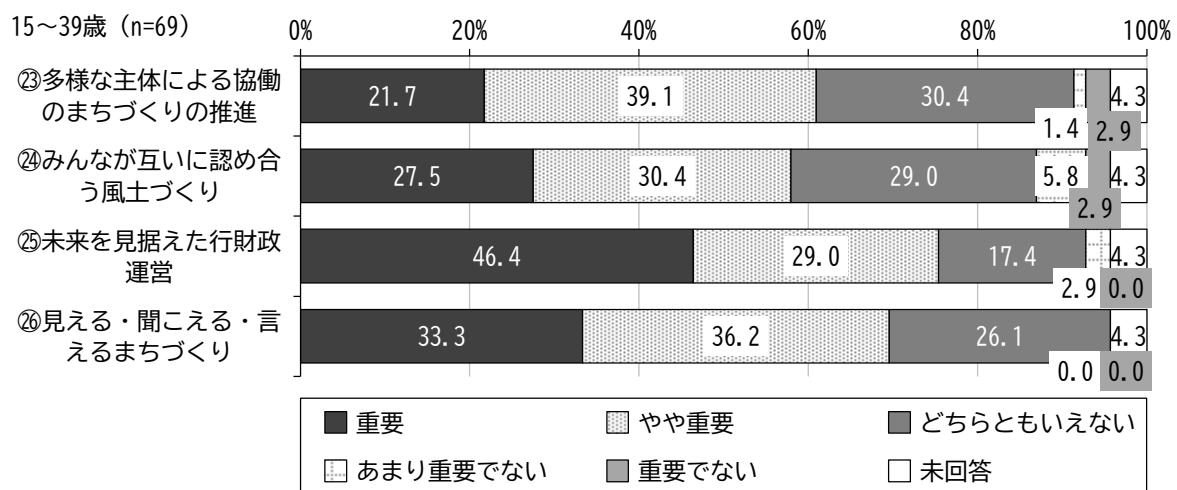
【15～39歳】

■地域協働・行財政運営  
(住民が主人公となるまち)

(1) 満足度



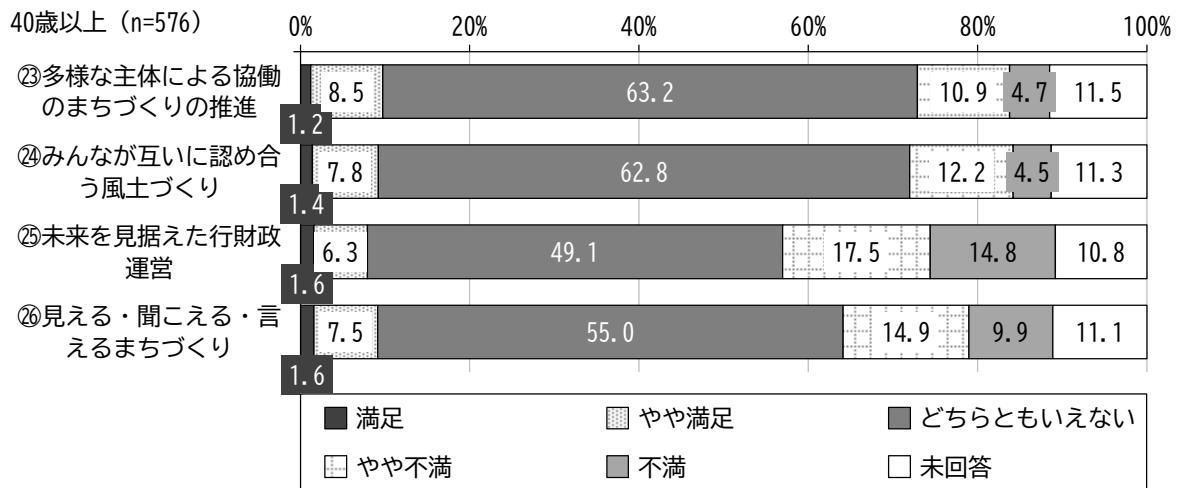
(2) 重要度



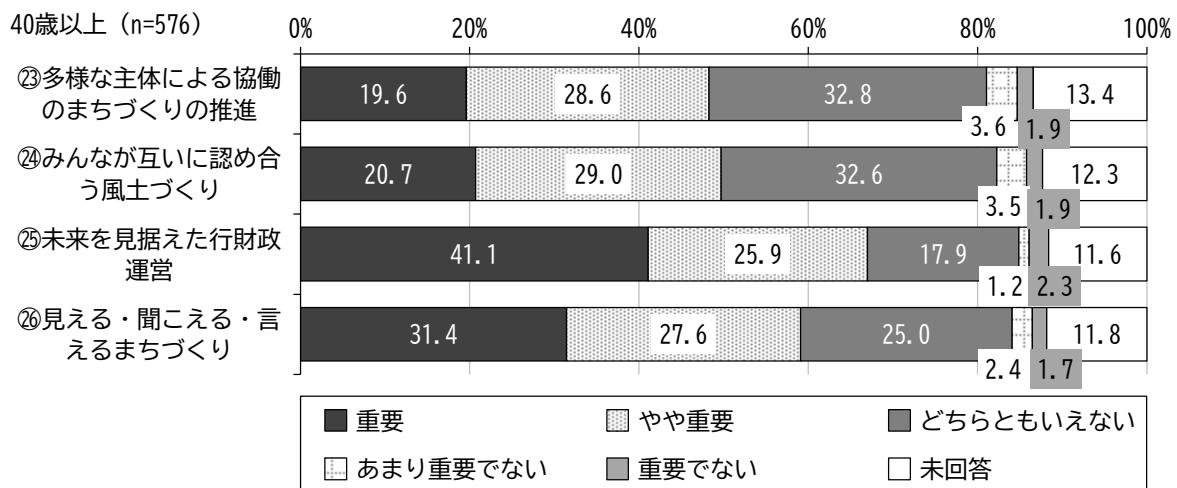
【40歳以上】

■地域協働・行財政運営  
(住民が主人公となるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度



【15～39歳】

■各施策の加重平均

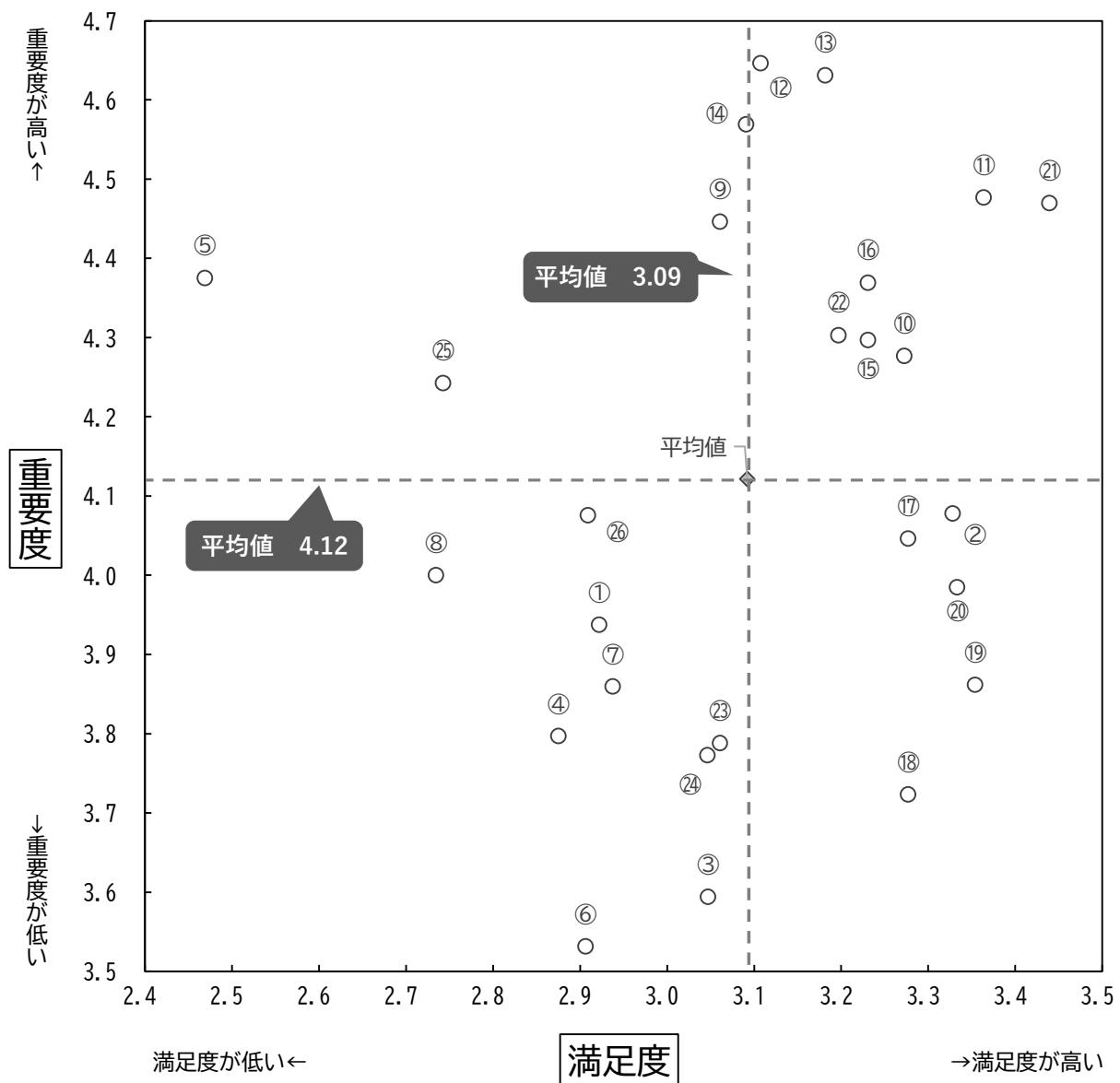
分野	基本施策	満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
産業・仕事	① 挑戦が生まれる風土づくり	2.92	20	3.94	18
	② 農林業の振興	3.33	4	4.08	13
	③ 織物業の振興	3.05	17	3.59	25
	④ 商工業の振興	2.88	23	3.80	21
	⑤ 魅力ある働く場の創出	2.47	26	4.38	7
観光・ 交流・ 移住定住	⑥ ファンづくりの推進	2.91	21	3.53	26
	⑦ まちの魅力を活かした観光振興	2.94	19	3.86	19
	⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進	2.73	25	4.00	16
健康・福祉	⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保	3.06	15	4.45	6
	⑩ 元気な体づくりの推進	3.27	8	4.28	11
	⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる 地域づくりの推進	3.36	2	4.48	4
子ども・ 子育て	⑫ 新たな命の誕生を応援	3.11	13	4.65	1
	⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援	3.18	12	4.63	2
	⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上	3.09	14	4.57	3
教育・ スポーツ・ 文化	⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	3.23	9	4.30	9
	⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり	3.23	9	4.37	8
	⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進	3.28	6	4.05	15
	⑱ 生涯スポーツ社会の実現	3.28	6	3.72	24
	⑲ 文化財の継承と活用	3.35	3	3.86	19
環境・ 暮らし	⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	3.33	4	3.98	17
	㉑ 安心・安全に暮らせる地域づくり	3.44	1	4.47	5
	㉒ 快適で暮らしやすい生活環境づくり	3.20	11	4.30	9
地域協働・ 行財政運営	㉓ 多様な主体による協働のまちづくりの推進	3.06	15	3.79	22
	㉔ みんなが互いに認め合う風土づくり	3.05	17	3.77	23
	㉕ 未来を見据えた行財政運営	2.74	24	4.24	12
	㉖ 見える・聞こえる・言えるまちづくり	2.91	21	4.08	13

【15～39歳】

### ■満足度と重要度の関係

満足度が高く、重要度も高い施策では、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑫ 安心・安全に暮らせる地域づくり〕などの項目が上位にあがっています。

一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕〔㉕ 未来を見据えた行財政運営〕〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕などがあがっています。



【40歳以上】

■各施策の加重平均

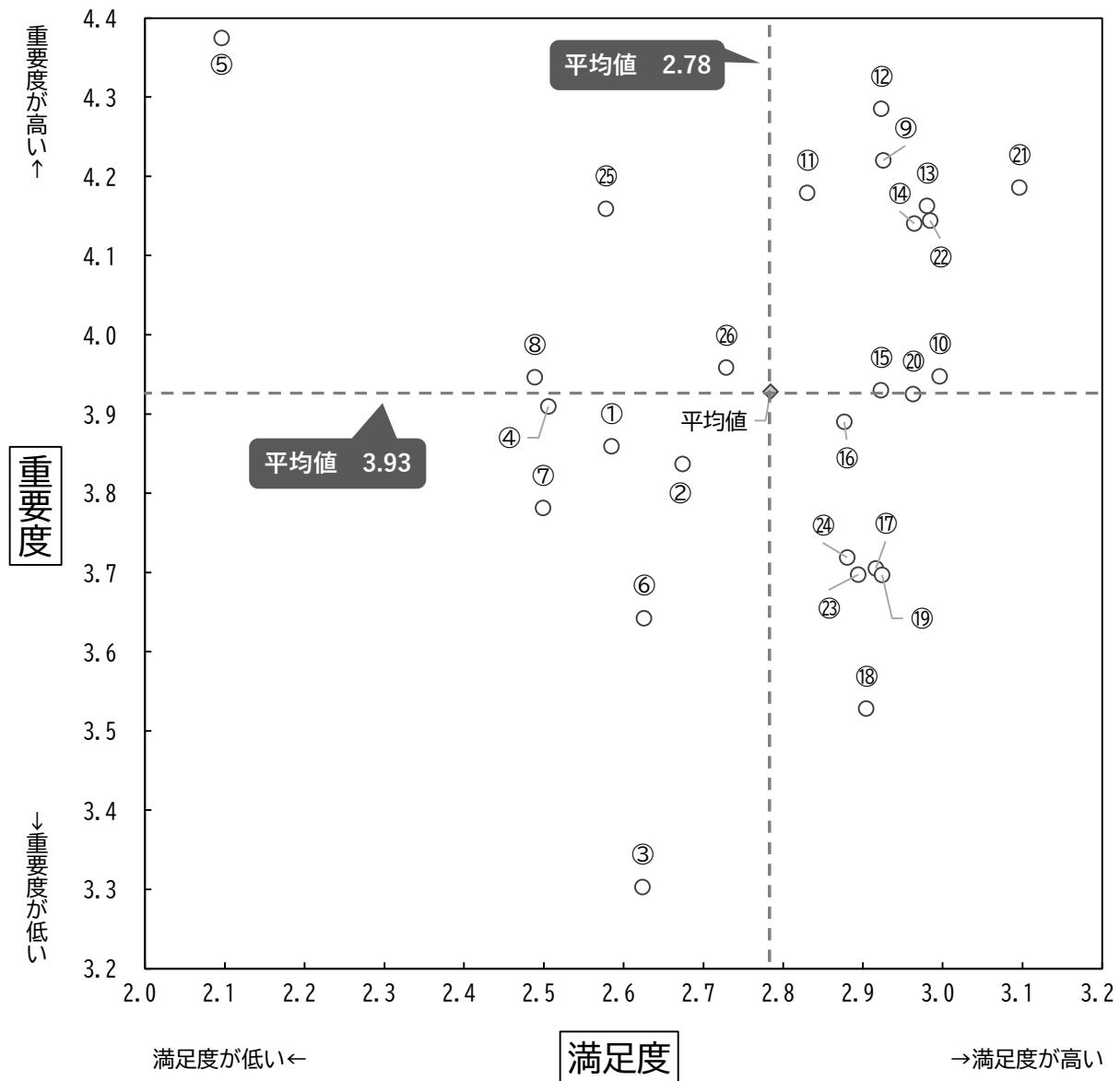
分野	基本施策	満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
産業・仕事	① 挑戦が生まれる風土づくり	2.58	21	3.86	17
	② 農林業の振興	2.67	18	3.84	18
	③ 織物業の振興	2.62	20	3.30	26
	④ 商工業の振興	2.51	23	3.91	15
	⑤ 魅力ある働く場の創出	2.10	26	4.37	1
観光・ 交流・ 移住定住	⑥ ファンづくりの推進	2.63	19	3.64	24
	⑦ まちの魅力を活かした観光振興	2.50	24	3.78	19
	⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進	2.49	25	3.95	11
健康・福祉	⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保	2.93	7	4.22	3
	⑩ 元気な体づくりの推進	3.00	2	3.95	11
	⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる 地域づくりの推進	2.83	16	4.18	5
子ども・ 子育て	⑫ 新たな命の誕生を応援	2.92	8	4.29	2
	⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援	2.98	3	4.16	6
	⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上	2.96	5	4.14	8
教育・ スポーツ・ 文化	⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	2.92	8	3.93	13
	⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり	2.88	14	3.89	16
	⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進	2.92	8	3.71	21
	⑱ 生涯スポーツ社会の実現	2.90	12	3.53	25
	⑲ 文化財の継承と活用	2.92	8	3.70	22
環境・ 暮らし	⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	2.96	5	3.93	13
	㉑ 安心・安全に暮らせる地域づくり	3.10	1	4.19	4
	㉒ 快適で暮らしやすい生活環境づくり	2.98	3	4.14	8
地域協働・ 行財政運営	㉓ 多様な主体による協働のまちづくりの推進	2.89	13	3.70	22
	㉔ みんなが互いに認め合う風土づくり	2.88	14	3.72	20
	㉕ 未来を見据えた行財政運営	2.58	21	4.16	6
	㉖ 見える・聞こえる・言えるまちづくり	2.73	17	3.96	10

## 【40歳以上】

### ■満足度と重要度の関係

満足度が高く、重要度も高い施策では、【⑫ 新たな命の誕生を応援】【⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援】【⑩ 安心・安全に暮らせる地域づくり】などの項目が上位にあがっています。

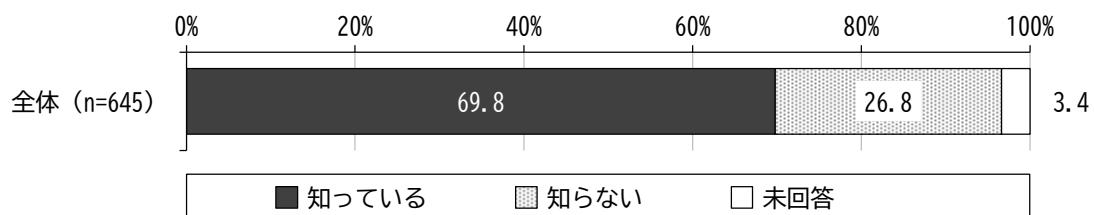
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、【⑤ 魅力ある働く場の創出】【⑮ 未来を見据えた行財政運営】【⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進】があがっています。



## 7 与謝野町のデジタル化等の取り組みについて

問20 マイナンバーカードを利用して、コンビニ等で住民票の写しや印鑑登録証明書が発行できること（コンビニ交付サービス）を知っていますか。（○は1つ）

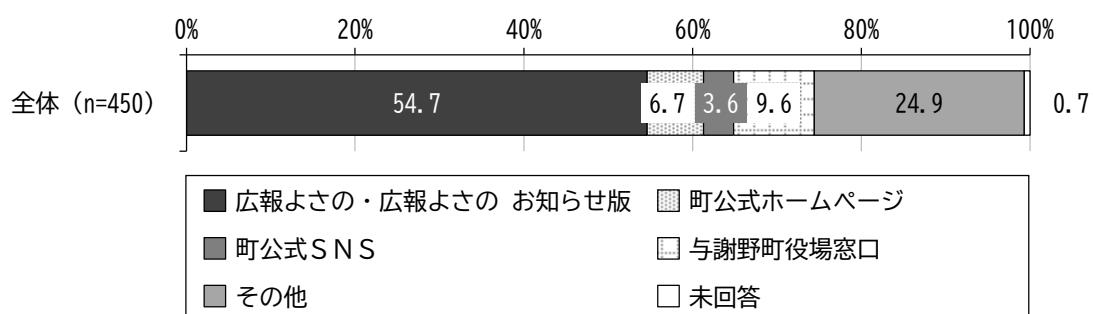
「知っている」が69.8%、「知らない」が26.8%となっています。



問20で「知っている」と回答された方

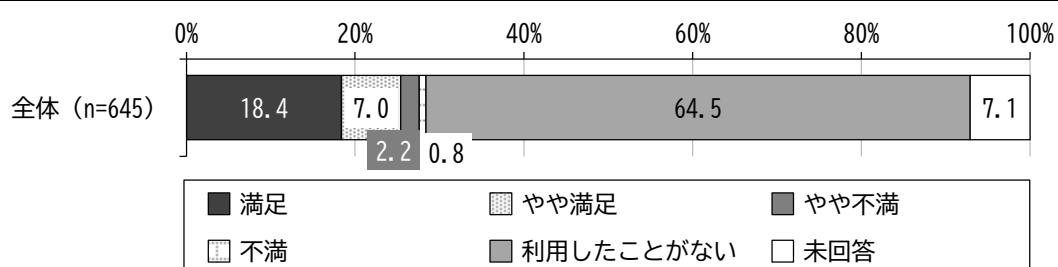
問21 サービスをどのようにして知りましたか。（○は1つ）

「広報よさの・広報よさの お知らせ版」が54.7%と最も多く、次いで「与謝野町役場窓口」が9.6%、「町公式ホームページ」が6.7%となっています。



問22 コンビニ交付サービスの満足度を教えてください。（○は1つ）

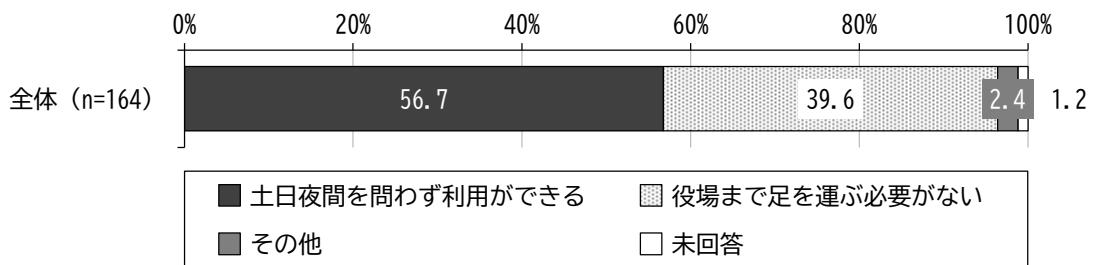
「利用したことがない」が64.5%と最も多く、次いで「満足」が18.4%、「やや満足」が7.0%となっています。



問22で「満足」「やや満足」と回答された方

問23 その理由は何ですか。(○は1つ)

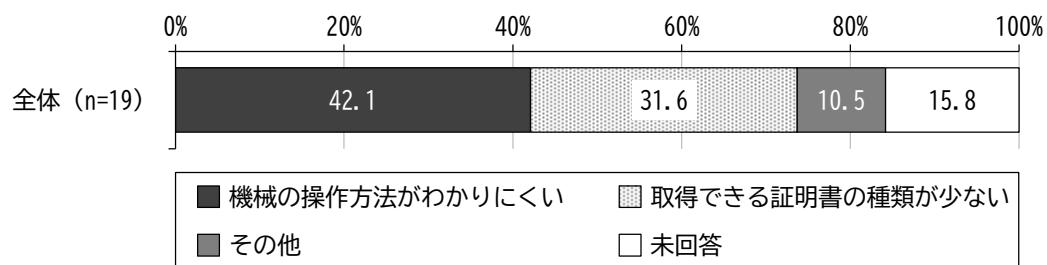
「土日夜間を問わず利用ができる」が56.7%と最も多く、次いで「役場まで足を運ぶ必要がない」が39.6%となっています。



問22で「やや不満」「不満」と回答された方

問24 その理由は何ですか。(○は1つ)

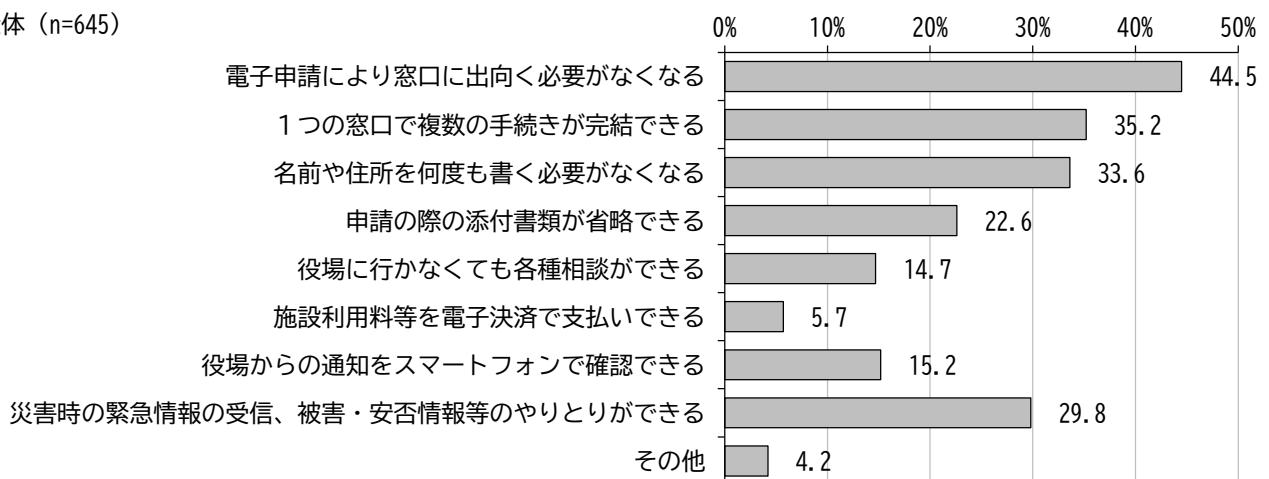
「機械の操作方法がわかりにくい」が42.1%と最も多く、次いで「取得できる証明書の種類が少ない」が31.6%となっています。



問25 行政サービスのデジタル化に期待することを教えてください。(○は3つまで)

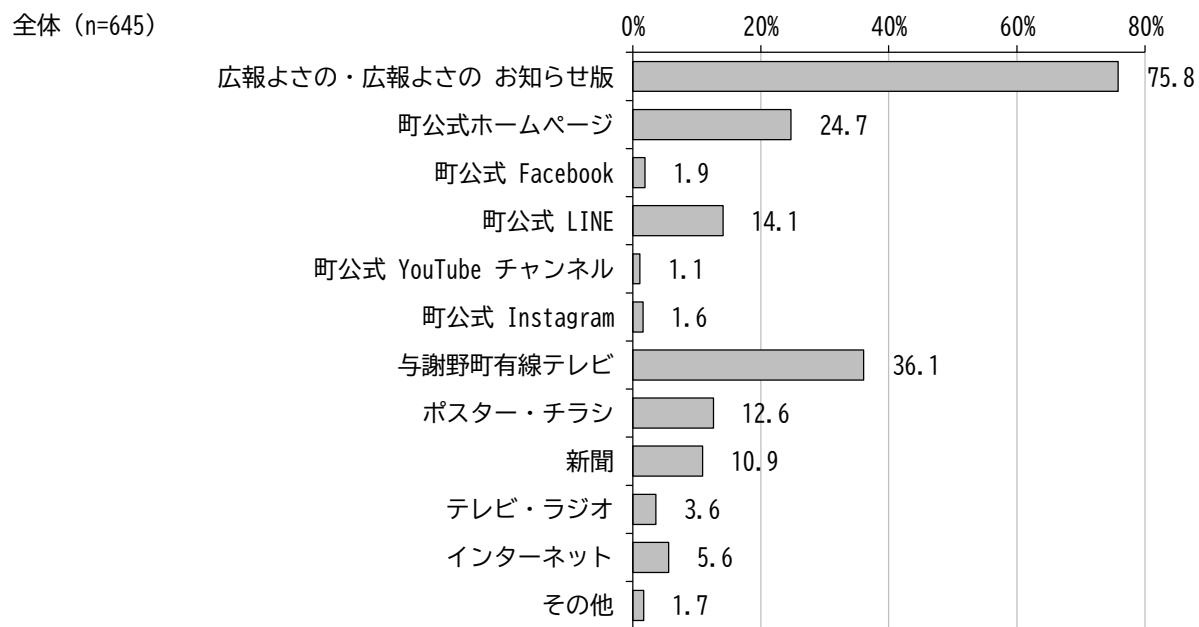
「電子申請により窓口に出向く必要がなくなる」が44.5%と最も多く、次いで「1つの窓口で複数の手続きが完結できる」が35.2%、「名前や住所を何度も書く必要がなくなる」が33.6%となっています。

全体 (n=645)



問26 与謝野町の行政情報を入手する手段として、どのような方法を利用していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

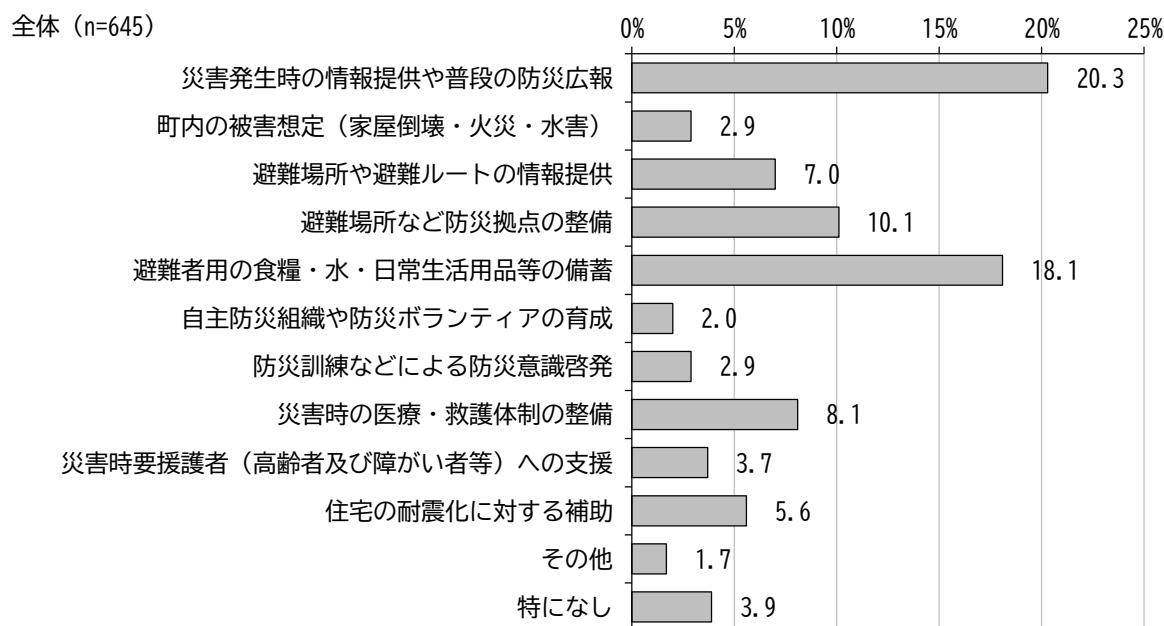
「広報よさの・広報よさの お知らせ版」が 75.8%と最も多く、次いで「与謝野町有線テレビ」が 36.1%、「町公式ホームページ」が 24.7%となっています。



## 8 与謝野町の災害対策の取り組みについて

### 問27 災害対策として、行政にどのようなことを期待していますか。(○は1つ)

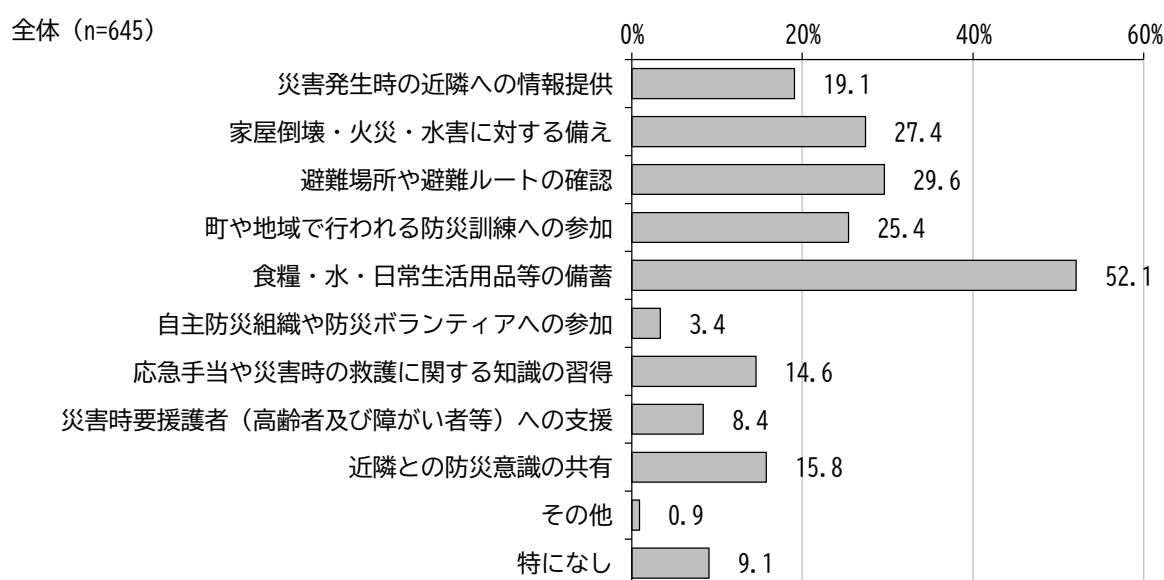
「災害発生時の情報提供や普段の防災広報」が20.3%と最も多く、次いで「避難者用の食糧・水・日常生活用品等の備蓄」が18.1%、「避難場所など防災拠点の整備」が10.1%となっています。



### 問28 災害対策として現在取り組んでいること、または今後取り組みたいことは何ですか。

(○は3つまで)

「食糧・水・日常生活用品等の備蓄」が52.1%と最も多く、次いで「避難場所や避難ルートの確認」が29.6%、「家屋倒壊・火災・水害に対する備え」が27.4%となっています。



## 9 自由記述

問29 与謝野町のまちづくりについてご意見がありましたらお書きください。

自由記述の内容をテーマ別に分類し、件数を整理した結果は以下のとおりとなりました。

なお、意見については原則原文を掲載していますが、個人名や団体名を特定できるものは修正又は割愛しています。

テーマ別意見	件数
行政・財政・議員改革に関する意見	31
子育て・教育・若者支援に関する意見	27
経済・雇用・企業誘致に関する意見	24
高齢者・福祉・交通インフラに関する意見	23
空き家・環境整備・景観に関する意見	22
施設運営・有効活用に関する意見	16
行政サービス・業務改善に関する意見	15
観光・地域活性化・魅力創出に関する意見	14
生活インフラ（買い物/娯楽/飲食）に関する意見	12
社会・文化・コミュニティに関する意見	11
産業・地場産業（織物・農業・林業）に関する意見	7
防災・安全に関する意見	6
その他	10
合計	221

行政・財政・議員改革に関する意見
一生懸命働いて取られてゆく税金を無駄なことに使わないでほしい
町議に年齢制限を設ける
町会議員を3名減
小中学校の統廃合を、現場の先生、子ども、地域に知らせずどんどん決めていることはけしからん。
財政が破綻しているのに財政見通しがないと聞く。
全体の税収を増やす町政を、考えてください。
行政の1人の勝手な思いつきまちづくりに多額なハコモノに予算を費やし、住民からのささやか希望には予算が付かないと無視。住民を見ずにどこを見て行政運営しているのだろうか？。
どこかの大学の先生にお金を払って絵に描いた餅で満足している。
1人の思いつきでなく、みんなのアイデアで10年、20年先にも与謝野町が今よりも豊かで生き生きとした将来を造ってください。
とりわけ現役世代が豊かにならないと経済成長も財政健全化も期待できません。
職員の皆様におかれましては日々の業務大変ごくろうさまです。心身にお気を付けいただきながら、今後も町政に対するご尽力をお願いいたします。

与謝野町のまちづくりに期待はしますが、今の現状を伺っても何を主として実践・取り組みをされているか見えない。住民とのコミュニケーションが必要なのかと思う。代表の方は幾人もいるが、その方々が提案する確かなまちづくりがあるのだろうか。聞こえてくるのは「～が町長を非常識な言動で批判」したなど、あまりにも程度が低すぎる。まちづくりのことなど考えていないと思える。もっと賢い議員を望む。長く議員をしていると職員よりオゴリが出てくるのでは。町民としてはずかしい。
与謝野町になってから細かなことが行き届いていない。
もっとゆとりのある町にしてほしい！（財政）ワースト 2位からの脱出を！
極一部の職員としたいが、各部署の職員の対応に問題があり過ぎる。職務の怠慢と思える行動や対応、言葉使い。通常一般の会社等では到底考えられないような事を平気で行っている事を目にする。町民にこのようなアンケートを実施するよりも、まず足元を見直されるべきでは無いでしょうか？
年功序列の廃止が不可欠だと思います。
そのような人が役場という公職の場に勤められる不思議。
町職員だったら聞いてもらえるのか”など信頼もされない行政機関になりつつあります。
このような人事を誰が行っているのか最近の役場全体のモラルの低下を強く感じます。年功序列の弊害でしょう。
このような人の指導ができないですか。町長は自分個人の事だったらマスコミに大きく何拾回も出すが町民にはどうでもよい事でこの町の衰退ぶりが加速していると思う。
町議員の削減。本当に必要なのか？と思う議員もいる。もっと人数より質では？
町会議員は町民が恥ずかしい思いをしない言動をすることがまちづくりにつながると思いますが…
チャレンジ精神をふみつぶす町議会の在り方を変えてほしい。若返りが必要。報酬の見直しをふくめた根本的制度改革をしてほしい
税金の無駄づかい。
人口が少ないので議員の人数が多すぎると覆う。
自己中心、我欲のため道義を理解できていない議員がいます。議員による職員や町民に対するハラスメント防止条例は絶対必要です。
行政サービス向上と維持、効率化のため、組織及び人材交流も含む広域化を期待します
議会だよりを読んでも議員の質問もパッとしない。はたしてこんな議員達で良いのか。まったく変わりばえしない年寄りが多々すぎる。年齢制限を設けるべきか？
議員の質向上の為、基本的な勉強会の開催（議員さんの勉強会）と議員定数を減らして下さい。特に人権について。
2、町の財政については、きちんと町民に対して説明が必要
町会議員に多様な人が立候補参加していく様子に、夜間議会、休日議会なども取り入れ、現在よりも議員数を減らしその分を今の給料に上乗せして兼業できるような条件をつくっていくことも必要ではないだろうか。

子育て・教育・若者支援に関する意見	
未来を担う子供たちに与謝野町に愛着心と誇りを持ってもらう取り組みに重点をおいて欲しい。	
学校も統廃合したら国から学校建築費分、教師分の補助金が下りてこなくなり、結局この地域全体からしたらマイナスなのではないか。	
病院、学校に勤務する人が、若者であること、その人たちが定住したくなる子どもの教育、医療の充実、ここで歳をとりたくなる安心の介護	
小学校校舎の整備、スクールバスの運用など教育環境に地域格差がある。	
子供の教育環境の悪い地域に若者は住まない。	
安心して子育てできる街	
若い子が都会に出ても、戻って来たいと思える町にして欲しい。働く場所、若い子のチャレンジの支援など。未来の子供のための施策をお願いします。	
不登校に対する対策をお願いします	
今の子どもたちが、またここで暮らしたいと思える街にしてほしい。	
是非、与謝野町に帰り仕事がしてみたい、子育てがしてみたいと思えるようなまちにならないだろうかと思っています。	
若者が定住できる（学校や仕事等）まちにしてほしい。	
若い人達が少なくなって、2人暮らし 1人暮らしの家が多くなった。若い人達が戻って来れる町になってほしい	
与謝野の未来を支える子どもを増やす施策をお願いします。	
やはり子育てがしやすい町づくりをお願いします。一度よさのを離れても戻って来たいと思えるよう家計負担は少ないので手厚い子育て支援が受けられると良いと思います。そうすれば元々よさのではない京丹後や宮津など近隣の子育て世帯にもよさのに引越したいと思ってもらえるのではないかでしょうか。	
若い世帯をよさのに呼び寄せるまちづくりをして頂かないと今いる若い世帯もよさのから離れてしまします。給食無償化、学童保育の値上げ廃止など子供達の為に出来ることからお願いしたいです	
町を出た若者は必ず苦労します。田舎者のレッテルをはられ、劣等感を持ちます。何か 1つでも自慢できるような人間育成にかかる施設、経験ができれば自分が育った町を誇りに思えると思います	
ほとんどの子供達が高校卒業時に町外に出ます、その子達の帰ってきやすい環境づくりが急務と思います。	
全国的な話とは思いますが若者の住みよい街、子育てしたくなる街にしていけたらと考えます。	
少子高齢化が進む中でまず人口の増加を期待したい。若者が与謝野町で家庭を持つ希望が持てること。	
少子化が進む中、学校行事、地域の行事などは昔のままで子供が 3人いるので役員の負担、行事の負担など感じます。女性は夜子どもを置いて外出するのは大変です。環境によると思いますが、まだ 7.8月も外での行事が多く、暑さがひどいので、もう少し考えて頂きたいです。毎回体調を崩します。フルタイムでの仕事と子育ての両立は思っていた以上に大変です。時間、金銭的に。	

子育てしている方が安心して仕事ができる環境を整えてほしい。宮津市や京丹後市は土曜日1日保育があったり、休日保育をしていたりするが、与謝野町は開始するのが遅すぎだと感じる。土曜日1日保育の要望も多くあったと思うが、様々な理由で延期に何年もなったが、共働きが多い家庭がほとんどだと思うので、子育てがしやすいかどうかで、子育て家庭が与謝野町に増えるのか減るのかが大きくなるので、もっと考えてほしい。

子育て支援課の障害者への知識の低さがあるとよく聞きます。子どもの同級生のお子さんで知的障害の友達がいましたが、皆と同じ時間、同じ様に検診を受けるのが大変と言っていました。一番にしてあげるとか別日に1人だけとか配慮が足りなさすぎです。検診が大変で・・・と子育て支援課の方にも言った事があるそうです。1人の親御さんに聞いたり相談されて話ではないです

子どもを連れて職場へ。そこは子ども預り場所があり（保育士や設備の問題もあると思うが）、制度的に難しいと思うが方法は見つかるはず。国へ働きかけてほしい。

#### 学校教育の充実

旧野田川地域の小学校の統合（1つにする）スピード感を持って取り組む。今の小学校は子どもの数が少なく、集団の教育が不可能である。運動会やクラブ活動・部活動などに支障が出ている。PTA活動が停滞している。同じ学年に教師がいればお互い相談できる（各学年→最低3クラスが必要である）。親も子どもも成長できると思う。

子どもの人数が年々減ってきています。子どもを育てやすい環境づくりも大切なのは。

将来、与謝野町に帰ってきて仕事につきたいと固い決意を持っていて、学びたいと考える若者に特化した奨学金制度をつくり、若者の定住に取り組んでいくことはできないだろうか。

### 経済・雇用・企業誘致に関する意見

#### 若者の働く場所がある街

仕事がなければ人口は増えない。全国的にみても町内人口の減少は避けられないが、京丹後市の米軍基地のような国の事業を与謝野町に誘致し助成金をもらわないと与謝野町の財政は悪化する一方なのは明白である。

合併 or 国の事業の誘致。これしかない。

今までにないような新しい事を初めて地域活動、地域振興を考えて頂きたい

若い人が戻ってきて生活出来る職場を作って頂きたい

何よりも産業発展だと思います。

若い人達の働く場所があまりないと私は

与謝野町への企業誘致。若い子達が働ける大きい企業を誘致すること。地場産業（織物・農業）は限界がある。このまま人が減っていき、与謝野町も財政収入も減る一方なので改革が必要なのでは。

与謝野町は財政が豊かではありません。企業誘致に力を入れたり、観光ももっと人の集まるところを作つてお金の入るまちにしてほしいです。

施設やショッピングモール、企業などの誘致を進めて欲しい。

働く場がないと子どもたちがなかなか帰ってこれません。企業誘致かベッドタウンとしての魅力が増えれば良いかと思います。

農業、商業の発展、職場の確保、人口増

産業のない場所に「現代人」は暮らせない。

財政立て直しが急務と考えます。企業誘致や新規事業促進など検討ください。また、他市のことですが、京丹後市では地域外からの方々を雇い（方法は詳細確認していませんが）、ふるさと納税での収入を高くしていますので、ご検討ください。

財政健全化。夕張のようにならないよう早く手を打ってください。

財政がないと言われない様にしてほしい

コストコかイオンモールを作つて下さい。お金をかけないと与謝野町の立て直しは無理です！！

企業誘致、財政健全化

若者が地元にいられるような魅力ある働く場所があると良い。

大手企業と連携出来る産業が必要かな？！

安定した税収が見込める企業誘致を積極的に行って欲しい

大企業をよぶのは無理ですけど、せめて中小企業をよんできてもらい、仕事のある町にして下さい。

今はパソコンで仕事が出来る時代です。企業誘致をお願いします

与謝野地域で若者が働く企業などが増えて住み続けて欲しい

企業誘致等、若者が働く場所を確保し、若者が住みやすい町づくりに一番注力すべきと考える

#### 高齢者・福祉・交通インフラに関する意見

与謝野町に住みはじめて少ししか経っていませんが、公共交通機関や娯楽の少なさ、どこへ行くにも車が必要なことなど、暮らしにくさがあります。

老後の心配をすることなく暮らせるまちづくりをしていただきたいです。よろしくお願ひします。

母親を自宅で介護しており、間もなく老老介護。

介護家族同士のつながりがほしいです。

昔はあったような、今は介護保険もありそのような悩みも解消される人もありかと思うけど、それは性格の問題でひとりで抱え込む人も多いと思います。

ここで歳をとりたくなる安心の介護

小学生以上の子育て世帯（教育環境、通学環境）や、免許返納した高齢者には快適な環境とは思えません。

私は福祉（特養）施設で働いていますが、マンパワーが不足しています。高齢者施設が充実しないと孤独化や皆働けなくなったり、虐待も生まれます。

免許返納後の交通手段が心配です。家にばかりはいられませんから！！

免許証返納後の高齢者と会話をすると通院、買出しに行くのも近くに住む子供の勤務に合わせなければいけないとの事を聞いたりします。頼む人もいない高齢者の事を考えて安心して生活出来る行政をお願いします

店が少なくなったので交通が不便です

孫が市場小学校まで歩いて行けるのか心配。大人でも岩屋から市場まで歩けないのにバスの検討してほしい

1人暮らしの老人のためのインフラを充実して欲しい。病院、スーパー、駅などへのアクセスがない。安価に利用出来ると良い

乗り物が利用出来ない高齢者の為にわかりやすい乗り物が必要になって（いる）と思います。大切な足です。町外の方々から、ほめていただくようなわが町の町民であるように支え合っていって下さい年をとるにつれて何も出来にくになりました。若い方にたのみたいです
年をとってからの楽しみができる場（文化施設）があればうれしいです。手芸やダンス、料理教室、パソコン教室などいろいろ挑戦できる機械があるとうれしいです。年をとってからでも働く場もあれば良いと思います。
近くのスーパーマーケットや銀行などが次々になくなり、どんどん不便になった。せめてバスで行けるようにバスで行けるようにでもなればうれしい
障害者手帳を持っているので、障がい者でも活躍できる場所（仕事など）や、自分の居場所があり、人との関わりをしっかり作れるような場所があれば、孤立せずのびのび生活できると思います。また、それらを相談でき話を聞いてくれるようなところがあればあります。なぜなら今、A型作業所で働いていますが人間関係の構築に悩み、孤立しているからです。
手話言語法に伴う与謝野町手話言語条例の早期策定を暮らし易いまちづくりのための総合計画に取り入れて下さい
重度の身体障害にとっては社会資源が少なく最後までこの町で暮らしたいと思っても住み続けることは難しい現状を理解していただきたい
地元が遠いのでなかなか親に頼る事も出来ず子育ては苦労した。夫と2人でなんとかがんばっていたが精神的に思いつめられて入院した事がある。このような女性が孤立しないようにアクセスしやすい環境が欲しい。必要な情報やサポートを自宅からメールなどで送れるアプリなどどうでしょうか。LINEを利用してもよいかもしれません。町外出身者にも優しい町づくりを望みます
高齢者が多くなっていく中で、免許返納は町の安全のために必要であると考えるが、それに対応できる便利な仕組みにはなっていない。私の母も免許返納の話をしても生活が不便になると感じてない。私たちも仕事をしているため、日常どこへでも連れて行くことはできない。町で免許返納を義務化し、代替としたサービスを提供してくれたら良いのにと期待している。
買い物難民が増えているように思う。車の免許返納者や高齢のお一人暮らしの方はどうにして買い物をされているのだろうといつもいつも思う。生協さんは個人宅配をして下さるが、高齢になると注文用紙に記入することもネットで注文することもとても難しく、また一週間分届いた食料などを冷蔵庫にしまうという若い時は何でもなかった作業が出来づらくなる。自分も将来が不安になるひとつです。若い方が移り住んで欲しいのは勿論なのですが、高齢者にも優しく住みよい町づくりに向けて色々な方々の意見を知りたいです
岩滝小を含めた石川小、山田小の統廃合。通学には丹海バスを使い、年配の方々の買物にも使えるように石川バイパスをバスが通るようにしてほしい。できれば山田小に統合、中学校については天橋高校加悦谷学舎を使い3中学の統合にしてほしい。ここも通学はスクールバスをやめて普通の丹海バスでの通学が良い。橋中には支援学校を持ってくれば良いと思う。今しかできないと思います。与謝野町の人口減は止まることはないと思うので、学校統廃合をやるべきである。そして若い世代が与謝野町のどこかで住みたいかを考えると思う。スクールバスは廃止、普通の丹海バスで通学する。都会の子どもたちは皆やっている。田舎は過保護すぎではないだろうか。とりあえず石川バイパスに丹海バスを走らせてほしい。

<p>・ペットを飼われている方はたくさんいらっしゃると思いますが、近隣といえども大宮町・宮津市まで車を走らせないと動物病院に辿り着けません。動物病院の誘致をお願いしたいです（優秀で親身に応じてくださるドクター、スタッフにも重視していただきたいです）。・会員制でもよいので安心・安全なドッグランを設けていただきたいです。</p>
<p>・認知症予防対策 ある自治体ではかかりつけ医の診察を無料にして再度の検査医への紹介など、早期発見して予防や症状を遅らせる対策導入を検討してほしい。毎年ある住民健診の項目に入れてほしい。</p>
<p>・後期高齢者・・・社協から買い物支援等あるが町からも無料バスやタクシーが使える補助が必要では？</p> <p>高齢者の健康と福祉の取り組みを小さな単位で（歩いて行ける程の）集まって楽しい取り組みが出来る様な事ができないか。車が運転出来ない人の足の確保をもっと対象者の声を聞いて出来る事を模索して欲しい</p>

空き家・環境整備・景観に関する意見
廃校になった小学校の有効活用をしてほしいです。
使われてない家屋を把握して、取り壊す補助や、新しく住めるような環境を作るなど、もうあるのかもしれないですが、そんなのがあってもいいと思います。
今はあまり使われていない河川敷などのクリーン化を実行して欲しい。まだまだ使えるが、雑草などで使えなくなっている場所が多数見られるので、綺麗にしてほしいです。同じくサイクリングロードも綺麗にして欲しい。
ウォーキング時に茂みから野生動物が出てくると怖いので、茂みが無ければなあといつも感じます。
林業による取り組みをしっかりやってほしい。手入れがされていないところが多くあり、枯れ木も目立つ。水害など山が削れる原因にもなる。
与謝野町は自然が豊かで美味しいものもたくさんあり、風景もきれいな場所だと思います。これらの良いところを生かしたまちづくりにこれからも取り組んで欲しいです。
与謝野町のいたる所にソーラ発電がふえていると感じています。古墳公園のとなりにも出来る予定と聞いています。土砂災害が起こりそうな山の中にも沢山出来ています。新聞では釧路湿原メガソーラーが問題となっていました。町の条例でこの自然豊かな与謝野町にソーラー発電への規制をしてほしいと考えています
新設する建物の屋根に太陽光パネルが載っているわけでもなく、環境施策も中途半端に思います。
三河内郵便局前の道路を直して欲しい
町道（特に岩屋川線）の傷みが顕著で補修が必要な箇所があり、直して欲しいのと併せて外側線、中央線が摩耗で消えている箇所が多いので道路管理者としての対応をお願いします
とにかく崩壊寸前の空家の放置が目につくので、持ち主に処理をしつこくお願いする（ヘビなどの生き物が近隣にまで来てこまる。不潔でいや！！草が生い茂り怖い！！）など。いくら家の周りをきれいにしても空家のせいでやる気が半減する。空家の持ち主が今後いつまでもできないのなら、近隣の人に売るとか町が買い受けるとか何か早急に考えていただきたい。まちづくりの 1 つではないですか

森林は雨水を蓄え、土砂流出・山地崩壊を防ぎ、私たちの身体と心にやすらぎをもたらすなど、様々な機能を有する貴重な財産である。与謝野町の森林をもっといきいきとさせるため、森林組合等の団体や組織を強化することはもちろんだが、広く町民が森林に関心を持つてゐるよう、そしてより多くの人が積極的に森林に入り林業活動や保全活動ができるよう支援を強化すべきである。森林環境税を現場で働く者に届くよう投入すべきである。

地主がいるのに放棄している方がいるので廻りが草だらけ。なんとかしてほしい

ゴミのポイ捨ての無い、きれいな町。空き缶、ペットボトル、プラゴミが草むらに多い（タバコの空き箱）一人一人が責任を持って捨ててほしい

犬の散歩をしている人で、犬のウンチを取って誰も見ていないようなら川にウンチを捨てる人がいる（何回も捨てるところを見ている）。区に言っても本人に言いづらい人なので何にもならない。

空家が多くあり、家主は都会に住んでおられ管理が出来ていない。町が調査して家主に率先して連絡し庭木や家の周りの雑草他をきれいにする様に連絡して欲しい。道路に面した家他は見苦しく、町全体のイメージが良くない

空き家、休耕田、荒れ地、巨木の山が増えました

空き缶やゴミが道路上に散乱しています。町中にゴミ等がなくなることがないと思いますが、みんなで取り組むことが月に1回でもあれば、きれいなまちの与謝野で暮らせると思います。

2、旧岩滝保育所後の庭などの草刈りについて 草ののびが大変気になっております。定期的に草を刈ってもらう計画はされないのでしょうか。どこの管轄なのでしょうか？

自宅の回りに休耕田やそれに近い状況がみられ、雑草、ツル草が石垣・フェンスをこえ、除草への対応が大変です。休耕田が増えている様にみられますが町としてどの様に対応されていくのでしょうか  
すでに故人となった知人の家、草に覆われている状況を見るにあたり、悲しくもあり、行政として対応しにくい件でもあると思われますが「まちづくり」として放置できないのではないか

緑の中に太陽光発電を設置することは決してしないようお願いします。緑は微微たるものかもしれないが温暖化を防いでくれると思います（思いつきでごめんなさい・・・不要建物を壊した後、跡地に太陽光設置はありかな？とも思います）

天橋立や舟屋のような観光になるもんはないですが、ゴミのポイ捨てのないこぎれいな与謝野町を望みます。かつて職員さんの尽力で紙袋の中に雑誌を入れて資源ごみとして出せるようになったこと、すばらしいと思います

”野田川”に沿って桜など通りや堤防などに合うような植樹はできないのでしょうか？

#### 施設運営・有効活用に関する意見

与謝野駅やクアハウス岩滝など、特定の限られた人のためにお金を使うのではなく、地味ですが生活の根幹部分の支援に、目を向けてほしいです。

加悦のにしがきがなくなってしまったのが残念。

野田川ユースセンターがホールしか使えなくて残念。

リフレカやの里の浴場を再開して欲しいです

知遊館横の長寿公園は利用される人がなく宝の持ち腐れ状態です。掃除は年に何度か行われています。遺跡や石碑は今のまま残し、その他は駐車場にして利用されてはいかがですか。

クアハウス、古墳公園もスタッフがいらないようにしたら良いと思う。
クアハウスのあり方を見直し、温泉を利用した道の駅への転換
プール授業はクアハウスを利用せずに民間施設を利用してはいかがですか
加悦の道の駅の閉鎖して湾岸道路に新たに造る。
金屋（桜内）のリフレカやの里が休館になっていますが早く開館して頂けることを願っております
岩滝地区に外食店が少なく、唯一あるクワハウス岩滝も営業時間が短く改善が必要。小学校の水泳授業にもっと活用しても良いと思う。
①りっしかやの里の復活。憩いの場所希望
②野田川ユースセンター、音楽ホールだけではなく宿泊ができる様に。小さい家族風呂、シャワーで良い
③岩滝の図書館は大きいのに魅力ナシ、受け付け全てが暗い
旧役場などの文化財をもっと町民に開放し、2階で音楽会や発表会、展示会、サークル会また曜日を指定した市民サロンなどに支障のない範囲で使用し、まちの活性化の一助にしていくことはできないだろうか。

行政サービス・業務改善に関する意見
昨今、ゴミ焼却施設が新しくなったにも関わらず、ゴミ分別の手間が軽減されていない。
もっとゴミの区分や捨て方が簡単になれば住民として嬉しい。
無作為に郵送されたかと思いますが、まずはここからではないでしょうか？郵送料、印刷代、とても費用が要ります。アンケートをホームページ、回覧板、KYTで途中でうつすなど、QRコードを活用されればいいと思います。この使った経費は少額でも他に利用できるのでは？
まちづくりについてなど大きなテーマより、もっと身近なところから改善すべきと考えますか？
問9の「消費行動」って硬い言葉。もっとわかりやすい言葉で。
保育園、学校、店、銀行等、何もかも統一されて便利が悪くなつた。非常に住みづらくなつた。
調整給付金の支給確認書の中に入っている町のマークのついた紙は何の為に入っているの？経費のむだ使い！70才おめでとうという葉書もいらないです
ゴミの分別が大変です
朝のサイレン（音楽）がうるさい。
朝7時の音楽をやめてほしいです。休みの日もゆっくり寝られないし、泊りにくる家族や友人も嫌がります。昼や17時はわかりますが、市民全員を7時にたたき起こす必要はないのでは？
ごみ袋（紫）大きい袋だけなので、小もあつたら良いです
ごみ出し、年末年始、お盆がお休みなので通常通りだったらと思います
1つの役場で、すべての書類が処理できるようにしてほしい。
行政のデジタル化は便利だが顔が見えないのは良くも悪くも人同志の交わりが減る。相手の息遣いをきいて対応するのも必要
仕事場の同僚が与謝野町に引っ越ししたいと言っていましたがゴミの分別が細やかすぎて、その事だけが怖くて与謝野町に住めないとの事です。それ以外は安全で医療（介護）も先進している与謝野町は魅力があると言っています

観光・地域活性化・魅力創出に関する意見
活気あふれる街作り
SLを走らせて観光客を呼ぶ
観光面では、ちりめん街道はそれ程魅力的なコンテンツではないと思います。近隣市町との差は大きいので、いっそ観光面は割り切って良いのではないでしょうか。
与謝野町以外の方が与謝野町にお金を落として頂ける様な企画や施設を考えて下さい。ビールは高くて美味しいです。とても残念↓
もっと他府県から人がやってくるような
観光においても際立った観光スポットがなく魅力が目立たない。他人が何があるかも認識せず、与謝野町を通り過ぎて別の場所に行ってしまう感じがします。
日本三景を背景にして自然がこの与謝野町には多くある。シーサイドのまわりを開拓したり、大江山連峰を利用して自動車が止まってくれたり、人を呼ぶことはできないのだろうか。何でも思ったら踏み出すことも大事である。できたら良いではだめ。
特色のあるまちづくりを期待します
都会と同じ事をする必要はない。与謝野町でしか出来ない事に力を入れてほしい。田舎なら田舎の長所を伸ばすべき。元気な若者（20~30代）がいるのは良い事だと思うので移住者を増やせればよいと思う
与謝野のホップ（ビール）や丹後ちりめんなどのアピールにも最高の施設だと思います。
阿蘇シーサイドの地域の活性化になるような道の駅等が必要では。（自然環境の整った子供達若者が集えるような）（せっかくの天橋立があるから）
◎古墳公園、展示物もすばらしいので、もっとSNSでの映え写真やキャラクター着ぐるみ等も広く宣伝してほしいです
与謝野町にはコレがある!! 行きたい、移住したい、住んでいることがブランドになるような魅力をつくることに力を入れてほしい。
せっかくシーサイドがるからもっと住民が町に外にくり出せる様なイベント・取り組みを増やして活気を付ける事をすれば良い。この町は死んでいる

生活インフラ（買い物/娯楽/飲食）に関する意見
娯楽施設や飲食店が身の回りに少ないので多くしたら良いと思う
例 カフェ レストラン コンビニエンスストア アニメイトなど
もう少し若者が遊べる場所を増やしてほしい。カフェなども増やしてほしい。ソファーなどがあるてゆっくりくつろぎながらお話を出来る場所を使ってほしい
コストコかイオンモールを作つて下さい。お金をかけないと与謝野町の立て直しは無理です！！
加悦の「にしがき」がなくなった。加悦地域の区長会が町長にコンビニとか食べ物関係の店を誘致して欲しいと要望書を提出したが。その後のニュースが聞こえてこない。老人達は自動車にも乗れず困っている
加悦町本町において、スーパー、コンビニがないので高齢者にとって買い物する場所がない。
旧にしがき跡に何か？ドラックストア？ミニフレッシュサトウ？など

岩滝地区に外食店が少なく、他地域に行かなければならない。
大型商業施設や飲食チェーン店がないのでつまらない。
近隣の町村も魅力的
町民に楽しい未来を創造して下さい（させて下さい）
子供が雨や暑すぎる日など環境の厳しさからのがれつつも室内で体を動かせる施設（体育館以外で）があれば・・・。

社会・文化・コミュニティに関する意見
昔はもっともっとあったかいまちだった
昔はあったような、今は介護保険もありそのような悩みも解消される人もありかと思うけど、それは性格の問題でひとりで抱え込む人も多いと思います。
私達が小さい頃には盆踊りをした記憶があります。そんな時には大人も子どももお年寄りさんも一緒になってしていたのがとてもなつかしくいい思い出となっています。町で一つの踊りがあって、皆が一緒に集い出来る場があつてもいいのでは・・・”ちりめん小唄”という題名での踊りもぼんやり記憶にあります。上手下手というのではなく、皆が一緒に楽しめる事があるといいなと思います。もちろん身体を動かすので健康にもつながるでしょうし・・・人の気持ちが一つになるような事があるといいですね
町民一人一人がマイナス指向で行政だけに丸投げしている人が多いと思います。活気ある町づくりは町民個人のやる気次第。役場や町議会に頼らない人づくりが大切。野田川地区、加悦地区に大手のホテルを誘致し、丹後ビジネス、観光の拠点にする様な町づくりを期待します
地域の歴史を知れば、もっと地元が好きになると思うので小中学校で地元のこと（古代から）を教育して欲しい。地元の事を知らない人が多過ぎる。町内の文化財ぐらい知らなくても聞いた事があるくらいにいてほしい
多様性は反対。反日教育の国との国交断絶。移民反対→犯罪者が増える。治安が悪くなる
戦後 80 年を学び社会の在り方を考え様う。豊かな上の補護社会に成りすぎ、行政は町民の 1 人ひとりの自力社会を目指そう。自力がなければ強い町、豊かな町にならない 1 人ひとりの尊厳を守り、社会対応のできない人を補護制度で守ることは重要と考える。行政は町民の住環境をもっと奇麗にして下さい
新築 1 ヶ月後に何度も隣組加入（強制）の知らせが来たので少し迷惑でした。もう少し町に慣れてからでも良いと思います。
町外出身者にも優しい町づくりを望みます
加悦・野田川地域と岩滝地域の対立構造の早期解消。与謝野町の歴史と文化を大切にする取り組みを期待する
町は人なり人は町なり
祭りの取り組みが各々の地域で引き継がれている事はすばらしいですので若い人の力で継続し、地域に住み続ける若い人を増す魅力的な事業を展開できる様に

産業・地場産業（織物・農業・林業）に関する意見
福祉の仕事で生活できる賃金になっていないことが問題。
輸入に頼らない農作物を安心して作れる農家の所得、そういうことに、しっかりお金をかけるまちづくりをしてほしい。
森林環境税を現場で働く者に届くよう投入すべきである。
丹後ちりめんの地場産業の発掘は残すことも大切ですが高価で着物、小物など使用しない時代には必要がないのではと思います
ちりめんも「伝統的な高級品」の印象が強いので、若者など現代の興味を引けるような「現代的な日用品」路線でラインナップを増やしてみたはどうか（例えばスマートフォンケースの表皮や最近のデザインの家にもマッチする柄のカーテン等）。それらを町の公式はもちろん、町民が自ら SNS で「#丹後ちりめん」とタグづけしたくなるような魅力的な製品があればと思う。
高齢者でも野菜づくりや補助的な仕事の出来る方々への人からあてにされる場があれば生きがいにもなる（若い家族にもつながるような取り組み）新鮮で安価は、フルーツ、野菜づくり、米づくり豆つ子米は町独特の肥料を使用したブランド化可能なおいしい米です。この可能性を実施できればまちの発展につながっていくのではないだろうか。

防災・安全に関する意見
原発が近く、他市からの避難所になると聞く。地元住民はどこに避難するのか。原発にはきっぱり反対の意思を、町長は示し続けてほしい。
与謝野町が災害時にどれだけ力を発揮できるのか、いささか不安です。いつ、何時にも災害に備えられる備蓄は勿論ですがマンパワーの教育にも力を注いで頂ける様にお願いします
防災に関しても大きな災害が起きた時、地域住民の避難場所が各町の公民館や小中学校や町の体育館になると思うが、夏なら冷房、冬なら暖房など空調設備をしっかりしておいた方がいいのでは?と思う。避難場所から病人（熱中症など）など出ていて二次災害？みたいなことが起きてからでは遅いのかなと・・・。
いつ起るかわからない自然災害。水害、地震などに備えてこの地域はここに！など具体的に町内ごとの避難場所などを詳しく報じてほしいと思います。
8番の災害時要援護者の把握は地域でできているのか？体に障害があり避難できない家族がいるので不安である
近年、色々なところで予想をこえる大雨が降っています。このまちも山がないので山崩れなどの不安があります。災害に対しても安心して住めるまちが良いです。

その他
今は何がやりたいのか分からぬまち
わからない事が多くてすみません。80才です
何を目指しているのかがよく分からない
何を考えて取り組もうとしているのか。まちづくりの方針も見えない。

「第3次与謝野町総合計画」策定に関する  
住民アンケート調査  
結果報告書

発行：与謝野町 企画財政課  
TEL：0772-43-9015（直通）

発行年月：令和7年10月